

平成 21 年度
「ウズベキスタンの繊維機械市場調査」

平成 22 年 3 月
日本貿易振興機構（ジェトロ）

本報告書に関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外市場開拓課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL : 03-3582-5313

FAX : 03-5572-7044

【免責条項】

ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

© JETRO 2010

本報告書の無断転載を禁ずる

● ジェトロアンケート ●
「ウズベキスタンの繊維機械市場調査」

ジェトロでは将来の市場として、潜在的需要が高い可能性のある国や地域のマーケット情報を日本の中堅中小企業の方々に紹介することを目的に本調査を実施いたしました。報告書をお読みいただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。

- 質問1：今回、本報告書で提供させていただきました「ウズベキスタンの繊維機械市場調査」について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

- 質問2：上記のように判断された理由、また、その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

- 質問3：その他、ジェトロへの今後のご希望等がございましたら、ご記入願います。

貴社・団体名：

部署名：

★ ご記入いただいたお客様の情報は適切に管理し、本報告書の成果把握に利用いたします。ご協力ありがとうございました。

はじめに

わが国からの繊維機械の輸出は近年好調に推移していたが、2008年秋以降の世界同時不況の影響などで主要輸出先である中国、インド向け輸出が大幅に減少し、厳しい状況が続いている。わが国の繊維機械業界の早い回復を図るには、新規市場の開拓が不可欠かつ急務である。

ウズベキスタンは、世界有数の綿花生産国であり、従前から繊維産業の存立が可能な地域として我が国繊維機械業界のみならず、競合する欧州業界も注視をしているところである。これまでウズベキスタンの繊維産業、繊維機械市場については殆ど調査を実施していないため、現地の状況がつかめていないのが実情で、(社)日本繊維機械協会からも今後の新規市場への輸出の拡大等の方策検討のためにウズベキスタンの繊維産業・繊維機械市場についての調査要望が強かった。

本調査は、ウズベキスタンの繊維産業の傾向、繊維製品の生産、商取引、繊維機械の製造、輸出入、繊維産業発展の見通し、繊維産業関連の機関・企業などについて調査したものである。

また、ウズベキスタンについて日本ではあまり知られていないため、本報告書の冒頭でウズベキスタンの国土、経済などの概要について紹介した。

調査はジェトロ・タシケント事務所が担当し、現地の調査会社MBM Guruhi / Mashg' ulot va Biznes Maslahat Guruhi 社に調査委託を行う形で実施した。本報告書はロシア語で作成されたものを日本語に翻訳したものである。

本報告書がウズベキスタンへ繊維機械を輸出している企業、これから輸出に取組もうとしている企業の方々および業界団体のご参考になれば幸いである。

2010年3月

日本貿易振興機構 (ジェトロ)

海外市場開拓部

目次

1.1 基礎情報	3
1.2 経済状況	8
2 繊維産業の傾向とその役割	21
2.1 紡績原料の需要と供給	21
2.2 綿糸、繊維製品、最終製品の市場規模と展望、国別輸出入の傾向、繊維機器の普及状況	33
3. 繊維製品の製造、商取引および展開	43
3.1 繊維企業および所有形態	43
3.2 外国投資の制限とウズベキスタンへの進出状況	47
3.3 ウズベキスタン繊維企業の製造工程	53
3.4 商社とディーラーの種類、その役割	55
3.5 近年の繊維製品の展開方法の変化	56
4、繊維機械の製造傾向および過去5年間の繊維機械輸出入の傾向	57
5. 外国貿易における国際決済の方法と外国からの融資	86
6. ウズベキスタンにおける輸入関税および物品税	88
7. 外国融資獲得状況	103
8. 繊維産業の国際競争力強化手段とその他の優遇措置	109
9. 環境とウズベキスタンの繊維産業発展の見通しの概観	111
10 繊維産業関連の政府機関、国営企業および公団、分野別組織（繊維機械製作工業含む）とその連絡先一覧	114

調査実施方法について

本調査は以下の方法で実施した。

本調査の目的を達成し、与えられた課題を遂行するために次の作業を行うこととした。

- 繊維産業市場に関する情報の収集、整理、分析および体系化
- 収集された情報をもとに市場の現状分析

本調査のために次の市場調査方法を用いた。

- デスクリサーチ（二次調査）
- 専門家インタビューと観察による質的調査

情報収集にあたり、二次資料と一次資料の情報を用いた。

二次資料として、ウズベキスタン国家統計委員会のデータ、経済研究センターのデータ、国営株式会社「UZBEKENGILSANOAT」および同社が提示しているデータ、およびそれらの関連企業のデータ、インターネットのデータである。

一次資料のために専門家インタビューと観察による質的調査を実施した。

専門家インタビューは、様々な繊維業界機関や共同会社の責任者、繊維企業のマネージャー、繊維機械販売を専門に扱う商社の代表ら 50 人を対象にした。

インタビューおよびアンケート調査を行った場所はタシケント市、フェルガナ市、アンディジャン市、ナマンガン市、ブハラ市、ヒヴァ市である。

これにより、調査対象となっている市場の現状について考えられる中で最適な方法で情報収集し、分析し、体系化した。

1.ウズベキスタン

1.1 基礎情報

ウズベキスタン（ウズベク語：O'zbekiston）はユーラシア大陸中央アジアの中央に位置する国家である。国家の名称として「ウズベキスタン共和国」と「ウズベキスタン」は同格である。隣接する国家として、北東にキルギス、北部と北西部にカザフスタン、南西にトルクメニスタン、南東にタジキスタン、南にアフガニスタンが位置している。国境線は6,621kmである。ウズベキスタンには海岸線はない。

独立日：1991年8月31日（ソ連より独立）

公用語：ウズベク語

首都：タシケント

大都市：タシケント、サマルカンド、ナマンガン、アンディジャン、ブハラ、フェルガナ、ヌクス

統治形態：大統領共和制

大統領：イスラム・カリモフ（2010年3月現在）

領土：447,400k m²（世界55位）

陸地：425,400k m²

湖沼地帯：22,000k m²

人口（2009年）：2,755万5,300人（世界42位）

人口密度：60人/k m²

国内総生産（2008年）：656億7500万米ドル（世界70位）

国民一人あたり：2383.38米ドル

通貨：スム（UZS）

2009年10月13日現在におけるウズベキスタン・スムに対する公式レート¹

英国・ポンド・スターリング	1 UZS	2376.72	GBP
米国・ドル	1 UZS	1501.40	USD
中国・元	1 UZS	220.00	CNY
ユーロ	1 UZS	2207.36	EUR
日本・円	10 UZS	166.62	JPY
ロシア・ルーブル	1 UZS	50.71	RUB

¹ <http://new.nbu.com/exchange-rate>

インターネット・ドメイン：.uz

国際電話国番号：+998

時間帯：-UTC +5

ウズベキスタンは CIS 諸国の中で総人口で、ロシア、ウクライナに次いで 3 番目を占めている。ウズベキスタンの特徴として人口が急増していることが挙げられる。人口増においてウズベキスタンは、旧ソ連諸国の中ではタジキスタンに次いで 2 位である。ウズベキスタンの年間の人口増加率は 1.6% であり、これは世界平均（年 1.4% 増）を上回っている。全人口のうちの労働可能年齢未満の年齢層の比重は 39%、労働可能年齢層は 54%、労働可能年齢を超えた年齢層は 7% となっている。

ウズベキスタンの天然資源はととても多様で、経済発展には好条件となっている（およそ 100 種類の鉱物資源が採掘され、採掘の見込みがある場所が 2700 か所以上ある）。ウズベキスタンは銀、タングステン、燐鉱石、カリウム塩、希土類金属やその他の有用鉱物の埋蔵量が世界トップレベルに位置している。特に、調査済みの金の埋蔵量は世界 4 位、ウラン 7 位、モリブデン 8 位、銅の確定埋蔵量は 10 位、天然ガス 14 位を占めている。の産出に関して、カドミウムは 3 位、ウランは 6 位、金と天然ガスは 8 位である。さらにこの国はモリブデン、長石およびその他数々の工業原料の産出をする国として世界の 15 大国に含められている²。

歴史

ウズベキスタンの土地には紀元後 10 世紀まで主にイラン系民族が暮らしていた。このことはフェルガナ、タシケント、ホレズム、サマルカンド、ブハラで発見された作業道具や遺跡などの考古学的資料によって立証されている。現在ウズベキスタンのある土地に初めて現れた国家はソグディアナとホレズムであった。紀元前 327 年にマケドニア王国アレクサンドロス大王がソグディアナとバクトリアを征服した。彼はバクトリア地方（現在のアフガニスタン）の統治者の娘ロクサナと結婚した。支配者たちへの反抗は強く、アレクサンドロス軍を地方で踏みとどまらせた。14 世紀はアミル・ティムール（1336-1405 年）が支配した。アミル・ティムールは行軍において大成功を収めた。彼はバヤズィト 1 世の率いるオスマン朝軍に打撃を与え、ヨーロッパをオスマンの攻撃から救ったのだ。これはモンゴル帝国の崩壊の原因となった。アミル・ティムールは帝国の首都をサマルカンドに建設した。今日では彼はウズベキスタンの偉大な英雄のひとりとされている。19 世紀以降、ロシア帝国が中央アジアにまで拡大し始め、20 世紀の初めには中央アジアはロシアの手中に収められた。そして、ポリシェビキに対する抵抗はあったものの、ソ連形成の初期にウズベキスタンとその他の中央アジア諸国はソ連邦の一部となった。ウズベキスタン独立宣言は 1991 年 8 月 31 日に採択された。独立記念日は 9 月 1 日である。ウズベキスタン憲法は 1992 年 12 月 8 日に採択された。

政治体制

憲法によると、ウズベキスタンは法治民主主義国家で、国家元首は大統領である。国家最高機関はウズベキスタン共和国オリ・マジリスと言う立法機関である。オリ・マジリスは立法議会（下院）と上院の 2 つの議会から成り立っている（ウズベキスタン共和国憲法 18 章 76 条）。ウズベキスタンでは 6 つの政党が活動している。

² http://www.investuzbekistan.uz/rus/prebivanie_v_uzbekistane/

国家の成立

- 1989年10月21日：ウズベキスタン共和国公用語についての法律採択
- 1991年8月31日：ウズベキスタン共和国が主権国家を宣言
- 1991年9月1日：ウズベキスタン共和国独立記念日
- 1991年11月18日：国旗の制定
- 1991年12月29日：全国民によるウズベキスタン共和国初代大統領の選出
- 1992年7月2日：ウズベキスタン共和国国章の制定
- 1992年12月8日：ウズベキスタン共和国憲法の採択
- 1992年12月10日：ウズベキスタン共和国国歌の制定
- 1994年7月1日：国の通貨導入

ウズベキスタン共和国大統領はイسلام・アブドゥガニエヴィッチ・カリモフである。

政党

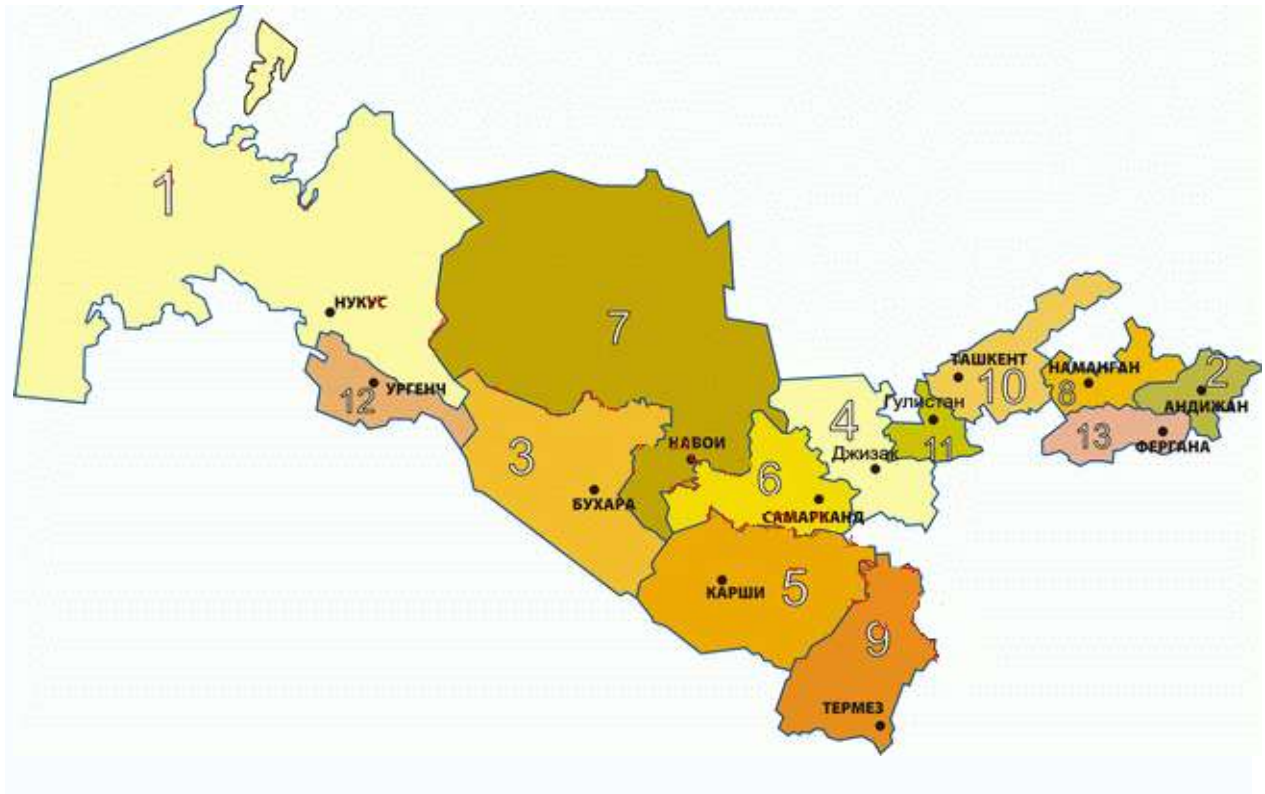
- 1991年：ウズベキスタン人民民主党（旧ウズベキスタン共産党系）
- 1995年：公正社会民主党 Adolat
- 1995年：ウズベキスタン国民復興民主党 Millij tiklanish
- 2000年：献身者国民民主党 Fidokorlar（2008年初めにウズベキスタン国民復興民主党党と献身者国民民主党は、国民復興民主党 Millij tiklanish という名前の下に党合併すると発表があった）
- 2003年：ウズベキスタン自由民主党（UzLiDeP）
- 2008年：社会団体「ウズベキスタン環境運動」

現在、国会に議席を有しているのは自由民主党、ウズベキスタン人民民主党、献身者国民民主党、公正社会民主党、ウズベキスタン国民復興民主党である。

行政区分

ウズベキスタン共和国は州（ウズベク語：viloyat）、地区、市、村およびカラカルパクスタン共和国から成り立っている。ウズベキスタンの首都はタシケントである。

ウズベキスタンの行政区分地図³



1. カラカルパクスタン共和国
2. アンディジャン州
3. ブハラ州
4. ジザク州
5. カシュカダリア州
6. サマルカンド州
7. ナボイ州
8. ナマンガン州
9. スルハンダリア州
10. タシケント州
11. シルダリア州
12. ホレズム州
13. フェルガナ州

³ www.goldenpages.uz

ウズベキスタン共和国行政区分
(2007年1月1日現在)⁴

州名	州都	面積 (km ²)	人口 (1,000人)
カラカルパクスタン共和国	ヌクス市	166,6	1 582,7
アンディジャン州	アンディジャン市	4,24	2 409,8
ブハラ州	ブハラ市	40,30	1 545,1
ジザク州	ジザフ市	21,4	1 064,7
カシュカダリア州	カルシ市	28,57	2 462,2
ナボイ州	ナボイ市	110,9	819,5
ナマンガン州	ナマンガン市	7,44	2 134,5
サマルカンド州	サマルカンド市	16,77	2 955,5
スルハングリア州	テルメズ市	20,1	1 957,8
シルダリア州	グリスタン市	4,3	684,3
タシケント州	タシケント市	15,6	2 492,5
フェルガナ州	フェルガナ市	6,76	2 920,3
ホレズム州	ウルゲンチ市	6,05	1 477,8

⁴ <http://www.goldenpages.uz/?page=u&link=administrative>



マハツラ

マハツラとは市民自治体である。1998 年の大統領令に基づき、マハツラ委員会とマハツラ集会在が活動を再興させ個別の担当地区に暮らす最貧困層の人々に対する社会的保護および社会保障を管理する。

人口

人口はおよそ 2,755 万 5,300 人である（2009 年 1 月 1 日現在）。そのうち、市街地の住民は 37%、村落の住民は 63%、平均人口密度は 59.4 人/km²である。人口に関して言えばウズベキスタンは CIS 諸国の中で、ロシア連邦、ウクライナに次いで 3 位である。ロシア、ウクライナとは違い、ウズベキスタンは出生率が高く、人口は実質的に増加している。ウズベキスタンは 120 都市と 115 の都市型小居住区があり、そこに全体として 940 万人が暮らしている。これは全人口の 37%強である。

1.2 経済状況

ウズベキスタンは中央アジアにおける主要な産業国家である。中央アジアは過去 6 年間で経済規模が 45%、鉱工業生産が 1.5 倍、貿易総額が 1.7 倍と拡大・発展している。金準備高は 3.7 倍、国内総生産の成長速度は過去 4 年間 7%代を維持している。インフレ率は過去 6 年間で 26%から 2.9%に下がった。

ウズベキスタンの交通基盤である全長 6,500km の鉄道、4 万 3,500km の自動車道、発達した空路が遠隔地にある国内の主要都市を結んでおり、主な鉱物資源、原料資源の産地や国際輸送システムへのア

クセスもある。ウズベキスタン航空 Uzbekiston khavo Jullari は世界の 40 か所以上の都市へ直行便を定期的に飛ばしている。

図 1. ウズベキスタンの交通網



国の主な優位点は、金、発達した綿市場、手つかずの石油やガスの膨大な埋蔵量（確認埋蔵量だけでも 2 兆^{m³}、そのうち巨大な産地としてシュルタン地区に 5000 億^{m³}、アラン地区に 2000 億^{m³}があり、またウルガ地区に 1 兆 5000 億^{m³}の埋蔵量があることが探索されている）、石炭（アングレン地区の褐炭の埋蔵量は 1 兆 9000 億トン）、ウラン鉱（全体で 23 万トンのウランの埋蔵量、ウチクドゥク地区が最大）、そして水力（チルチク川、アハンガラン（アングレン）川、スルハンダリア地区や小規模な地区が多数）がある。

農業機械も生産されており、中央アジアでは唯一の航空機製造工場がある。アサカ市には DAEWOO と CHEVROLET という商標で自動車を生産する大工場「GM Uzbekistan」がある（年に 20 万台以上の自動車が製造されている）。サマルカンド市にはいすゞ自動車のバスと貨物自動車の製造工場がある。2009 年には、いすゞ自動車も入っているサマルカンド工場を基礎にドイツ系企業の「MAN」の貨物自動車製造工場が開設した。

ウズベキスタンは 15 カ国の金産出国のうち 10 位を占めており、2008 年には約 80 トンの金を産出した⁵。

⁵ <http://www.miningexpo.ru/news/11893>

ウズベキスタンの輸出品は綿、金、天然ガス、鉱物肥料、金属、繊維製品、食料品、自動車（生産量の65%を輸出）である。

- 労働人口の44% — 農業
- 20% — 産業
- 36% — サービス業

綿を除いた最も重要な農作物は果物、野菜、穀物（小麦、米、トウモロコシ）である。

ウズベキスタンでは毎年480億kW時の電力と1000万Gcalの熱エネルギーを生産している。これは国内経済と国民の需要を完全に満たすだけでなく、生産したエネルギーを輸出に回すこともできる。

ウズベキスタンでは10%の法人税が課される。外国の投資家には義務の免除や特恵があり、これには財産税や関税の免除が含まれる（軽工業関連企業と事業体への優遇措置については付属資料1.1および1.1.2を参照のこと）。

ウズベキスタンはウラン、銅、銀、鉛、亜鉛、タングステン、貴金属、天然ガス、石炭といった鉱石の埋蔵量で世界上位国のひとつである。ウズベキスタンでは長期に渡ってエネルギーの安定供給が保障されている。（付属資料1.2. ウズベキスタンの鉱物資源の供給源）

ウズベキスタン経済指標

2009年1-9月期におけるウズベキスタン共和国の社会経済発展の概要⁶

（実勢価格、単位は10億スム）

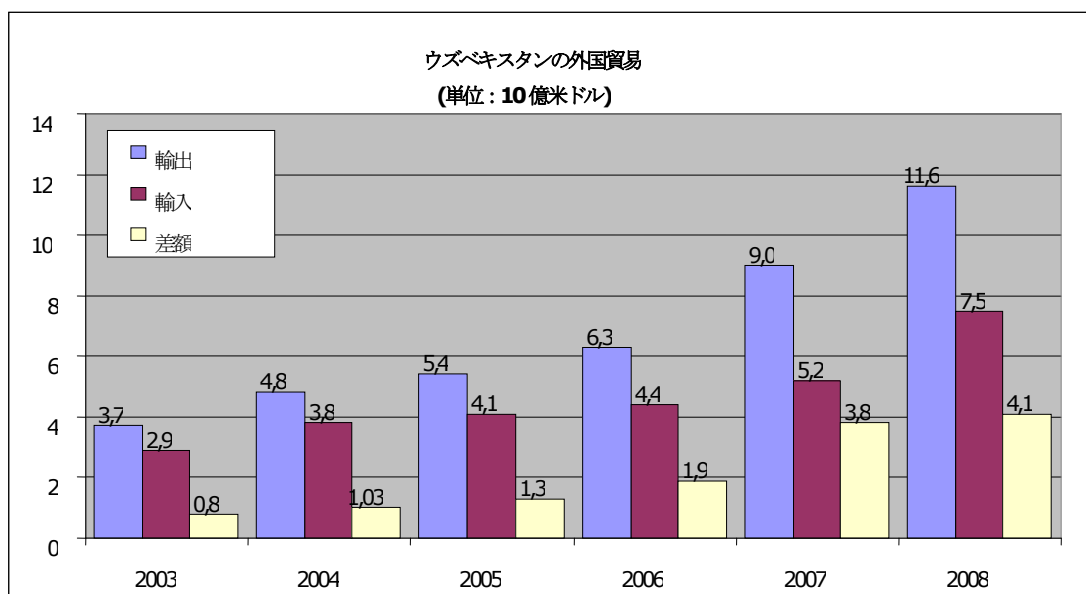
表 1.1.

	10億スム	2007年1-9月期に対する割合
国内総生産	24720,5	109,4
鉱工業製品	16762,6	112,4
日用品	5164,5	118,4
農作物	7686,8	104,1
固定資本投資	5809,8	122,4
建築	2482,0	108,4
輸送、10億トン/km	61,5	105,5
旅客運送業、10億人/km	47,1	112,9
小売業	8735,6	115,0
有料サービス業	3022,2	119,3
外国貿易、100万米ドル	15732,3	140,9
輸出	10097,5	162,9
輸入	5634,8	113,5

⁶ www.statuz

国民の現金収入	15779,2	133,1
現金支出と貯蓄	15434,3	131,3
国民の購買・サービスに対する支出	11664,3	132,3
求職中リストに載っている数（期末時点）（単位： 1,000人）*	27,5	90,0
そのうち、正式に失業者として登録されている人 （1,000人）	22,3	86,3
インフレ率（2008年上半期）		3,4

グラフ 1.1. ウズベキスタン外国貿易⁷



ウズベキスタンの産業

ウズベキスタンには多様な分野の産業が発達している。現在、ウズベキスタン国内にはおよそ11,000か所の工場が稼働している。

ウズベキスタンの産業構造は分野別に確立しており、それぞれが互いに関係し合う構造となっている。順調なペースで発展を遂げたのは機械製造業、電力、非鉄金属業、化学産業、金属加工業である。国家独立期の数年の間に、国内ではタシケント国営地域水力発電所、シルダリア国営水力発電所、ナボイ電気化学コンビナート、アルマリク化学工場、アングレン・ゴム・コンビナート、タシケント・エンジン工場、サマルカンド家庭用冷蔵庫製造工場、クワサイ陶磁器工場、Uz DAEWOO自動車製造工場（GM UZBEKISTAN）、サマルカンド自動車工場（SAMAUTO）、ムボレク天然ガス精製工場、公社SHURTANNEFTEGAZなどが建設された。

⁷ www.statuz

ウズベキスタンの伝統的な分野、すなわち軽工業と食品産業も発達を遂げている。ここ数年で建設されたこの分野の施設で大規模になったのは BUKHOROTEKS、ヒヴァ絨毯コンビナート、BAYTEKS TICARET、TASHKENT TUJTEPA TEKSTIL'、DAEWOO TEXTILE、DAESHIN MEGATEX、MILK EVRO FOOD、BALTIMOR、NESTLE、COCA COLA COMPANY 等である。

主要産業かつ製造業の基礎となっているのが**電力**である。1940年には国民ひとりに対する電力生産が72.5KW/h、1960年には684.6KW/h、1992年には2346.1KW/hとなった。国内の電力の大部分は一連の主要な火力発電所（シルダリア発電所、タシケント発電所、ナボイ発電所、アングレン発電所、Taqqatas 発電所）で生産されている。エネルギー生産には、例えば、チャルワク発電所、ホジケント発電所やチルチク川に建設された19か所の発電所群等が貢献している。現在では、2010年までにウズベキスタンの電力生産をより充実させる考えが検討されている。

国内経済の重要な位置を占めているのは**燃料産業**である。

ウズベキスタンの主要産業のひとつに**非鉄金属業**が挙げられる。この産業は主にアングレン・アルマリク鉱業地区に集中している。この産業分野には銅、高融点金属、高温金属、金の生産が含まれる。この分野最大の工場はアルマリク鉱業コンビナートである。国内で発見されたタングステン鉱とモリブデンの貯蔵地（チルチク市）ではウズベキスタンの高融点・高温金属コンビナートが稼働している。また、「Dustlik 勲章ナボイ鉱石採掘製錬コンビナート」がキジルクム砂漠で金を基礎に稼働している。一連の企業群はUZBEKZOLOTO協会が稼働している。

鉄鋼業はタシケント州ベカバド市にある国内では唯一の冶金コンビナートで行われる。鉄鋼と圧延を製造するこのコンビナートは主に金属屑を用いて稼働している。最近ではコンビナートは消費財も製造するようになっている。

化学工業では原料としてガス、石油、石炭、硫黄、オゾケライト、岩塩および非鉄金属業から出される様々な塵芥、原綿やケナフの加工品が用いられる。この分野の大企業にはチルチク電気化学コンビナート、サマルカンド過リン酸石灰肥料コンビナート、フェルガナ窒素肥料工場、ナボイ窒素工場、アルマリク化学工場、ナマンガン化学工場、アンディジャンおよびフェルガナ加水分解工場、ジザクおよびタシケントプラスチック工場、タシケント化学薬品工場等がある。

ウズベキスタン産業の中では**機械製造業**も発達している。主要な役割を担っているのは自動車製造業と、主に綿栽培および穀物栽培に向けられる農業機械製造である。製造協会タシケント貨物自動車工場、UZBEKSELMASH、GM UZBEKISTAN、SAMAUTOがこの分野の主な企業である。自動車製造に必要な備品の60%以上がウズベキスタン国内の工場で製造されている。

電気工業も一定の発展を達成している分野である。主にケーブル（合弁・公開型株式会社 ANDIZHANKABEL'、合弁・公開型株式会社 DOJCHE KABEL' AG TASHKENT、合弁・公開型株式会社 Uz Kabel'）、電子工学製品（有限責任会社・生産企業 TOSHELEKTROMASH、合弁・非公開型株式会社 ZENITH ELECTRONICS、合弁会社 ROISON ELECTRONICS）、電力変圧器（チルチク変圧器製造工場）やその他の電気器具・発電機等を製造している。

ウズベキスタンではガス器具類、家庭用冷蔵庫、エレベータ、映写機器、走行クレーン、掘削機が製造され、研磨・工具製造が発展している。

中央アジア最大の航空機製造工場のうちのひとつがタシケントにある。チカロフ・タシケント航空機製造公社である。1941年に設立されたこの公社にはタシケント、フェルガナ、アンディジャンの工場が含まれる。現在は必要な備品や資材を外国の企業1,800社から取り寄せている。

建築資材製造業も国内産業の主要な位置を占めている。この分野にはセメント、スレート、建築用レンガ、鉄筋コンクリート構造とその部品、衛生陶器製品等の製造が含まれる。建築資材製造業の発展には大理石の生産が顕著な役割を果たしている（サマルカンド州ガズガン）。ガズガン大理石を用いてガザルケント市、タシケント市、サマルカンド市、アルマリク市、ヌクス市にある石材加工工場が稼働している。国内には非鉱石類の採取所が点在している。

ウズベキスタンの工業地帯の形成および発展に大きく寄与しているのが**軽工業と繊維産業**である。大農業地帯という国の特殊な条件の下で様々な分野の軽工業が発達している。例えば、綿繊維、綿織物、絹織物、生糸、ケナフ布、靴下類、メリヤス製の上着や下着、縫製製品、靴等がこの軽工業に含まれる。またウズベキスタンは軽工業に絨毯、雑貨、陶磁器製の食器類も含めている。

綿織物を製造する大企業はタシケントおよびフェルガナ繊維コンビナート、ブハラ綿コンビナートである。生糸生産の中心地および絹織物製造はフェルガナ州、ナマンガン州、ブハラ州に位置している。

ナマンガン州では絨毯、不織布が製造され、コーカンド州では靴下類が作られている。国内のあちこちに縫製工場があり、ヒヴァ市は絨毯の製造で有名である。

軽工業のメインは綿織機である。この種の企業は主に綿花栽培地のすぐ近くに建てられている。

革産業はタシケント、サマルカンド、コーカンド、フェルガナで発展した。この分野の大企業には、合弁・公開型株式会社 **UZSALAMAN**、合弁会社 **VISO**、合弁・公開型株式会社 **KIBO BOLALAR POJAFZALI** 等がある。

食品産業は地方で生産された農作物の加工が中心となっている。中でも、綿花の種を加工してできる植物油を製造する搾油産業が特に重要である。植物油は国内のほとんどの場所で製造されている。缶詰製造業はいくつかの大工場に代表されるが、この分野で最も発達しているのはサマルカンド州、タシケント州、フェルガナ州、アンディジャン州である。製粉、精肉および乳製品、ノンアルコール飲料、パン、菓子類、全国的に需要のある製品等は国内のほとんどの場所で製造されている。

上に述べてきた産業の他に、文化的生活のための商品や日用品を製造する地域産業が発達している。

今後、石油ガス、鉱業、金採掘産業、電力、非鉄金属業、化学工業といった産業分野への注目が高まっていくことが期待される。これらの分野は国内の需要を満たすだけでなく、外貨の収入源となると考えられる。

事業活動の法的形態

計画経済から市場経済への移行により、ウズベキスタンは経済面を法的に管理する新しいメカニズムを創出しなければならなくなった。しかし、そのようなメカニズムを創出するには経済活動に参加している主体の法的資格および事業形態の明確な定義付けなしには不可能である。

法人の法的形態を定義する試みとして、1991年に「ウズベキスタン共和国における企業について」という法律が採択された。この法律の2条に5種類の企業が挙げられている。この法律の2章2段落目には「ウズベキスタン共和国では、法律に矛盾しない企業の創設を行ってもよい」と規定されている。しか

し、この表現は包括的ではない。独立以前の1990年10月31日付の「ウズベキスタン共和国における所有権について」という法律を基礎に企業の法的形態が定義されたために、当時の企業の法的形態をすべて列挙することはできなかった。

法人の法的形態の定義の表現が最も成熟した形をとるのは、新しい、現行のウズベキスタン共和国法典になってからである。ウズベキスタン国内の企業は、ウズベキスタン共和国の法律に矛盾しなければどのような法的形態を取ることにもできる。現ウズベキスタン共和国法典は以下の法的経営形態を規定している。

- 持ち分会社
 - 合名会社 (PT)
 - 合資会社(KT)
- 会社
 - 有限責任会社(OOO)
 - 責任補充会社(ODO)
- 株式会社
 - 公開型株式会社(OAO)
 - 非公開型株式会社(ZAO)
- 公団
- その他
 - 生産協同組合
 - 子会社
 - 消費者共同組合
 - 法人連合（公社および同盟）

経営の法的形態に関するより詳細な情報は付属資料1.3を参照のこと。

ウズベキスタン国内における外国投資には、知的財産権や、主に利益（収益）を得る目的で外国投資家が会社経営やその他の法律で禁じられていない活動に出資する外国投資から得られるあらゆる収益も含まれる。

ウズベキスタンにおける外国投資家となり得るのは以下の通りである。

- 外国およびその行政機関あるいは地方機関
- 国家間の協定あるいは他の条約に基づいて開設された国際機関、あるいは国際公法の主体となっている国際機関
- 外国の法律に基づいて開設され、稼働しているあらゆる形態の法人、その他の持ち分会社、機関、連盟

- 外国民である自然人、無国籍の自然人、外国に在住しているウズベキスタン国民
ウズベキスタンには以下の投資形態が存在する。
- ウズベキスタンの法人および（あるいは）自然人と共同で設立された会社、持ち分会社、銀行、保険機関、その他の企業の法的資金や財産の分担
- 完全に外国投資家が所有している会社や持ち分会社、銀行、保険機関、その他の企業の創設および進展
- ウズベキスタン住民によって発行された手形を含む、資産、株式、有価証券の取得
- 著作権、特許権、商標権、実用新案権、意匠権、商号権、ノウハウ、営業権（goodwill）への投資
- 天然資源の試掘権、開発権、採掘権、使用权の獲得
- 貿易対象およびサービス分野に対する財産権の獲得、自らが収容されている土地付き住居に対する財産権、土地および天然資源の所有権および使用权（レンタルを含む）の獲得

外国投資家はウズベキスタン国内で、現行の法律に矛盾しない形で上記以外の投資を行うことができる。

外国投資が初めて行われた際の形式、あるいは経常的に行われている形式を変更することは、投資としての資質を変えるものではない。

外国投資を受ける企業が再生するには次の条件に答えなければならない。

- 企業の法的資産の規模は15万ドルに等しい額より少なくてはならない。
- 企業の運営参加者のひとりには必ず外国の法人でなければならない。
- 外国投資の割合は企業の法的資産の30%以上であること。

ウズベキスタンでは、外国の直接投資を受ける企業設立の際の法的経営形態に制限は設けられていない。

設立の際には企業は合名会社、合資会社、有限責任会社、補充責任会社、株式会社（公開および閉鎖型）、子会社、公社、そして法律で禁じられていないその他の形式を取ることができる。

外国投資家は以下の権利を有する。

- 投資の規模、種類、対象を独立して決定すること。
- 投資を行うにあたり、法人および自然人と契約を結ぶこと。
- 投資と投資の結果を所有、活用、運営すること。外国投資家の決定により、投資と投資の結果を所有、活用、運営する権利は、ウズベキスタン共和国の法に制定されている手順で、他の法人および自然人に譲渡できる。
- ウズベキスタンの国内外において、投資家がウズベキスタンでの自らの投資活動の結果得るところとなった発明、実用新案、意匠といった特許権について独自に決定すること。

- 投資活動の結果得られた収益（収益を本国に自由に送還させることを含む）を独立して、自由に運営すること。
- ウズベキスタンに信用貸付および借款という形態で資金を融資すること。
- 国内為替市場において外貨を得るために自分の口座で国の通貨の資金を利用すること。
- 法律で規定されている場合に際して、および規定されている条件で土地の権利を取得すること。
- 投資家自身が負っているあらゆる種類の義務を保障するものとして財産権により所有している資産およびあらゆる財産に関する権利を使用すること。この義務にはウズベキスタン共和国法に従い、借入資金を調達する義務も含まれる。
- 投資およびその他の資産が徴収された場合に十分な補償を受けること。
- 国家統治機関、国家権力機関が行った不法行為（法的行為の不履行を含む）およびそれらの決定により被った損害の補償を受けること。

ウズベキスタン国内では、私的な外国投資が直接向けられる対象に経済分野や地域による特別な制限はない。

ウズベキスタンの外国投資とその他の外国投資家の資産は「外国投資家の権利の保証と救済方法について」という法律によって守られており、国有化されることはない。

ウズベキスタンのすべての企業のために制定された関税特惠および税に関する優遇と並び、私的な外国直接投資を呼び込むことができる以下の経済分野の企業についても一連の優遇が与えられている。

- 無線電子産業、コンピュータ、電算技術機器の部品
- 軽工業
- 養蚕業
- 建築資材産業
- 鶏肉・鶏卵製造業
- 食品産業
- 精肉産業および乳製品製造業
- 化学薬品製造業

これらの企業は主要活動に対する収益税（利益）、財産税、社会インフラ整備や地域福祉のための租税、環境税、中小企業への統一税、共和国道路基金への積立金の支払いを免除されている。

上に挙げた税に関する優遇は、以下の私的な外国直接投資額の場合に得ることができる。

- 30万ドルから300万ドルまで：優遇期間3年
- 300万ドル以上1000万ドルまで：優遇期間5年
- 1000万ドル以上：優遇期間7年

この場合、上記の税に関する優遇は以下の状況で適用される。

- 上記の企業が余剰労働力のある地区（カラカルパクスタン共和国、ジザク州、カシュカダリア州、シルダリア州、スルハンダリア州、ホレズム州）および村落地区（ナボイ州、アンディジャン州、ナマンガン州、フェルガナ州）に位置していること。
- ウズベキスタン共和国の保証を獲得なしに外国投資家により私的な直接投資が行われること。
- 外国投資家の法的資金における割合が **50%**以上であること。
- 上記の企業が国に登録を済ませた後に私的な直接投資を行うこと。
- 外国投資が、自由に換金できる貨幣あるいは新しく時代の要請に応え得る技術的装置の形で行われること。
- 上記の特恵を期間内に使用した結果、得られる収益が今後の企業の発展を目的として再投資されること。

締結された投資協定によっては、外国投資家に対して追加保証と権利保護対策を施すことができる。

追加保証と保護対策には、ウズベキスタン共和国の保証、投資事業への融資の援助、特別税金対策・返済対策の導入、事業やその他の対策が法律に従って実施されているかの国によるモニタリングが含まれる⁸。

環境問題

ウズベキスタンは海への出口のない国家である。中央アジアでも最も人口が多く、面積は **4140 万 ha** ある。およそ **63%**の国民は村落に暮らす。農業はほぼ完全に灌漑に依存している (**430 万 ha**)。主要作物は綿である。

農業の最重要課題は、水資源の非効率な利用、土壌の塩化（灌漑された土地の **23%**が中程度あるいは強度の塩化土壌である）、灌漑地と放牧地の約 **50%**に及ぶ風食、不適切な散水技術の使用によって強まっている水食、灌漑地の **6%**および人口灌漑地の **20%**、そして年間約 **2 万 ha** の灌漑地が塩化し、地下水の無駄な汲み上げ、水質の悪さのために使えなくなっていることである。ある評価によると、土壌の塩化は国内経済に年間 **10 億ドル**の損失を与えている。ウズベキスタンの森林は、生産的な役割というより保護としての役割を果たしていると言える。いくつかの地域では家畜の過剰な放牧により放牧地と森林で多くの問題がある。違法な伐採も行われているが、これは深刻な問題とはなっていない。

農業、林業分野の政策、戦略、計画

農業 水と森林を管理する局を含む農業水資源省は、経済部門の戦略・計画を実現する責任を負う。しかし、同省には環境保護問題を扱う部署はなく、知識や経験を普及させる農業サービス部門（普及部門）もない。農業はウズベキスタン経済の鍵となる経済部門であり、国内総生産の **25%**、輸入収益の **60%**、雇用の **34%**を提供している。ウズベキスタン憲法には環境への有害物質不排出に関する規定と天然資源の管理に関する規定がある。これらの規定は土地法と農業モデルに関する規定に反映されており、土地を農民に分配したり、レンタル契約によって分配される際にこの規定が適用される。特に注目されているのが、天然資源の計画、中でも水の石灰化と土壌の塩化の問題である。

⁸ http://www.investuzbekistan.uz/rus/chasto_zadavaemie_voprosi

環境問題は水と水使用についての法律にも反映されている。最近、水使用の効率を高め、追加の収入を得るために、水道代を大幅に値上げする決定が行われた。これはこの法律の実際的な成果のひとつである。

ウズベキスタンは環境問題を法律レベルで検討することで大きな成功を収めた。新しい法律は農民に割り当てられた分配量の範囲内で水を使い、灌漑網と排水網を設けるように義務付けているため、農業生産において灌漑法は極めて重要な位置をもっている。事業投資により配水システムの再構築措置がいくつか取られており、このために水と土壌の塩化のレベルが下がってきている。

林業 1998年に採択されたウズベキスタン土地法は、すべての森林は国家の所有とすることがうたわれている。1999年、様々な森林に関する法が採択されている。2006年から2010年にかけての林業発展計画の中には、産業用途向けおよび木材として使用する目的で成長速度の速い樹木のプランテーションを建設する計画がある。

ここ数年の間に森林面積の増加は、それほど大きくはなく年0.25%増である。林業の管理を改善する対策（再建、害虫駆除の生物学的的方法、保護区域の認定）が取られている。商業的な伐採は行われていないため、当然、保証は適用されない⁹。

ウズベキスタンの国土

ウズベキスタンの国土は砂漠地帯である。天山山脈の西端に延びる領土、パミール・アライ山脈、そして山麓の平地は高地ベルトを形成している。この地域の境界あたりでは高度になるにつれ湿度が高くなり、それと関係して土壌は肥沃になり、不純物もすくなくなる。

砂漠地帯の土壌は灰褐色、砂漠砂、粘土質砂、ソロンチャク土である。高地ベルト地帯は山麓に広がる平地の灰色土、山麓と低山、中程度の山並みは茶褐色土、高山地域は草原土壌から成り立っている。

地下水の付近には草原、沼沢土壌、ソロンチャク土がある。

その他、灌漑された土壌にもいくつかの種類がある。粘土質砂漠土、灰色砂漠土、砂漠草地である。

灌漑地は農業植物栽培製品の大部分（95%）を作り出すため、特別な価値をもつ。灌漑地は国の農業構造の中で15%を占め、農業総生産の98%を産出している。

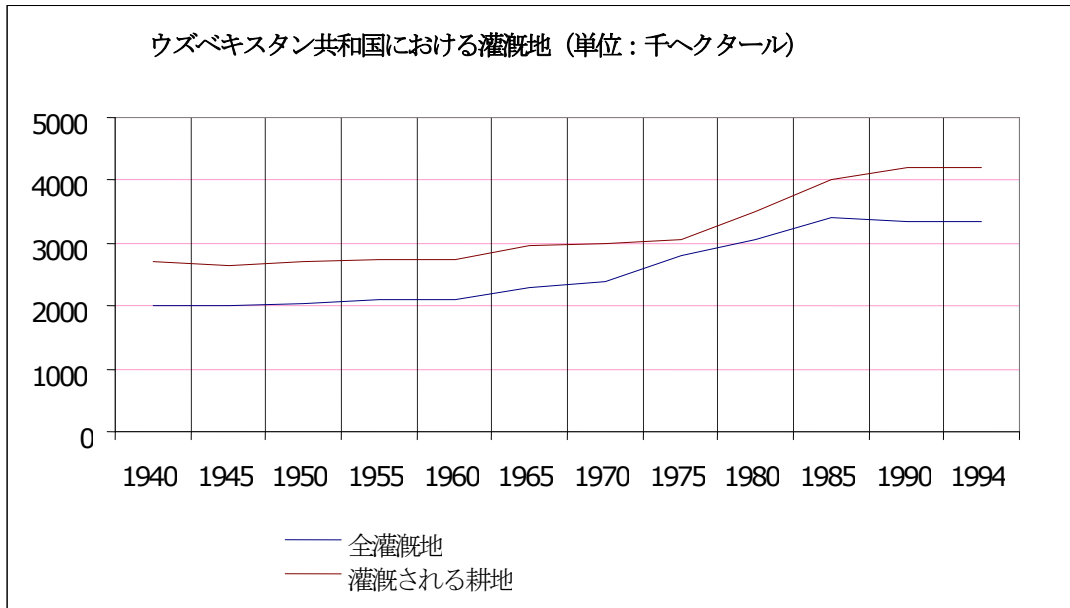
拡大経営の時期に環境問題の原因となったのは、国が綿産業の独立を獲得しようとして、新しい土地の大規模な開拓、作物を交互に生産する輪作、積極的な化学化を含めたあらゆる手段によって綿花栽培の規模を強化したことである。

灌漑地が最も集中的に発展したのは、1970-80年代のことである。当時、140万haの新たな耕地が開拓された。1990年にはその面積は1.6倍に拡大し、同じくらいの倍率で農業総生産が成長した。¹⁰

グラフ 1.2.

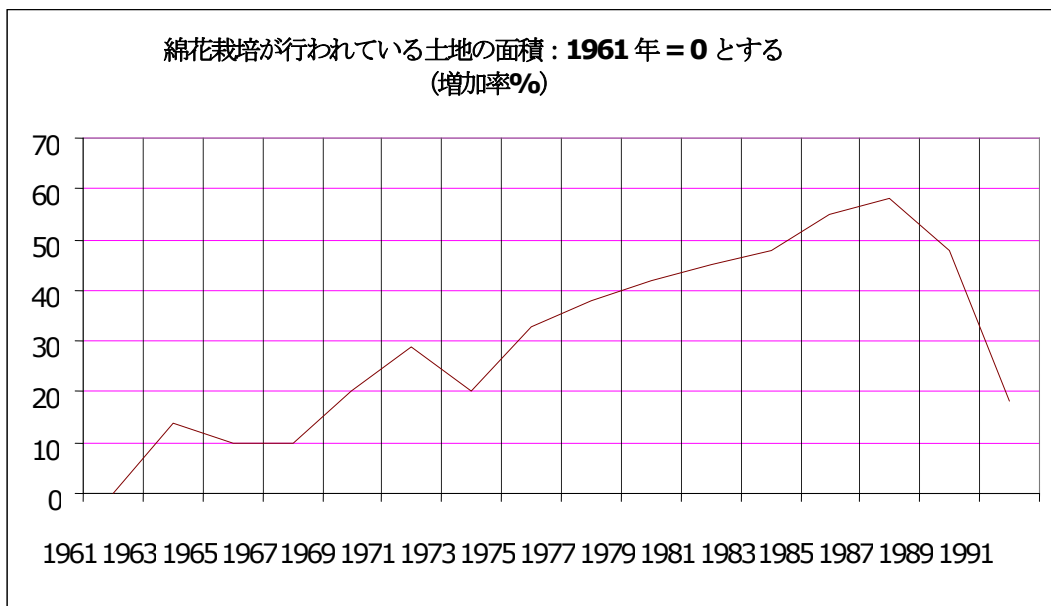
⁹ www.worldbank.org/eca

¹⁰ <http://enrin.grida.no/ara/aralsea/russian/land/lands.htm>



長い年月の間、綿のモノカルチャーが優勢だったため、輪作の定着が滞っただけでなく、より多くの有機肥料と殺虫剤を使用しなければならなくなっていた。

グラフ 1.3. 90年代までの綿花栽培用土地の面積の増減



新たな土地を大規模に灌漑し輪作する際には、塩の濃度が高く、耕作に適さない、生産性の低い土壌も巻き込むことになった。

これにより自然の調整メカニズムが崩壊し、灌漑地の生産性が低下することとなった。

土壌の中にある生産力の基礎となる腐葉土の含量が最近 10 年間で 30-40%減少した。腐葉土が極めて少ない土壌は灌漑地の全面積の約 40% (170 万 ha) を占めるようになり、生産性の低い耕地 (強度の塩化、石灰化、浸食、石化) の総面積は 50 万 ha に達した。

2. 繊維産業の傾向とその役割

2.1 紡績原料の需要と供給

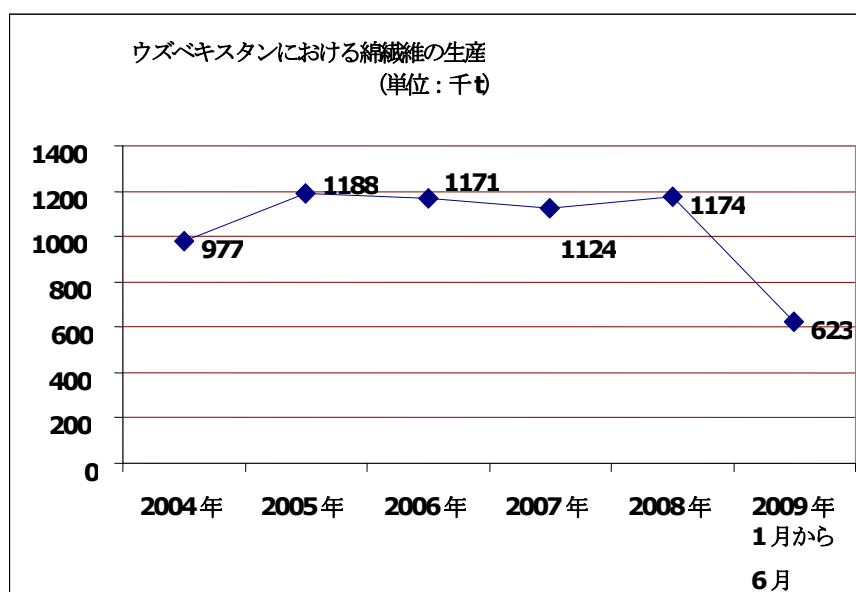
ウズベキスタンにとって軽工業は伝統的に主要分野である。軽工業の発展如何により他の関連分野の状況や国の経済潜在力が十分に能力を発揮できるかどうかが決まる。

独立国家形成期に、国の綿産業において根本的な変革が起きた。良質の綿花を栽培する新技術の開発と市場経済の原則とメカニズムを広く定着させることによって実現した一貫した改革の結果、ウズベキスタンの綿は世界市場で評判がよく、競争力も絶えず強化されている。今日、国内では成長が速く、生産性の高い種で、乾燥・病気・害虫に強く、世界の繊維産業の要求に応え得るタイプの綿花が栽培されている。

ウズベキスタンの農業分野における主要部門である綿花栽培の状況は、経済の他部門（農業機器の製造、有機肥料から繊維産業全般に至るまで）に影響を与えている。さらに、綿は我が国の主要な輸出品目である。

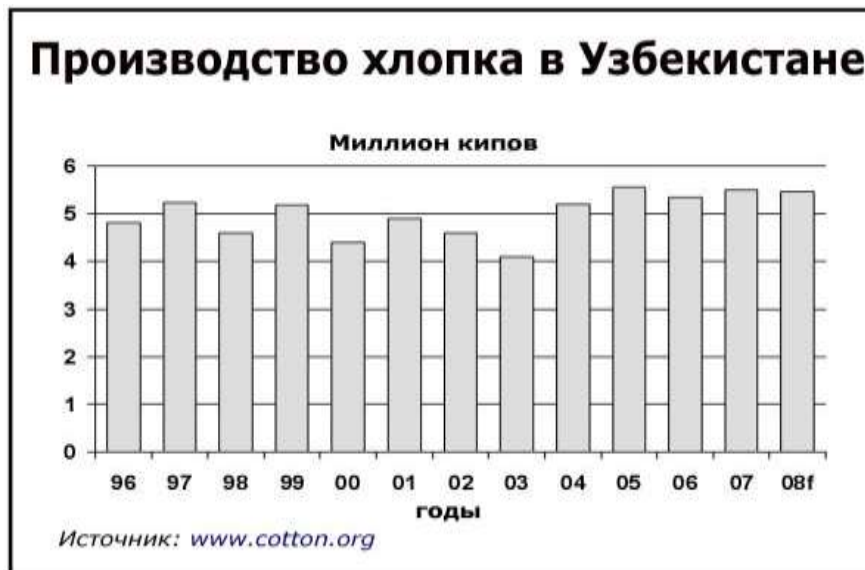
綿はソ連時代のウズベキスタン経済において中心的な位置を占めていた。1990年には耕地面積の80%が綿花畑であった。農業の構造改革を終えた今日では、綿花畑は農地の約30%（150万ha）を占める。原綿の収穫高は約340万トン、そのうち、1年で100万-120万トンが綿繊維に加工されている（それに対し1980年では200万トンであった）。この指標によると、中国（634万トン）、インド（459万トン）、米国（444万トン）、パキスタン（216万トン）に次いで、ウズベキスタンは今日ではブラジルと世界5位の地位を分け合っている。生産される綿の4分の1のみが加工されている状態だが、この作物の輸出货量（2005年で86万トン）では、ウズベキスタンは米国に次いで2位である。

グラフ 2.1. ウズベキスタンの綿繊維の生産¹¹



¹¹ www.stat.uz

グラフ 2.2. ウズベキスタンと世界の綿生産、綿輸出¹²



ウズベキスタンの綿生産

100 万キップ

年

注: 1 キップ=綿218kg

¹²www.cotton.org



Узбекистанの綿輸出

100 万キップ

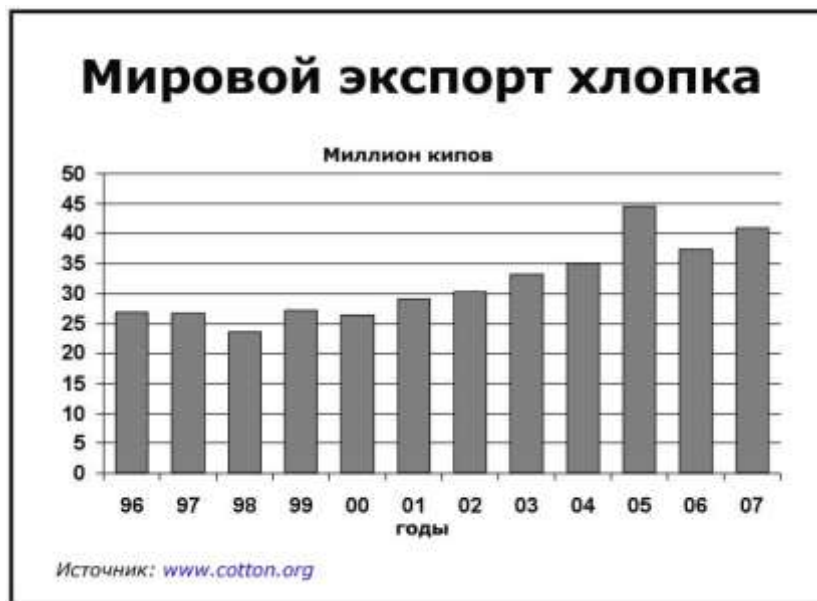
年



綿の世界生産

100 万キップ

年



綿の世界輸出

100 万キップ

年

注: 1 キップ=綿218kg

綿の世界輸出分類表¹³

表 2.1

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2004年) (単位: 1,000 キップ)					
原産国	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	23,251	29	26,730	6,691	14,436
ウズベキスタン	5,200	0	6,123	875	3,950
ブラジル	5,900	212	10,599	4,310	1,557
ギリシア	1,800	10	2,200	500	1,170
インド	19,000	1,038	24,224	14,800	660
カザフスタン	680	0	813	40	625
タジキスタン	760	0	878	68	605
パキスタン	11,138	1,756	16,028	10,500	558
トルクメニスタン	920	0	1,319	415	375
スペイン	505	74	693	280	240
キルギス	245	0	282	5	200

¹³ <http://www.cotton.org/econ/cropinfo/cropdata/rankings.dfm>

トルコ	4,150	3,414	9,042	7,100	152
注1 キップ=綿218kg					

表 2.2

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2005年) (単位: 1,000 キップ)					
原産国	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	23,890	28	29,413	5,871	17,549
ウズベキスタン	5,550	0	6,848	800	4,800
インド	19,050	400	28,214	16,700	3,450
ブラジル	4,700	308	9,890	4,452	1,972
ギリシア	1,975	20	2,475	400	1,350
カザフスタン	675	204	1,027	50	883
タジキスタン	635	0	840	72	592
トルクメニスタン	975	0	1,504	425	550
スペイン	530	35	738	200	417
パキスタン	10,165	1,615	16,725	11,500	288
キルギス	210	0	287	5	220
トルコ	3,550	3,501	8,841	6,900	216
注: 1 キップ=綿218kg					

表 2.3

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2006年) (単位: 1,000 キップ)					
国名	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	21,588	19	27,676	4,935	13,010
インド	21,800	465	30,329	18,100	4,565
ウズベキスタン	5,350	0	6,598	900	4,500
ブラジル	7,000	515	11,131	4,573	1,300
ギリシア	1,400	20	2,095	350	1,250
カザフスタン	625	305	1,024	50	869
トルクメニスタン	1,200	0	1,729	430	700
タジキスタン	645	0	821	63	550
トルコ	3,800	4,029	9,554	7,300	303
パキスタン	9,900	2,305	17,117	12,000	217
キルギス	170	0	232	5	180
スペイン	213	25	359	145	155
注: 1 キップ=綿218kg					

表 2.4

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2007年) (単位: 1,000 キップ)					
国名	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	19,207	12	28,698	4,589	13,653
インド	24,600	600	32,864	18,600	7,030
ウズベキスタン	5,350	0	6,548	1,000	4,200
ブラジル	7,360	164	12,932	4,600	2,231
ギリシア	1,550	20	2,015	300	1,299
トルクメニスタン	1,300	0	1,899	440	800
カザフスタン	625	36	766	50	530
タジキスタン	600	0	808	50	496
トルコ	3,100	3,268	8,319	6,000	370
パキスタン	8,900	3,907	17,682	12,000	269
キルギス	150	0	197	5	150
ナイジェリア	450	70	639	350	150
スペイン	185	13	257	90	132

注: 1 キップ=綿218kg

表 2.5

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2008年) (単位: 1,000 キップ)					
国名	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	12,815	0	22,859	3,600	13,276
ブラジル	5,500	50	11,801	4,200	2,739
ウズベキスタン	4,600	0	5,948	1,000	2,600
インド	22,500	625	30,359	17,900	2,300
ギリシア	1,150	20	1,536	225	800
トルクメニスタン	1,350	0	2,009	440	525
パキスタン	9,000	2,200	16,588	11,500	425
カザフスタン	435	10	631	50	350
タジキスタン	500	0	762	42	312
トルコ	1,930	2,889	6,768	5,000	136
キルギス	120	0	162	5	90
中国	35,800	6,996	62,800	45,250	84
スペイン	85	20	140	35	80

注: 1 キップ=綿218kg

表 2.6

主要国別でみる綿の世界輸出分類表 (2009年) (単位: 1,000 キップ)					
国名	生産高	輸入	総供給量	国内での加工	輸出
米国	13,438	5	19,643	3,500	10,500
インド	24,000	400	34,559	18,500	6,100
ウズベキスタン	4,400	0	6,748	900	4,000
ブラジル	5,400	100	10,512	4,200	1,800
オーストラリア	1,800	0	2,737	40	1,600
トルクメニスタン	1,150	0	2,194	440	1,000
ギリシア	850	20	1,331	175	750
タジキスタン	350	0	758	40	450
パキスタン	9,200	3,000	16,838	12,000	400
カザフスタン	300	10	541	50	325
トルコ	1,700	3,300	6,632	5,100	100
スペイン	120	10	155	35	90
キルギス	65	0	132	5	90
中国	33,500	8,000	61,466	46,250	75

注: 1 キップ=綿218kg

ウズベキスタンの綿花栽培は国家が管理している。UZKHLOPKOPROM 協会（国営ホールディング、製綿工場 130 件が統合されている）の企業が原綿を製造元から国家買付価格である 1 トン=250 ドルで購入する。市場取引価格は今日では 1 トン=約 1250 ドルである（ウズベキスタン産綿花の価格は実際には様々な形態の手形割引により国際トレーダーで 100-150 ドル低く売られている）。そして、加工された繊維は製綿工場が手続上必ず、対外経済関係投資貿易省付属の 3 つの国家外国貿易会社に販売する（UZPROMMASHINPEKS、UZMARKAZIMPEKS、UZINTERIMPEKS の 3 社）。値段はやはり固定されており、1 トンにつきおよそ 400 ドルである。最も活動的な国際トレーダーは INTERNATIONAL COTTON TRADING LTD.、PAUL REINHART AG、CARGILL COTTON および DUNAVANT COTTON である。これらのトレーダーと UZPROMMASHINPEKS、UZMARKAZIMPEKS、UZINTERIMPEKS の関係は完全に明らかとは言えない。

原綿から繊維製品の製造者に届くまでの構造がこのように厳格であるため、綿の生産・加工への投資が明らかに魅力的でなくなっている。綿繰分野の民営化に投資家たちは積極性を見せないでいる。過去 3 年間にウズベキスタンの国家資産委員会はおよそ 140 社の綿栽培分野の企業の国家所有株を売りに出した。そのうち、外国投資家たちに販売された株はたった 15 社の製綿工場の株のみで、総額 400 万ドルであった。

輸出の再編成

少し前にウズベキスタンは輸出政策の多角化に向けて歩を進め始めた。90年代半ばから2000年代初めのウズベキスタン産綿がリガ港（ラトビア）とイリイチェフスク港（ロシア）を通じてFOBの条件の下で輸送されていたが、今は国内の倉庫から商品が支給されることが増えた。この方が中国を代表とするアジア諸国のバイヤーやウズベキスタンにとっては新しいバイヤーであるバングラデシュなどにとってはより便利である。韓国も重要輸入国の位置にあり続けている。その結果、ウズベキスタン産綿のヨーロッパ市場における割合は1998年に47.3%だったのが、2005年には23%にまで落ち込んだ。これには西ヨーロッパの繊維部門の不振も関係している。

このことと関係して、タシケントに国際綿花見本市が設立された。見本市の設立者はロシアのトレーダーとエンドユーザーがウズベキスタン産綿を真剣に買い付けてくれることを期待していた。しかし、ロシアへの突破口は開くことができなかった。

ソ連時代、ウズベキスタン産綿の主な買い手は中央ロシア繊維コンビナートであった。90年代の初めにはまだロシアで中央アジアの綿が綿製品の需要の70%以上を占めていた。1992年から1995年にかけてロシア商社が、ロシア政府補助金でウズベキスタン産綿をかなり安く買い付けることができた。しかし、この補助金は役に立たなくなってしまった。というのも、商社が補助金で得た綿を安易に西側に再輸出してしまったからである。ソ連崩壊までロシアでは綿繊維を100万トン加工していたが、今では総輸入高が30万トンを少し超えるに留まっている。さらに、トレーダーはしばしば高品質のウズベキスタン産綿を安価なカザフスタン、アゼルバイジャン、タジキスタンの綿と混ぜてしまう。

しかし、ウズベキスタン産綿繊維を直接に卸売の大口買付をすることはロシアの繊維業者にはできない。ロシア人は3000-5000トンという小口のみを購入するため、ウズベキスタンの業者は儲からない。直接の買付が難しいのは、現在のロシア国内での価格がウズベキスタン側の納入業者が要求する価格より約15%低いためでもある。このパラドクスは中央アジアの他の諸国から品質が悪く安い原料の納品が伸びてきていることから説明できる。ウズベキスタンが綿輸出をより真剣に期待をかけているのは中国である。今日、中国では世界の綿繊維生産の25%を占めているが、その需要は世界の40%を占めている。中国の商社が初めてウズベキスタン産の綿に関心を抱いたのは90年代後半であった。しかし、本格的に買付が伸びたのは、北京とタシケントが戦略的パートナーシップを表明した5年前からである。2005年には中国へウズベキスタン産綿が32万トン輸出された（輸出総額の15%）。

各地域の綿繊維の買手

ソ連時代、国内の製綿工場は指で数えられるほどであった。タシケント、フェルガナ、アンディジャン、ブハラ、ナマンガンのコンビナートである。原綿の8%のみが国内の加工用に残されていただけだった。ソ連崩壊後、ウズベキスタンは軽工業、中でも綿繊維加工企業の発展速度を速めることに着手した。なぜなら、この原料は莫大な資源となるからである。つまり、綿からおおよそ100種類もの産業製品が製造でき、しかもその製品には高い付加価値が付けられる。

国際綿花見本市が開催されている時に、対外経済関係投資貿易省 El'er Ganiev 大臣が表明したように、ウズベキスタンは2010年までには綿繊維の輸出を88万トンから53万トンに削減し、それを国内加工の規模拡大にあてることを計画している。2005年2月、ウズベキスタン政府は国営株式会社UZBEKENGILSANOATの2005-2008年の投資計画を承認した。これによると総額12億2000万ドルの

プロジェクトを 94 件、外国投資家の資金によって実現させることになっている。この計画に含まれる企業は機材、備品やその他製造工程で必要となる商品の輸入時の関税支払が免除される¹⁴。

国営株式会社 UZBEKENGILSANOAT のデータによると、1991-2005 年の間に繊維分野におよそ 12 億 3000 万ドルの外国投資を得ることができた。そのうち、約 6 億 3000 万ドルが外国の直接投資である。

ウズベキスタンの政府は綿の製造、加工、販売の工程を管理する重大な役割を果たしている。今日、綿産業では以下の主要な構成要素が稼働している。

- **農業生産者**：綿花を栽培している。ある一定量の原綿を政府に供給する義務がある。政府はこれを固定価格で買付ける。綿花栽培を援助するために、政府は優遇した条件で農民に肥料や綿花栽培に必要な資材や資源を提供する。
- **UZPAKHTASANOAT**：綿を加工し、輸出手続きを行う。最近、改革が行われ、この機関の集中緩和と地方部局の役割の強化が図られた。その結果、以前はUZPAKHTASANOATによって分配されていた資金が地方部局に直接届くようになり、これらの部局は農民たちが納入した綿花への支払いを行う義務が課されている。
- **国家貿易機関**：圧縮梱包された綿花の輸出を行う。ただし、綿花だけを取り扱っているわけではない。この種の3つの国家貿易機関UZINTERIMPEKS、UZMARKAZIMPEKSおよびUZPROMMASHIMPEKSはそれぞれ閣僚会議から梱包された綿花の割当を取得し、その割当に応じて各種機関は商品を輸出しても構わないことになっている。
- **対外経済関係投資貿易省**：契約の登録、外貨収入のモニタリングを行う。
- **Sifat**：圧縮梱包された綿花の質の評価と分類を行っている。この機関は閣僚会議に直接に報告を行う義務がある。
- **関税委員会**：輸出契約書の登録、綿の品質と量が積荷書類と一致しているかの点検等を行う。
- **ウズベキスタン共和国商品取引所**：商品取引所の任務は、個人輸出や中央集中型輸出といった範囲内で、様々な商品のオークション販売のシステムを発展させることである。

綿製造者は UZPAKHTASANOAT に納入し、そこでは納品された原綿の品質を評価し、価格を決定する。原綿は決定された価格で支払われる。UZPAKHTASANOAT は所有している工場に綿を加工し、それを圧縮梱包して国家貿易機関に販売する。他方、国家貿易機関は閣僚会議から割り当てられた範囲で国際商社に販売する。

綿繰、そして綿繊維の製造は現在のところ国内で 129 社の企業が行っている。これらの企業は UZPAKHTASANOAT という分野別協会に加入している。この協会は、2001 年に解体された原綿加工・綿布製品販売国営株式会社 Uzgoskhlopkopromsbyt の後継である。国の行政地区とカラカルパクスタン自治共和国では地方株式会社 UZPAKHTASANOAT が 14 社稼働している。これらの会社はほとんどすべての企業において買付と原綿の最初の加工（綿くずの加工を含む）および綿花栽培のための種の準備について協力している。株式会社の構成員として含まれているのは、建設会社、設備機器会社および輸送会社で、これらは繊維産業のためにサービスを提供している。

¹⁴ http://www.expert.ru/printissues/expert/2006/44/uzbekistanskiy_hlopk/

UZPAKHTASANOAT では行政支部の活動とみなされる課題も課されている。買付・製造・販売計画は経済省と調整されており、計画の遂行は定期的に国が検査している。

2007年4月3日付閣僚会議決議「2007年から2011年にかけて綿繰産業企業の近代化および再建計画について」によると、国内で稼働中の綿繰企業41社の再建が見込まれた。タシケント、ブハラ、サマルカンド、カシュカダリア、スルハンダリア、シルダリア、ナマンガン各州およびカラカルパクスタン共和国にあるおよそ30社の企業の近代化および再建が行われた¹⁵。

ウズベキスタン綿産業の近代化計画について

2007年から2011年にかけて政府による原綿繰企業の生産能力の近代化・刷新計画を実現するという計画が採択されたことにより、外国商社は機械販売のチャンスを得た。綿繊維はウズベキスタンの重要な輸出商品であり、その輸出供給量は2007年から2008年の最盛期には70万-75万トンであった。

ウズベキスタン繊維産業が順調な調子で拡大している一方、綿繰に際して実行されたプロジェクトは今日まで満足のいくものではなかった。2007年4月に採択された上述の政府の綿繰企業の近代化と刷新の計画により状況は改善すると期待される。

2011年までに近代化を進めるプロジェクトには綿繰企業40社以上が参加している。投資はまず綿繰機・紡績機の入手と組み立て、プレス、コンデンサー、空調機、そして輸送のための機器に行われなければならない。刷新計画は繊維製造が1996年の成果と比較して30%拡大することを目的として行われる。さらに、工場での生産費（そのうち、とりわけ燃料費）を15%削減し、生産される繊維の品質を目に見えて改善することを課題としている。良質の綿繊維（1級と2級）の生産を将来的に総生産量の80-85%となるようにしなければならない。

2011年までに計画されているプロジェクトの共同融資のために金融省に創設された基金の範囲内で、国が農作物を買付けた際の支払い用補助口座が開かれた。すべての綿加工業者はこの口座に売上金の1%を振り込まなければならない。プロジェクトに融資するために、綿繰工場に販売した国家出資金からの収益金の一部も収められている。近代化プロジェクトの総企業者としてウズベキスタン政府は Uzengsanlojika 研究所（タシケント市）に全権を与えた。

すべてのプロジェクト（うち、製綿工場の民営化プロジェクトを含む）は、経済省および金融省で鑑定を受けなければならない。ウズベキスタンで生産されておらず、かつ綿繰企業で使用される機械、設備、交通手段、備品、消耗品の輸入には輸入関税の支払免除がある。通常の税関手数料の徴収が行われるのみである。UZPAKHTASANOAT 工場では2007年末までにすでに第1次プロジェクトが実現している。サマルカンド州、タシケント州、ホレズム州でも部分的に完了している。

綿栽培はウズベキスタン経済の重要な産業分野に含まれる。綿の輸出ではウズベキスタンは世界2位を占める。耕地面積に占める綿花畑の総面積は2007年で144万ヘクタールであった。綿花栽培には9万5000件以上の農家が専門に従事している。綿花の収穫高が高いのは、カシュカダリア州、ブハラ州、スルハンダリア州、フェルガナ州、タシケント州である。

¹⁵ <http://uza.uz/ru/business/8035/>

2006年から2007年の最盛期に製造されたウズベキスタン産綿の主要な顧客は、アジア諸国（輸出の約70%）、続いて西欧および中央アジア（輸出の約20%）、ロシアおよびCIS諸国（およそ10%）である。ウズベキスタン産綿の最大の販売市場は、いまや中国となった。

過去10年間でウズベキスタンは外国パートナーと協力して、綿ターミナル創設のための多額の投資を行った。現存の21か所のターミナル（屋外倉庫5棟を含む）は綿花40万トン进行貯蔵できる。2000年から国内の綿花にはすべて国際基準の認定がなされている。今後数年はウズベキスタンからの輸出は、国内加工の拡大に伴い削減すると見込まれている¹⁶。

2005年から開かれている国際綿花見本市は、今後の製品輸出の向上、外国パートナーとの協力関係を築く可能性を生み出している。

ウズベキスタンの綿産業:

最新のインフラ、製綿工場の近代化および発展の可能性

ここ数年の間に上等・上級の綿の生産高が増えている。UZPAKHTASANOAT協会とその地方支部は国内の製綿工場に綿製品生産および播種用種子の準備のための援助を行い、製綿分野の技術再整備をし、綿花の品種改良や品種分配が定められた手順で行われているか管理を行う。

協会は原料および綿製品の分類体系を向上させるプロジェクトに積極的に参加している。そして、公開型株式会社PAKHTA TOZALASH IChBやその他の科学研究機関、プロジェクト企画機関と協力して、新技術、原綿加工の技術、綿花種子の貯蔵の開発および定着、この分野の基準となる技術の保障を行っている。

ウズベキスタンで栽培される原綿は毎年およそ340万トンである。2008年にはUZPAKHTASANOAT協会の企業は約340万トンの原綿を蓄え、加工を行った。

UZPAKHTASANOAT協会の専門家、地方株式会社PAKHTASANOATは、公開型株式会社PAKHTA TOZALASH IChBの積極的な参加の下、製綿工場を構造的・工学的・技術的に一貫して再整備を行い、その大部分の主要機械は改良され、近代化された。

2007年から2008年にかけて、以下の14社の製綿工場の近代化が行われた。TURTKUL工場、KHODZHEJL工場（カラカルパクスタン共和国）、SHOFRIKAN工場、PESHKUN工場（ブハラ州）、ZARBDOR工場（ジザク州）、ZHEJNAU工場（カシュカダリア州）、KHATYRCHIN工場（ナボイ州）、CHELEK工場、ZJAVUTDIN工場（サマルカンド州）、SAJKHUNABAD工場（シルダリア州）、BUKIN工場（タシケント）、KUVIN工場（フェルガナ）、JANGIARYK工場およびKOSHKUPYR工場（ホレズム）である。

2009年に収穫された原綿の買付と加工の最盛期には、上記の工場に10社がさらに加えられた。Ellikalin工場（カラカルパクスタン共和国）、ROMITAN工場（ブハラ州）、CHIROKCHIN工場、KAMASHIN工場（カシュカダリア州）、UCHKURGAN工場、Z-NAMANGAN工場（ナマンガン州）、ZHUMIN工場（サマルカンド州）、BAJAUT工場（シルダリア州）、ANGOR工場およびKHAJRABAD（スルハンダリア州）の製綿工場である。

続く2010年から2011年にかけては、さらに17社の製綿企業を近代化させる予定である。

¹⁶ <http://www.lpb.ru/?id=4276>

綿繰部門の企業 41 社の再建・近代化計画を遂行する結果、繊維製造の拡大、上質の 1 級綿繊維 (Olij, Jakhshi) の比重増、生産費やその他の経費の削減をすることで製造される製品価格を 15-20%低下、製造ロスを最小限にまで減少、エネルギー消費および金属消費の減少、製造上の衛生面・美観の向上、環境保護の問題を解決することで労働者のための好条件を整備といったことが予定されている。

その際に、導入される綿繰機は主に国内企業で生産が行われ、原綿の手作業収穫でも機械収穫でも、さらには綿の湿度が高くても不純物が多く含まれていても (天候不良の場合)、うまく対応できるように設計されている点は注目される。さらに地方による綿花の品種の工学的、形態的な特徴にも考慮がなされている。

計画実行の過程においては、生産性の高い技術機器を導入し、製造手順を柔軟にすることにより、この分野の機器ユニットの量は 50-60%削減することができると期待されている。

この分野を刷新することで最大の効率を得るために、計画は予め原綿加工の分野についての外国の経験 (この場合、綿加工の分野で指導的立場にある国、特に中国) を深く研究することを見込んでいる。

近代化プロセスを速める目的のために、サマルカンド州ジュミン製綿工場で広く性能試験を行うべく外国の原綿加工自動製造ラインを入手することが見込まれている。そのために、綿花を乾燥させ、きれいにするところから始まり、繊維をプレスし梱包するところまでのすべての生産工程を最も効率よく作業できるように技術的要求を満たしているかプロジェクト前に製造ラインの点検が行われる。

とりわけポリマー材帯とコンテナを用いた綿製品のベール梱包のシステム向上が注目に値する。

国内の種子ストックを準備する製造所の大々的な近代化に関する国家計画 (2004 年 12 月 23 日付閣僚会議決定 604 号「綿花種子生産の改良措置について」) の主要な利用者として参加することにより、UZPAKHTASANOAT 協会は公開型株式会社 PAKHTA TOZALASH IICHb、地方株式会社 PAKHTASANOAT、プロジェクト機関 UZENGANOATLOJIKHA と協力して 2005 年から 2007 年の間、綿栽培に特化した国内各地域の 31 ヶ所の種子製作所の移動を保障している。

新しい製作所では播種用のむき種や有毛種を複合的に生産できるようあらゆる条件が作られた。播種用有毛種やむき種を作る国産機械 (計量用容器、綿繰機、種子選別機、種剥き機、測定機、消毒機) やスペイン製の選別測定機を導入した。カマシン、ビルニー、アリムケント、ミタン、ウイチンの 5 ヶ所の製綿工場の専門製作所には播種用種子生産工程の自動化システムを導入した。

繊維部門企業の金融状況を健全化し、2007 年のウズベキスタンの収益性を全体的に高めるために、大都市にあるが、生産性が低く旧式化した機器を用いている製綿工場 30 棟が閉鎖された。

今後非独占化を進め、綿繰分野を民営化する方向で重要な指針となったのは、ウズベキスタン政府が繊維部門企業の法的資産に国が占める割合を削減させ、製造の近代化と技術刷新のために外国の直接投資を呼び込む決定をしたことである (2007 年 7 月 20 日付大統領決定 PP-672)。

企業の近代化および技術的刷新、輸出向け製品の競争力アップという具体的な投資義務を負う投資家は 5 年間で綿繰工場の株式 26%をオークション競売で販売するよう提案されている (製綿工場の株式の国家の持ち分)。ウズベキスタン国家資産委員会の措置を具体的に実現させるために、製綿工場の株式 26%の評価と入札を行った。

2.2 綿糸、繊維製品、最終製品の市場規模と展望、国別輸出入の傾向、繊維機器の普及状況

ウズベキスタンにおける綿糸の製造

綿糸は重要な輸出商品であるが、この製品の大部分は国内市場に出される。ウズベキスタンの糸製造の動きは安定している。これには多くの要因が関係している。例えば、主な要因としては対外的な販路はたくさんあり、国内で新たに綿糸製造企業が設立されることが少ないことが挙げられる。国内の綿糸製造会社は、常に収益を上げているわけではないが、多大な資本投資が必要とされている。

表 2.2.1

ウズベキスタンにおける糸の製造¹⁷ (単位: トン)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年*
綿糸 (単糸)	171352	162445	164551	179565	160067	76283

*2009年は1月から6月の期間

綿糸の世界市場の状態に関する情報¹⁸

世界の繊維部門は主にアジア発展途上国に集中している（中国、インド、ベトナム、インドネシア、タイ等）。2000年には世界の綿糸製造の54%がまさにこれらの地域から生産されていた。2005年にはアジア諸国の割合がすでに83%になっている。国際綿花諮問委員会（ICAC）の中間データによると、世界の綿糸生産は2006年には2005年と比較して65万5000トン増産して、2080万トンであった。綿糸製造が主に延びているのは、中国（4.2%増、230万トン）、インド（3%増、250万トン）、パキスタン（3.7%増、230万トン）、その他のアジア諸国（3.7%増、1270万トン）であり、他方、米国、ヨーロッパといった先進国では生産減少が観察される。例えば、米国（5.6%減、106万トン）である。世界の綿糸生産の発展速度は平均して2-3%となると予測される。その場合、世界生産高に占める中国の比重は安定して増加するであろう。他の巨大な産出国となるのはパキスタン、インド、インドネシア、ブラジルである¹⁹。

カードされたリング紡績糸の原産国別価格 (単位: ドル/kg)

表 2.2.2

原産国	番手 Ne 20/1	番手 Ne 30/1
パキスタン	1,78	2,08
インド	2,00	2,20

¹⁷ウズベキスタン国家統計委員会のデータ

¹⁸www.mfer.uz/weekly/yam.pdf

¹⁹http://www.apmta.org.pk/Pak_Textile_Statistics/gpyam.asp

米国	2,87	3,20
トルコ	2,57	2,69
インドネシア	2,04	2,26
ウズベキスタン*	1,65 - 1,75	1,90 - 2,1

注* - ウズベキスタンの FCA (運送人渡し) 条件での納品では、ウズベキスタンから綿糸を輸出する際のおおよその輸送費が相手国によって 0.14-0.21 ドル/kg となる (平均は 0.16 ドル/kg である)。その他の国へはすべて FOB (本船渡し) 納品を行う。出展: Cotton Outlook ; 国営株式会社 UZBEKENGILSANOAT のプライス・リスト

2005 年をはじめに、ロシア市場での織物用およびメリヤス用にカードされたリング紡績糸の価格状況は次の通りである。

- Ne 20 - 2.30-2.40 ドル/kg (付加価値税込み)

- Ne 30 - 2.70-2.75 ドル/kg (付加価値税込み)

下表は、ウズベキスタン国家統計委員会から得た 2004 年から 2008 年にかけての綿糸の輸出入に関するデータである。

2004-2008 年の綿糸の輸出入高の推移 (単位: 1,000 ドル)

表 2.2.3

コード	2004		2005		2006		2007		2008	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
HS5205	130886,1	48,0	120490	2196	147790	1684	197227	1547,1	178968	177
HS5206	85,4	0,6	231	39,1	383,7	87,9	414	420,4	22	648,1
HS5207	-	0,4	-	0,2	-	-	-	2,1	-	1,5
計:	130971,5	52,6	120721	2235,3	148173,7	1771,9	197641	1969,6	178990	826,6

2004-2008 年の綿糸の輸出入高の推移 (単位: トン)

表 2.2.4

コード	2004		2005		2006		2007		2008	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
HS5205	65633	13,2	69367	1010	81333	807	100611	636,6	82868	67,2
HS5206	121,4	1,5	220,2	19,6	312,3	27,2	392,7	117,9	20,3	382,6
HS5207	-	0,2	-	0,1	-	-	-	0,7	-	1
計:	65754,4	14,9	69587,2	1029,7	81645,3	834,2	101003,7	755,2	82888,3	450,8

ウズベキスタンの繊維産業

繊維製造は軽工業の重要要素である。ここ数年、繊維企業は国家予算の収入部門のおよそ 4 分の 1 を占めている。そして、織布及び繊維製品がウズベキスタンの総輸出の 30% を占める。この部門は、国の輸出潜在力を強化するという観点からすると最も有望であると考えられる。したがって、外国投資を呼び込み、国内生産の発展を促進するための積極的な政策が採られている。

繊維部門の構造と市場規模の評価

繊維部門は広い意味で製糸、綿布、縫製製品の製造を含む。ウズベキスタンの繊維部門は織物工場 863 件と縫製工場 1043 件から成り立っている²⁰。

ウズベキスタンの繊維産業の基礎となっているのは綿花栽培と天然養蚕である。そのため、自然に製綿部門と絹製造部門の 2 つ分けられる。部門ごとの特徴により、国による繊維工場活動統制が組織されている。製綿部門の国家政策は国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** によって行われる。

国家統計のデータによると、2002 年にウズベキスタン市場に納品された織物製品（糸、布、絨毯製品、総額 7119 億スム）の総量のうち、輸入されたのは 117 億スム（1.6%）であった。縫製製品の販売総量約 500 億スムのうち、輸入品は約 20%であった。

2003 年に採択された、ウズベキスタン国内への生活必需品の輸送手順変更および卸売・小売業の管理を定めた基準法は輸入量の（国営株式会社 **UZBEKEYGILSANOAT** の専門家の意見では）根本的な削減を規定した。衣服の製造および販売を行っている人の評価では、この部門の輸入はおおよそ 40%であるという。製造業者は布の輸入規模も公式統計よりもはるかに高く見積もっている。いずれにせよ、縫製工場をもつ個人企業家は、トルコ、韓国、ロシア、キルギス（キルギスを通過した中国製輸入品）で買い付けた輸入布を主に使用していると述べた。これらの例では、布は主に現金で買付けられており、輸入として勘定されていないことがわかる。

表 2.2.5

ウズベキスタンにおける縫製製品の製造 (単位: 100 万スム) ²¹									
1999年	2000年	2001年	2002年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年*
11637	19372	25086	25700	34833	33883	39471	57638	72209	34560

*2009 年は1月から6月の期間

布、特に綿布の市場規模とその見積りはさらに一層複雑である。多くの縫製工場は、国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** に入っていない輸入布を用いている。これらの需要と買付けの量を計算するのは極めて困難である。したがって、市場規模については、綿布の製造、輸出入および国内の綿繊維の製造を考慮にいれながら、間接的に判断するしかない。

生産量とその構造

縫製製品の生産量と生産構造の変動は、上記の期間における実勢価格でみると、表 2.2.5 が示す通りである。この 9 年間で縫製製品の生産は金額でみると 6.2 倍（116 億から 722 億スム）伸びている。これは、国の繊維部門が既製品の製造、より正確には縫製部門の発展に一層力を入れていることを意味する。

しかし、価格のデータでは長期間にわたる生産の発展を正確に描くことはできない。これには、表 2.2.6 に挙げている数字を見るのがよい。何よりも 6 年未満でガーゼの生産が 84%、メリヤス布が 85%増え

²⁰ www.review.uz

²¹ 出典: ウズベキスタン国家統計委員会

ている。しかし、綿布は**36%**、靴下類製品は**53%**に削減された。綿糸は重要な輸出品目であるが、この製品の大部分は国内市場に流れ、布の生産の推移を裏付けている。

表 2.2.6

ウズベキスタンにおける繊維製品の製造 ²²							
	単位	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年*
既製の綿布	千㎡	346169	258347	176048	158638	126103	52113
ガーゼ	長さ千m	9823	7203	2337	3361	18030	-
ジーンズ生地	長さ千m	573	485	34	128	298	-
既製のメリヤス布	トン	6170	7260	8454	10437	11387	5756
ジャンパー、コート、ハーフコート	千個	468	167	273	314	707	410
ドレス	千個	163	37	58	45	25	79
スーツ	千着	734	737	449	402	263	115
メリヤス製品	千点	39411	36321	41480	52717	52483	26236
メリヤス製上着	千個	18910	16298	20133	32333	26560	6619
靴下類製品	千足	19042	19260	8835	4947	10000	3273
綿糸 (単糸)	トン	171352	162445	164551	179565	160067	76283

*2009年は1月から6月の期間

表 2.2.4 から分かることは、ここ数年はメリヤス製品やメリヤス布の生産が急速に成長している。そして綿糸の製造指標は減っている。このような動きの原因のひとつとして、国内に全工程生産ラインをもつ企業（例えば、KALORAMA TEX、MURUWAT TEK 等）がいくつか現れたことが挙げられる。これらの企業では綿糸の生産高は示されないが、メリヤス製品の最終製品の指標は示される。

衣服の製造でも様々な変化が起こっている。いくつかの商品では伸び率が著しかった。これは主に、縫製製品の一定の種類に特化した新しい企業を設立すること、あるいは既存の企業に新しい生産能力を導入したことと関係している。

それと同時に、子供服、女性服を含むある種の衣服の生産は低下した。この原因は、繊維部門の構造改革が続けられており、需要の少ない製品（この場合、多くの縫製企業の生産力は仕事をしないまま放置される）の製造は削減されているためであり、また、こちらがより重要な点であるが、衣服市場に輸入の割合が増えているためでもある。

繊維製品の競争力

²²ウズベキスタン国家統計委員会

あらゆる製品の競争力は、製造者が商品を消費者にとって競争相手よりも魅力的に作り出すことができるかどうかで決定する。競争は経済全体レベルでも、部門別レベルでも、個別の企業レベルでも存在する。ウズベキスタンの繊維部門の製品がどれくらい、またどの市場で競争力があるのかを知るためには、国の製造者がどのような競争力を持っているのかという質問に答えなければならない。

1999年に「輸出発展支援」というプロジェクトの枠組みの中でドイツ技術協力機関（GTZ）が調査を行い、「ウズベキスタンの織物・縫製部門への援助可能性」という報告書を作成した。ウズベキスタンの繊維市場の概況、および規模、経営形態、資金源の異なる33社の織物・縫製企業の状況が調査された。当時出された多くの結論と助言は現在でも現実に即したものである。

国の繊維部門の主な競争力として、原材料（良質の原綿）が地元にあること、熟練労働者がいること（比較的賃金は低いにもかかわらず）、生産インフラが整備されていること、国内市場の規模の大きさおよび国内需要の拡大、輸出が常にかんがりの規模で成長していること、技術設備の輸入に課税がないことを専門家が指摘している。専門家はこのリストにさらに2つの要因を加えている。繊維産業の原材料を得るための天候・気候に恵まれていること、応用科学の潜在力があること、すなわち綿栽培分野で競争力のある製品開発ができるということである。

国の繊維部門の競争力の伸びを抑えている客観的な理由として、質と量が収穫に極めて依存していること、主要な輸出市場からかなり離れていること（これはつまり輸送が長距離になり、さらに地域統合のプロセスが完了していないことも関係して輸送費が比較的高くなることを意味する）を専門家は特に強調している。

競争力を高めるための課題

これらの問題は織物業、縫製業の大企業、中企業の大多数に特徴的である。その内、一番大きな問題は最新設備が不足していることである。これと関連して、この部門は資本投資をする必要があるが、投資の規模は国内経済の範囲内だけでは集めきれないほどである。したがって、外国投資が不可欠であり、それを呼び込むための国家的支援対策も必要なのである。

もちろん、問題を違うように提起することもできる。つまり、国内で市場関係が発展しているのであれば、繊維部門の大多数の企業、特に私企業は競争の原理を適用することで自ら解決策を見出さなければならない、と。しかし、発展途上国の繊維部門は輸出上の負担と社会的負担という二重の負担を背負っているのである。産業再編という条件の下では繊維部門とは、迅速に外貨を得ることができる数少ない部門のひとつである。繊維製造では、EC、中国、トルコ、インドといった国々や共同体が指導的立場にいる。

表 2.27

繊維生産国上位 10 カ国 (単位: 100 万ユーロ) ²³						
	2005	2006	2007	2008	割合	成長率 % 05/08
	18,074	19,868	20,930	19,885	100.0	10.0
中国	4,081	4,885	5,451	5,613	28.2	37.5
トルコ	3,328	3,677	3,815	3,418	17.2	2.7

²³ http://ec.europa.eu/enterprise/sectors/textiles/statistics/index_en.htm

インド	2,028	2,210	2,398	2,225	11.2	9.7
パキスタン	1,246	1,394	1,546	1,472	7.4	18.1
米国	894	987	954	924	4.6	3.4
スイス	935	943	982	902	4.5	-3.6
韓国	803	737	799	676	3.4	-15.8
日本	522	549	568	571	2.9	9.5
台湾	487	522	411	426	2.1	-12.6
インドネシア	387	438	459	395	2.0	2.0

繊維部門には採算性を決定する最低製造量の指標が存在する。例えば、製糸業に採算性があるためには、最低でも年 2000 トン生産しなければならない。そのためには 4、5 本の生産ラインがなければならず、設備の組立、整備も考慮に入れると投資は最低 150 万-200 万ドル必要である。投資家は国内外の市場の状況にリスクが起これるのであれば、あえて投資をしようとはしない。なぜならば、企業開設までに 2 年はかかる（しかも、設備を納入し、組立て、整備するのに 8 ヶ月を要し、様々な許可を得るのに 1 年半かかることもある）。このような状態では国の銀行は融資を行わないのは明らかだ。したがって、政府が、外国の信用貸付に保証を与えることも含め、外国投資を呼び込むように積極的に支援しなければならない²⁴。

もひとつ繊維部門で問題といえるのが布にせよ、完成した衣服にせよ、それらの製造の生産性と品質である。現在まで、繊維企業への外国投資支援を得て行われた近代化の結果、ヨーロッパや世界の市場の要求に見合う糸の生産を行うことができた。しかし、国内では染料、化学繊維、小物（ボタン、バックル）や縫製生産に必要な補助資材でヨーロッパの基準に見合うものがあまり生産されていないか、基準に見合わないものが生産されている。

良質の布製品を製造せずには、（外国市場だけでなく国内市場でも）国の産業の競争力を語れない。しかも製品の表面を改良するだけでなく、軽さや繊細さ、丈夫さ、伸縮性等魅力的な特性を付与する最新の材料を用いた新しい種類を開発しなければならない。

国の繊維企業の問題の多くは経営の不備による。飽和市場という条件において（ウズベキスタンの企業はまさにこのような市場に完成した製品をもって望みたいと考えている）衣服とは個人的なものである。一方、投資プロジェクトが期待するのは通常、何百人もの労働者が働く場所での大規模生産である。そのような企業は市場の需要に柔軟に対応することが難しい。

繊維企業の経営者や専門家が、国内市場でも外国市場でも不可欠な知識や経験を形成するのに重要な条件は、然るべき情報を時宜を得て入手すること、そしてその情報を潜在的なパートナーに知らせることである。現在はインターネットに多くのサイトがあり、織物・縫製製品の製造者が必要とする材料や潜在的な顧客についての情報を得ることができる。

現在、「労働への出費」という指標によると、ウズベキスタンは十分に競争力がある。2007 年の公定レート計算によると繊維産業における平均賃金は労働賃金基金の割増金も含めてウズベキスタンでは時

²⁴ www.review.uz

給約 0.60 ドルであった。比較のために挙げると、インドネシアでは 0.67、中国では 1.10、エジプトでは 0.80、台湾では約 5.7 である（単位：ドル/時）²⁵。

上記のすべて要素によりウズベキスタンの織物・縫製業の競争力を、しかも東南アジア諸国との競争も考え合わせたうえで、評価することができる。

国あるいはある部門の経済競争力を最も明確に示すのは輸出量とその構造である。

ここ数年の国の繊維製品の輸出の構造を比較すると、綿糸（1 億 7900 万ドル）が優勢であるのが明らかである。しかし、綿加工を発展させる対策を真剣に行ったにもかかわらず、2008 年も状況は変わらなかった。つまり輸出の主要品目は以前と変わらず綿糸（1 億 7900 万ドル）と綿布（3390 万ドル）であった。他の製品、例えば、完成したメリヤス製品や縫製製品、タオル、メリヤス綿布等、は 2000 万ドル強であった。ただし、輸出に回される製品の種類は拡大している。1994-1996 年外国市場に輸出されたのが無地の布と糸だけであったのと比べると、2008 年は商品リストははるかに上回るものであった。

輸出がこのような構造になる理由は様々である。専門家は完成品の競争力のなさが最大の問題と呼んでいる。しかし、競争力のなさはそれでもなお完成品が外国市場へ乗り出す場合の唯一の関門ではないと考えられる。それにもかかわらず、ウズベキスタンには外国市場でも成功を収めている企業もあり、その中には完成した衣服を隣国だけではなく、ヨーロッパや米国にまで納品している企業もある。糸と無地の布の輸出を行うのははるかに簡単である。糸から様々な布を製造することができるし、様々な加工を施し、無限の種類とモデルの被服を縫うことができるからである。しかし、顧客はそれぞれ自分の好みの衣服があり、そのためにシャツを売るより糸の方が、十倍も安価であるが、簡単なのである。言い換えると、製造者には効果的な販売網を外国に築く経験、外国顧客の需要の調査、その需要の変化に合わせて製造を改革するという柔軟性が欠けているのである。

繊維製品の輸出入（単位：1,000 ドル）²⁶

表 2.28

コード	2004		2005		2006		2007		2008	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
HS5208	29880	469	18667	209	22073	200	22607,4	137,4	19720	36
HS5209	14435	410	9632	376	8879	47,2	10497	186,4	14170	176
HS5210	0	14	0	27	0	10,4	0	26,4	0	11,1
HS5211	0	19	0	10	0	14	0	0,5	0	7,5
HS5212	0	3,2	0	29	0	6,4	0	5,5	0	2,3
HS6001	4605	3168	1748	2376	1547	1307	1448	306	3142	676
HS6002	47,5	0	1,2	0	0	1	0	0,4	0,6	0,1
HS6003	0	0,9	0	0,9	0	2,1	0	0,2	0	1
HS6004	0	33	301	22	1195	36	1677	16,1	1666	134
HS6005	0	0,3	0	32	0	7,1	0	17,1	84	2,3
HS6006	3707	1090	2494	1215	7391	1937	5377	1160	6433	486
HS6103	50	72	27	26	187	26	908	105	1241	150
HS6104	1405	164	3161	142	3046	129	2355	132	4548	175

²⁵ www.apta.org.pk

²⁶ ウズベキスタン国家統計委員会

HS6105	944	79	2691	434	1998	22,4	1613	56,2	2338	204
HS6106	426	32	552	15	1278	12,1	3794	23,4	1956	23,5
HS6107	101	63	369	51	1011	40,2	1456	37,6	3420	412
HS6108	265	90	1444	56	1424	48,3	1385	225	4717	121
HS6115	219	98	233,3	104	648,5	72,6	1792	206	2939	136
HS6203	460	1363	352	1157	526	2671	940	910	811	897
HS6204	153	902	965	674	569	408	133	483	130	647
HS6205	8	646	53	372	35,1	180,3	20,2	226	60	182
HS6206	0	2891	2,8	36,9	16,7	25,1	25,6	47	21	80
HS6207	22	27	6,1	50,5	137,6	10,1	688	31,2	0	47,7
HS6208	39	131	20,5	56,4	51,6	72	72,6	88	50	100
計	56767	11765,	42720,	7477,	52014,	7285,	56789,	4426,	67447,	4708,

国際的傾向を考慮に入れた上での展望

今はまだ長期的な展望を述べることは難しいが、現在のところウズベキスタンにとって十分好ましい傾向にある。あるインターネット情報では、最近数年の世界における衣服製造に関する興味深い情報が掲載されていた。引用したデータは、ウズベキスタンが繊維・衣服市場で誰と競争することになるかが述べられていた。しかも、外国市場だけでなく、地域市場についても言及されていた。

縫製製品の世界の生産 (1,000 トン)²⁷

表 2.29

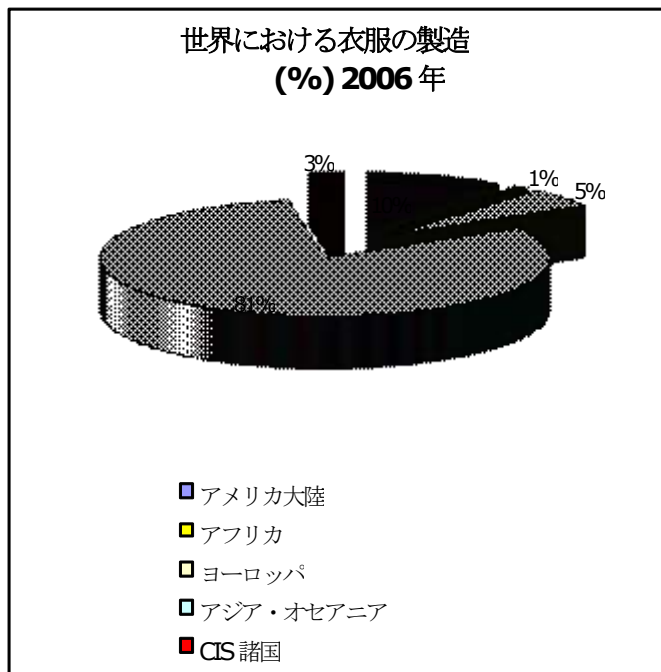
国・地域名	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
米国	914.5	771.2	713	633	631	524	498
ベルギー	39.0	39.0	36	27	25	22	21
フランス	86.0	82.5	66	53	42	39	37
ドイツ	146.1	129.7	121	122	105	98	88
イタリア	170.1	174.0	171	161	122	122	120
スペイン	88.5	100.2	75	60	51	46	44
スイス	33.3	30.9	25	24	22	21	20
英国	2.8	2.8	1	1	1	0	0
カザフスタン	2.7	4.1	3	3	3	4	4
キルギス	4.3	5.0	5	5	5	5	5
ロシア	252.7	248.9	312	321	292	298	298
タジキスタン	5.4	6.2	6	6	6	6	6
トルクメニスタン	1.4	1.7	2	2	2	2	2
ウクライナ	26.0	29	30	30	29	29	30
ウズベキスタン	40.8	72.5	61	65	64	63	70
バングラデシュ	9.0	9.1	9	12	14	14	14

²⁷ http://www.apta.org.pk/Pak_Textile_Statistics/worldbaspan.asp

香港	63.1	60.7	58	44	36	36	29
台湾	173.5	165.1	155	143	135	129	124
中国	3029.3	3221.8	2892	3181	3607	3978	4173
インド	1767.4	1757.4	1750	1615	1742	2071	2134
インドネシア	411.2	426.7	397	380	379	390	398
イラン	85.0	74.0	129	131	132	135	135
日本	126.8	116.9	103	97	92	81	80
朝鮮	33.3	34.4	35	32	29	28	27
パキスタン	1028.5	1067.6	1746	1687	1868	3090	3203
トルコ	480.0	487.6	534	543	585	608	613
世界総計	11008.3	11038	11661	11604	12340	13793	14132

バルト諸国を含めた旧ソ連邦内では、ウズベキスタンは衣服製造の年平均の生産拡大の速度に関してトップであった。ただし、1996-2006年はこの成長が一様ではなかった。もちろん、ヨーロッパモードの関係者は被服を重さで測ることに反対であろう。しかし、地球上の多くの人々は、ヨーロッパ人デザイナーの作るものを着ているわけではなく、アトリエで作られる多くのデザインは東南アジアの縫製企業によってだいぶ前に習得されている。グラフ 2.2.1 では、2006年に製造された衣服の80%以上がアジア・オセアニアで作られていることがはっきりとわかる。中国は繊維産業における生産力を高め続けている。もっとも、他のアジア諸国も繊維産業の発展を速めている。

グラフ 221



このプロセスの規模については、綿繊維の需要の規模という指標も多くを語っている。2009年の最大の買手は、中国（1000万トン）、インド（400万トン）、パキスタン（260万トン）、米国（76万

3000 トン)、トルコ(110 万トン)となった²⁸。これらの国々のうち、米国のみが完全に自給自足できている。しかし、米国は繊維製造も綿花栽培も削減している。逆に成長を続けるアジア諸国は輸入によりストックを増やしている。

ウズベキスタンにおける綿花の需要量が 20 万トン以上であることを考慮に入れると、第一になぜ競争力の問題が持ち上がってくるかが明らかになる。第二にロスを減らして製造規模を拡大するという伝統的な方法でこれらの問題を解決することは不可能であることも明らかである。パキスタンの繊維部門発展のための投資は毎年およそ 10 億ドルであり、中国の繊維産業への累積投資額が 2003 年 12 月 1 日現在で 669 億ドルに達していることは周知の事実である。たとえウズベキスタンがそれほどの資金を集めることができたとしても、それを使いこなすのに数年を要するであろう。現在、独立国家形成期にこの部門に集められた投資は総額で 10 億ドルと評価されていることを思い出さなければならない。

上で述べたことをまとめると、ウズベキスタンの繊維産業は発展を続けており、この傾向は今後も続くことが理解できる。したがって繊維製造の近代化計画、労働集約型工程の機械化と自動化計画は今後も続けられるであろう。

ウズベキスタンの繊維部門の主な方向性は以下のように定義できる。

- 製糸業：新世代の設備を基礎にして不織糸製作所を刷新する。
- 製布業：糸のつなぎ目に結び目のない自動糸縫機械の使用、旧世代の織機を新しい無籽織機に変える。
- 装飾・染色業：工程管理を自動で行う新しい機器を導入する。

この調査を行う過程で明らかになったのは、企業には技術設備の輸入に関心があるということであった。特に、村田機械、豊田自動織機、ジューキ、ヤマトマシンといった会社の縫製機器(日本の機器の質の高さを企業のリーダーである回答者たちの多くは強調した)および織物機器に関心を示している。同時に、これらの機器の値段がかなり高いことも指摘した。それにもかかわらず、ある一定の需要は存在している。弊社のエキスパートとの懇談で、何人かは、高価だが質のよい、生産性の高い機器を入手することの益をやはり述べていた。

現在不可欠な技術機器をどうやって入手するのか? 様々な方法がある。第一の方法は、ほぼすべての外国投資家がとる方法である。すなわち、自分の技術とマネジメントとあらゆる不可欠な機器を一緒に持ち込むのである。二番目によくとられる方法は国家投資計画に組み込んでもらい、信用貸付、設備の買付、国家保証等を得る方法である。第三の方法は、自己資金で独立して機器を獲得することである。最後の方法は少し難しい。外貨を持っているか、あるいは必要総額を変えるかだが、いずれも極めて困難である。

技術設備の輸入の推移と輸入量については 4 章に詳細がある。

²⁸ www.cotton.org.

3. 繊維製品の製造、商取引および展開

3.1 繊維企業および所有形態

ウズベキスタンの繊維産業は、外国商社にとって協力して納入することのできる可能性が最も高い分野である。平均 350 万トンの原綿収穫があり（2009 年の収穫は 340 万トンであった）、そのために綿繊維はおおよそ 100 万トン製造されており、ウズベキスタンは世界で（中国、インド、米国、パキスタンに次いで）5 番目に大きい原綿産出国、そして 6 番目の綿繊維製造国となっている。

繊維産業はウズベキスタンにとって特別な意味をもっている。第一に、この産業は国に自前の利点を基礎にして世界市場に乗り込む可能性を提供してくれる。第二に、労働力を多く必要とする経済分野である繊維産業は、現在構造的に失業率が高い国にとって社会的意義ももっている。その上、繊維産業は、今日産業を発展させつつある多くの国々がかつて経験したことであるが、急激な産業化の中での第一歩を踏み出しつつあるのだ。

今日では、軽工業では国の産業で働く全労働者の 3 分の 1 が集中しており、産業製品の中の割合は 20% 以上を占め、ウズベキスタンの生活必需品の製造においては 50% を越えている²⁹。

所有形態としては、繊維部門の企業は特に制限はない。国が資本の一部を有する企業でもあり得るし、100% 私的な資本で成り立っている企業もあるし、国と個人の資本が混合している企業もあり得る。

完全国有の繊維産業の企業はほとんど残っていない。それにも関わらず、この部門の国の経済の中での重要性を考えると、国家は今でも、繊維産業内のすべての主な製造工程の主要管理者であり続けている。例えば、破産した企業の現金化や繊維企業の近代化、合弁企業の設定等は直接的あるいは間接的に、国家資産委員会や対外経済関係投資貿易省といった国家機関によって行われる。

経営の法的形態のニュアンスも幅が広く、株式会社から個人経営までである。製糸企業や繊維企業は、その特質から株式会社あるいは有限責任会社として設立されることが主である。他方、縫製会社は私企業と有限責任会社のものが多い。ディーラーとしては巨大卸売商社がある。ウズベキスタンの卸売業は許可制のビジネスで、いくつかの法的規定があり、そのために卸売業を営むことができるのは、法的資金の中でかなりの資産をもっている大商社のみである。最低賃金の 3500 倍以上³⁰なければならない。そのうち、最低賃金の 1200 倍以上が資金の形をとっている。卸売業を営業するためには計 1 億スム以上が必要とされる。布と完成した縫製製品の販売者となっているのは有限責任会社と個人企業家である。彼らは小売商としての営業許可証を持っている。

2002 年 7 月の大統領令により、織物、メリヤス、縫製、絹といった国の軽工業部門の管理体制を発展・改良するための条件を作り出し、市場関係を深め、軽工業部門の商品製造を増やし、綿繊維を本格的に加工することで輸出力を高めるために、以前から存在している UZBEKLEGPROM 協会は軽工業商品の製造を行う国営株式会社 UZBEKENGILSANOAT に改編された³¹。

商社の主な働きと方向性は大きく変わった。今日の優先課題は以下の通りである。

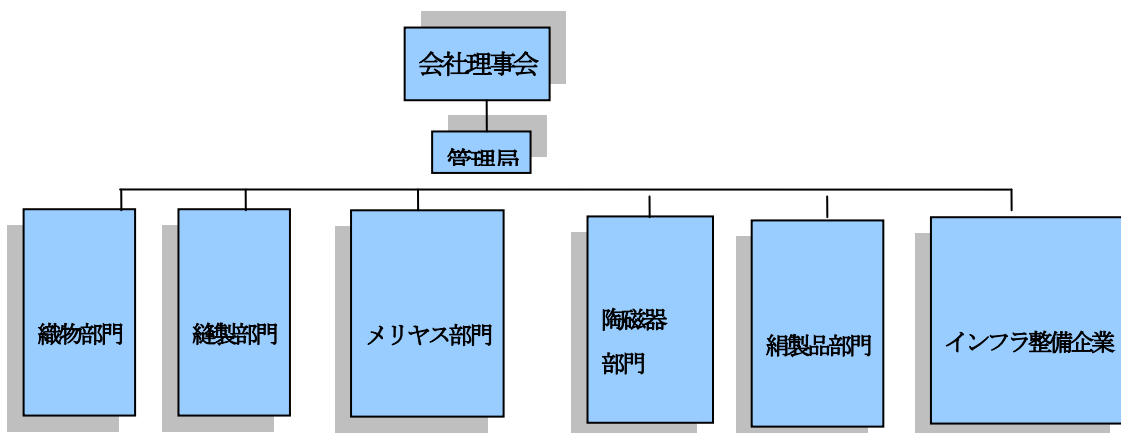
²⁹ <http://www.lpb.ru/print.php?id=4277>

³⁰ 2990 年 12 月 1 日よりウズベキスタンの最低賃金は 37680 スムである。

³¹ <http://www.legpromuz/index.php?fb-page&page=10001034>

- 繊維分野の安定発展のための有望な戦略を決める。
- 繊維分野の企業にあらゆる援助を行う。
- 新しい企業を創設する。
- 現在行われている製造の技術的刷新と近代化の実施。
- 軽工業商品を対外市場に売り込むこと、等。

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** 組織構造



国内の軽工業企業の大部分は国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** に所有されている。2009年5月1日現在、**UZBEKENGILSANOAT** は8つの下位部門を一つにまとめている（綿糸、メリヤス、縫製、絹、陶磁器、羊毛、不織布、ワタ）。そこには171経営主体が含まれる。内訳は以下の通り。

- 株式会社および非公開型株式会社 24社
- 合弁企業 52社
- 有限株式会社 30社
- 外国企業 41社
- その他の組織形態 24団体

その内、

- 繊維企業 77社
- 縫製・メリヤス企業 60社
- 絹織物企業 27社
- 商業企業 7社

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** 傘下の企業のリストは付属資料3.1.1に挙げている。

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** に含まれる企業の年生産高は以下の通り。

- 綿糸 30 万トン
- 綿布長さ 2 億 1700 万メートル
- 不織布 4640 万㎡
- ワタ 2 万 1500 トン
- メリヤス布 5 万 7800 トン
- メリヤス製品 1 億 9720 万個
- 靴下類製品 1360 万足
- 生糸 1900 トン

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** の活動のまとめ。2008 年 1 月から 12 月にかけて、産業製品の製造は 7293 億 5000 万スムであった。

軽工業の主な商品項目の製造は保障されている。以下がその内訳である。

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| • 綿糸 | 16 万 2 千トン (成長率 107.1%) |
| • 綿布 | 1 億 40 万㎡ (成長率 100.1%) |
| • メリヤス製品 | 5100 万個 (成長率 130.5%) |
| • 靴下類製品 | 890 万足 (成長率 2.5 倍) |
| • 縫製製品 | 142 億 1200 万スム (成長率 152.1%) |
| • 絨毯および絨毯製品 | 28 万 5,000 ㎡ (成長率 100.1%) |
| • 不織布資材 | 2260 万㎡ (成長率 100.0%) |
| • 陶磁器食器 | 2 億 9500 万スム (成長率 100.0%) |
| • 生糸 | 770 トン (成長率 102.6%) |
| • ワタ | 7100 トン (成長率 121.5%) |

製品輸出総額は 3 億 7500 万ドルである。

1344 億 6400 万スムの範囲で資本が投入された。そのうち、外国投資は 1 億 260 万ドルであった。

2008 年には 23 企業が稼働を始めた。そのうち、10 社が完成品を販売している。

2008 年 5 月 28 日付ウズベキスタン大統領決定 PP-879 号に従い、地元の原料を基礎に製品と材料をまとめた完成製品製造の国産化計画により、2008 年に国営企業 **UZBEKENGILSANOAT** によりあるプロジェクトを実現する作業が行われた。これは合弁企業有限責任会社 **Guner tash** が繊維産業のために補助的な化学物質を製造するというのである。

2008 年 1 月から 12 月の間の国産化計画を実現させた結果、総額 19 億スムの製品が製造された。

今後もこの分野の発展を続けていくために、現段階での商社活動における優先的課題は以下の通りである。

- 企業のさらなる再構築、技術的刷新。外国の直接投資の呼び込みによる再構築、技術的刷新を含む。
- 産業製品製造の安定したバランスの良い成長を保障する。
- この分野の輸出項目について輸出潜在力を高める。

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** への参加は自発的なものあり、毎年の出資金は企業の利益の **0.4%** である。協会に参加することにより、参加企業は以下のような問題について支援を得ることができる。

- 議会や閣僚会議等の国家機関で企業の利益についてロビー活動を行うこと。
- 潜在的な投資家、顧客、パートナーとの接触を斡旋する協力をを行う。
- 販売市場開拓の協力。
- 情報部門、組織部門での支援

繊維部門をさらに発展させるためには加工された綿繊維の製造量を **50%**にまで持っていくこと、そして布、完成した製品を製造することである。そのためには**7億ドル**以上の投資が必要になる。

繊維分野の今後の発展の方向性は主に国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** の企業の展開および近代化の長期計画（**2008年**から**2020年**の間）の中で決められている。現在、外国資本が参加している会社の比重は **UZBEKENGILSANOAT** の全企業の資本の中で **90%**を越えている。**10分の9**の工場が綿糸および/あるいは綿布を製造しており、**3分の1**の企業がメリヤス布とメリヤス製品を製造している。およそ**20**社の工場は衣服と靴下類製品を生産している。

ウズベキスタンでは主な生産力は製糸業に集中している。織物製品、縫製製品を製造するための投資の余地がある。

製品の競争力を高めると同時に、繊維企業が繊維部門の近代化および技術刷新のために最新設備を装備するための課題には以下のものがある。

- 製糸業：**80%**から**90-95%**の製品の生産を拡大させること、良質の糸を生産すること、製造される綿繊維の**50%**を加工すること。
- 製布業：混紡布の製造、特にシャツの製造をすること。
- メリヤス、縫製業：最新型の完成製品を製造すること、小物の製造をすること。

新しい投資プロジェクトを実現させると、年間で綿糸製造は**17万800トン**、綿布製造は長さ**3570万m**、メリヤス布は**3万9800トン**、完成した縫製メリヤス製品は**6715万点**、靴下類製品は**5860万足**の増加がみられるはずである。

2009年はじめまでに製品輸出を**3億8290万ドル**増加、約**2万2000**件の就職口を作り出すことが計画されていた³²。

³² http://www.investuzbekistan.uz/rus/investionnie_vozmojnosti/otrasli/tekstilnaya_promishlennost/

3.2 外国投資の制限とウズベキスタンへの進出状況

ウズベキスタンは綿花のストックが多く、生産ロスも少ないために、織物・縫製産業が発展するための好条件がある。ここ数年、この部門には比較的多額の投資が行われている。それにもかかわらず、技術整備や製造管理のノウハウの習得がまだ大きな課題として残っている。

繊維産業が発展する好条件が出来上がったのは昨日今日ではない。繊維産業は伝統的に投資家にとって魅力的な産業部門である。2007年から2012年にかけての今後の繊維産業の発展に関する計画の中心として、6億1460万ドルの規模で投資を行うプロジェクトが予定されている。これには外国投資家が参加することが望ましい。このために政府は経済のこの分野の投資状況を改善しようと努力している。

2007年から2012年にかけての繊維産業商品製造発展計画によると、2012年末までに79件の投資プロジェクト、総額6億1460万ドルを実現させる予定となっている。その際、3万6200件の雇用が創出されることも意図されている。この計画によって得られると予測される結果は、綿繊維の加工が2012年の初めまでに51万トン、綿糸製造が40万7100トン、綿布が3億1956万㎡、衣服が2億6560万着に拡大することである³³。

「全投資の半分以上が、外国の直接投資である。その他は政府が保証しない外国の信用貸付と国内銀行の信用貸付である。全体として、外国投資の繊維部門への流入は、今後5年間、年平均で2億ドル以上である」³⁴。

ウズベキスタンの繊維産業へ資本を投下しようとした外国投資家は、国家機構の定めた基準に従わなければならない。上で述べた投資計画の範囲内であれば、国営株式会社UZBEKENGILSANOAT 専門家理事会が直接的に、また対外経済関係投資貿易省が間接的に担当する。

ウズベキスタンの繊維産業に関心をもつ潜在的な外国投資家は、ウズベキスタンに企業を設立したいと考えているならば、以下のことを考慮に入れなければならない。

- 資本金は15万ドル以上有すること。
- 創業者のうちの1つに外国法人が含まれていること。
- 資本金における外国投資の割合は30%以上であること。

その他、市場経済移行の初期の経験に鑑みて政府は、投資家が短期間の利益を得るために動くのではなく、戦略的に稼働することを望んでいる。

すでにウズベキスタン繊維産業に投資を行った外国投資家は、パートナーと協力して外国の直接投資により企業を設立し、自動的に様々な優遇措置を法に従って受け取っている。

納税優遇：外国の直接投資を受けている企業は、完成した繊維製品を加工（全生産の60%以上を占める）している場合に、2009年1月1日まではあらゆる国家予算、地方予算への税金と関税の免除がある。例外は付加価値に対する税金である（外国での納品時は0%だが国内では20%アップされる値段の場合）。納税免除の結果生じた金額は企業に投資されなければならない。

³³ <http://www.textilemarket.ru/news/detail.php?ID=34712>

³⁴ Shavkat Radzhabov, 投資誘致・国営株式会社合弁企業‘Ozbyengilsanoat’設立主要局副局長

関税優遇：外国の直接投資を受けている企業からは、技術設備、補助設備、生産工程に必要な備品を輸入する場合には関税の支払いは要求されない。例外は輸入の登録にかかる税である。この特恵は国内で生産されていない化学物質、染料、付属設備やその他の補助資材にも適用される。

価格優遇措置：原綿に関して。ここではリバプール綿花取引所の価格と比較して 15%の割引と 5%のエクストラ・ボーナスがある。すなわち、計 20%のサービスがある。追加の 5%の割引を得るには、2 つの条件を満たさなければならない。つまり、企業は 100%完成品を独力で生産し、そのうち 80%以上の製品が輸出に回されなければならない。

輸出優遇：ウズベキスタンの会社が行う外国貿易では信用状が最も重要な支払形態である。そのため外国の直接投資を得る企業は信用状の有効期間を独占的に 90 日間にすることができる。この措置はウズベキスタン企業の商業活動に肯定的な影響を与えている。その上、自社製品を販売するときには融通が利いて、支払いの際には迅速に行われる。

ウズベキスタンで採用されている外国投資家に対する優遇に関する法は保証付で、その権利を保護する対策も採られている。この法律は企業設立時から 10 年間の保証があり、この保証により、投資家の状況を悪化させるような法律の変更があった場合にも保護されることになっている。

閣僚会議決定（2009年8月20日付236号³⁵）によると、外国投資家には以下の状況が設定されている。

4 項 ……繊維企業の近代化および技術刷新のプロジェクトは……ウズベキスタン対外経済関係投資貿易省が代表となるウズベキスタン共和国政府と外国投資者の間で締結される投資協定に基づいて実施される。

……投資協定には関税支払が免除となる輸入される技術設備（関税手続のための手数料を除く）のリストが示され、さらに外国投資家に補足的に課せられる義務が以下のように規定される。

- 輸入された設備をプロジェクトの技術的・経済的根拠の元に厳格に定められた期間に移動すること。
- 設備が移動し始めて2年の間にプロジェクトで掲げた生産力を発揮すること。
- 5年間で縫製・メリヤス製品および布製品の生産を70%以上のレベルで維持すること、製糸業では85%以上の生産を維持すること。
- 70%以上の製品を輸出に回すこと。
- 新しい雇用を創出すること。

外国投資家とウズベキスタン対外経済関係投資貿易省の間で署名された投資条約は後者によってウズベキスタン閣僚会議に渡され、政府による承認決議を得る。

外国投資家が締結された投資条約の条件を実行しなかった場合、優遇措置により得られた資金は国家予算に完全に徴収される。

5 項 ウズベキスタン対外経済関係投資貿易省は、省に付属の省庁間輸出委員会の意見を考慮に入れつつ、定められた手順で投資条約を締結しなければならない……。

³⁵ 「ウズベキスタン共和国法律集」（2009年）、N34、372ページ。

6項 本決議の付属資料 N2 に従い、ウズベキスタン対外経済関係投資貿易省付属の軽工業企業の建設、再編、近代化についての提案を調査する省庁間専門家委員会は、承認された 2009-2011 年の繊維企業近代化・技術刷新のための投資プロジェクトのリストに新たなプロジェクトを追加する、あるいはそのリストからプロジェクトを削除する提案を閣僚会議に提出することを定める。

7項 以下のことを承認する。

- 非食料品消費財を特化して生産している企業によって輸入される、国内で生産されていない輸入品、原料、資材のリスト。これらの商品には関税優遇措置が適用される（関税手続きのための手数料を除く）。……

8項 2003 年 6 月 2 日付大統領令 UP-3267 号「外国投資を受けている企業による完成した消費財の製造拡大推進補助対策」で規定された優遇措置は国営株式会社 UZBEKENGILSANOAT に属する企業によって輸入された商品の間接税についても適用されることを考慮に入れる。

外国投資家への大きな税金免除があることはウズベキスタンの繊維部門においていまだに存在する以下の 3 つの欠点によって正当化される。

- 1) 最新の製造、運営の分野での知識、熟練、経験の欠如
- 2) 最新技術、設備、資材、工学的・デザイン的な仕上げの欠如
- 3) これら全てを開発するための資金の欠如

ウズベキスタン経済が発展する方向性の中で優位であるもののひとつに繊維産業が今後も刷新され近代化されていくことが挙げられる。世界的には金融経済危機にも関わらず、メリヤス製品と良質の糸は世界市場において安定して高い需要を得ている。製造の近代化は企業と投資家の自己資金により行われる。

ウズベキスタンの繊維産業の魅力は原料備蓄が安定しており、綿繊維の質が高く、政府によって創設された優遇措置や動機づけのシステムがよいことにある。

最近数年の間にこの産業は外国投資 15 億ドル以上を呼び込んだ。合弁企業や外国企業が 100 社以上設立された。繊維製品の 95%が、世界有数の繊維機器会社が製造する最新機器をもつ合弁企業、外国企業によって生産されている。国営株式会社 UZBEKENGILSANOAT に属する企業によって生産された 80%の製品はヨーロッパ諸国、米国、アジア地域に輸出されている³⁶。

外国の設備納品業者と投資者にとってウズベキスタンの織物産業、縫製産業は今後大きなビジネスチャンスを提供している、とドイツ外国貿易情報局 (BFAI、Bundesagentur fuer Aussenwirtschaft) が発表している。繊維産業は国内総生産の 10 分の 1 に相当し、生産される生活必需品の半分に当たる。綿繊維の製造量は年 100 万-120 万トンで、国はこの種の繊維の世界 6 位 (中国、インド、米国、パキスタン、ブラジル) の産出国となっている³⁷。

政府による近代化および原綿繰企業生産力の刷新計画を実現することによって、設備販売を行う外国商社にも有望なチャンスが開ける。綿繊維はウズベキスタンの重要な輸出商品であり、2007-2008 年シーズンの輸出ストックは専門家によると、70 万-75 万トンと評価されている³⁸。

³⁶ http://www.uzbekistan.org.ua/ru/news/economical_news/696.html

³⁷ <http://www.lpb.ru/?id=4557>

³⁸ <http://www.lpb.ru/?id=4276>

国内の綿織維加工の生産施設は織維工場も含め、部門別協会に入っていないが、年 35 万トンを構成している。これらの工場は綿糸 30 万トン、綿布およそ 5 億 m、メリヤス・縫製製品 1 億 6000 万点、靴下製品 4000 万足を製造している。

他方、ウズベキスタンは以前と同様、この部門の今後の発展と近代化のための資本が大幅に不足している。現在のところ、UZBEKENGILSANOAT 傘下企業が使用している綿織維の約 5 分の 3 は新しい設備で加工されている。しかし、新しい工場の建設がうまくいったとしても、現在稼働している生産施設の刷新は今後に期待するところが大きいのは明らかである。織維部門の多くの企業は新しい工場や外国との競争を乗り切れない状態にある。

現在所有している生産資源が十分に活用されていない原因は様々である。古い設備で生産された製品は競争力がない。現在までソ連時代に設置された、旧式化して質的にも衰えている機械でいまだに稼働している企業もある。これらの生産力は改善の余地が大きい。

さらにもうひとつの問題は、インフレ対策として中央銀行が紙幣流通を制限していることが挙げられる。それにより多くの織維商社は自社の口座から現金を引き出すことが難しくなっている。その結果、機械や設備は古くなっていく。なぜなら、付属部品や予備、補助資材の輸入に必要となる外貨にウズベキスタン・スムを交換するのに数週間から数カ月かかることもあるからだ。

地方の企業責任者の中には、保障されている電力供給が中断したり、原綿を生産地から綿織工場まで納品する輸送費が不足していたり、関税手続きが長く官僚的であることを述べる者もいる。

UZBEKENGILSANOAT による 2007-2012 年の投資計画を実現すると外国の納入業者や投資家に好条件のチャンスが与えられるとされている。この期間に 79 のプロジェクトと新しい企業設立のために 6 億 1460 万ドルが供給されなければならない。織物産業、縫製産業の輸出量は 2012 年には 15 億ドルを越えなければならない。

織物・縫製産業に外国投資を呼び込む主な目的は、企業の技術的近代化である。

織維部門では、ドイツ、イタリア、韓国、トルコ、米国、インド、英国といった国々からの投資が参加することにより設立された企業が稼働している。

ウズベキスタンでは巨大合弁企業の設定方法がすでに整備されている。トルコ系商社 BURSEL TEXTILE industry and foreign trade 社の参加の下、ホレズム州に最近設立された合弁企業 BURSEL Bagat TEKSTIL' の例でその方法を概観することができる。綿糸・メリヤス布・寝具製造工場建設（建設未完了の設備を基礎としている）のための設備と資材の納入にかかった総費用は 4700 万ドルと見積もられている。その内、705 万ドルはトルコ系商社の合弁企業の法的資金への投資として融資される。そして 3995 万は日本の国際協力銀行からの信用貸付で融資される。日本の銀行の信用貸付はさらに株式会社 Asaka 銀行に再融資され、合弁企業 BURSEL Bagat TEKSTIL' 独自の資金で返済される。

Asaka 銀行の国際協力銀行に対する支払義務と合弁企業 BURSEL Bagat TEKSTIL' の Asaka 銀行に対する支払義務にはウズベキスタン財務省によって政府の名において保証が与えられる。このような融資の方法を取ると、外国投資家のリスクを大きく削減し、投資家に魅力的となる。同じトルコ系商社が参加するメリヤス被服製造の合弁企業 BURSEL TASHKENT TEXTILE が最近設立されたのも偶然ではない。この設立のために必要な 4400 万ドルのうち、1300 万ドルはヨーロッパ復興開発銀行の信用貸付で、50 万ドルは OPEC 国際開発基金からの信用貸付から提供された。

90年代初めから2007年末までに現在稼働中の織物・縫製工場の近代化と新たな工場の建設のために外国投資14億ドル以上が投資された。そのうち、12億ドルはUZBEKENGILSANOATに投資されている。最近稼働を始めた工場には、ポイトゥグ市（アンディジャン州）のウズベキスタン・英国系商社（年3176トンの綿糸生産）Tagus TEXTILEとプルバンディ市（ブハラ州）のウズベキスタン・トルコ縫製会社Schafirkon-Divatexがある。そこではロシア鉄道用の制服が製造されており、スポーツウェアの製造の予定もある。この商社は2009年には自社製品を100万ドルにまで持っていくことを目標に掲げている。

2007年7月20日付大統領決定672号「2007-2010年にかけて民営化プロセスを深化させ、外国投資を積極的に呼び込むための措置について」によると、2008年は20社の株式販売が決定され、これは競売で販売されなければならない。事実、2008年はそれらのうちの企業の株式が販売され、総額は39億7700万スムとなった。

タシケントにある新しい企業体である個人企業Bajteksは合弁企業Farkhadteksを基礎にしており、生産力は糸5000トン、メリヤス布は2500トンである。

年2500トンの糸を製造することが可能なのは新しい工場Markhamat im-iigiruvである。これは破産した工場を基礎にして設立された。この工場の製品の80%は輸出に回される予定である。グリスタンにある合弁企業Mili Tekstil Gulistonは綿糸の年生産およそ2500トンを見込んでいる。6項目の完成製品の90%が輸出されることになる。

タシケント州の個人企業Daishin Megateksの完成したメリヤス製品の生産能力は200万点以上である。

綿の原料の7000トンは加工されると900万点の完成したメリヤス製品（Besharyk tekstil社製）を製造することができる。最新の外国設備のおかげで、企業は製品の種類を拡大し、輸出潜在力を高めることを目標にしている。

国営株式会社UZBEKENGILSANOATのプレス代表によると、韓国系商社Shindong Enercom Inc.と綿製造拡大のための協定に署名がなされた。新企業はテルメズの破産した工場を基礎にしており、Shindong Spinning Temezという名称の下、外国の直接投資を総額200万ドル呼び込んでいる。英国系商社Wayrex LLPはTashBrunnentexとBURSEL TASHKENT TEXTILEという2つの企業を設立し、これらの企業にさらに100万ドルを投資し、今後企業がさらなる発展のために、また100以上の雇用を創出するために投資する準備があると述べた³⁹。

トルコ系企業SIS SAYILGAN IPLIK（SIS Holdingの1部門）は2008-2017年の間に、ウズベキスタンの繊維コンビナートの中で生産力2位の公開型株式会社BUKHARATEKSに1億4100万ドルの投資を計画している。トルコ系商社はオークションでBUKHARATEKSの資産の一部を162億スム（1200万ドル以上）で落札し、第2の製糸製布工場、染料・装飾生産業、製造インフラの設備を獲得した。近代化のための資金は投資義務に従って投資される。

製糸製布工場を近代化した後には、年3万2000トンの綿繊維と2万6000トンの綿糸、長さ450万メートルの無地の布、400万点の完成した縫製製品の製造が期待されている。

³⁹ www.sdspinning.uz

2009年3月には韓国系 DAEWOO INTERNATIONAL が70億スム（約540万ドル）で製糸製布第1工場公開型株式会社 BUKHARATEKS を買い取った。韓国系商社は繊維企業の近代化のために4750万ドルの投資を計画している。

インド系会社 SPENTEX INDUSTRIES は有限責任会社 TASHKENT TOITEPA TEKSTIL' を8100万ドルで、韓国系の DAEWOO INTERNATIONAL は有限株式会社 FERGANA TEKSTIL' を6800万ドルで、トルコ系の MIMATAS TEKSTIL は合弁企業 AIM TEKSTIL' を4800万ドルでそれぞれ購入した。

トルコ系の MIMATAS TEKSTIL SANAYI Ve TICARET A.S. は2009-2010年の間にアンディジャンの公開型株式会社 BOBUR を基礎にして設立された繊維企業に7500万ドルを投資する。ウズベキスタン大統領決定により承認されたトルコ系商社によって買付られた繊維企業の株式は1140万ドルである。

獲得した施設をもとに、トルコ系商社は綿繊維7000トンを加工し、上等な綿糸（№51-68）6200トンの生産を行っている。また、年間で長さ1000万mの完成した綿布と384万点の完成した縫製製品を生産している。生産された製品の80%以上を投資家は輸出に回している。

2006-2008年の間に一連の外国投資家が獲得したウズベキスタン繊維企業の株式の総額はおよそ2億5,000万ドルである。

特に、インド系の SPENTEX INDUSTRIES は繊維企業である有限責任会社 TASHKENT TOITEPA TEKSTIL' を8100万ドルで獲得したが、この企業はタシケント州トイテパ市に設計出力が綿糸4万8000トン、無地の綿布長さ2300万mの綿糸工場を2棟有している。

韓国系 DAEWOO INTERNATIONAL はフェルガナの繊維企業である有限責任会社 FERGANA TEKSTIL' を6800万ドルで獲得した。さらに1600万ドルの範囲で追加の投資を行わなければならない。

トルコ系の SIS SAYILGAN IPLIK は、国内の繊維コンビナートとしては第2の生産能力をもつ公開型株式会社 BUKHARATEKS の資産の一部を1250万ドルで獲得した。投資の規模は10年に渡って1億4100万ドルと申告されている⁴⁰。

国家資産委員会のデータによると⁴¹、建設が終わっていないナマンガン州の木材加工コンビナートを純経費のみで販売する協定に従い、トルコ系商社 Mert Iplik Dokuma Sanayi ve TICARET A. Ş. は2422万ドルの投資義務を完全に遂行した。建物の再建築、土地の環境整備が行われ、技術設備が納入され、輸出用も含めたメリヤス糸が生産され始めた。その結果、長期間建設が滞っていた場所にメリヤス生産の個人企業 MRT TEXTILE が設立され、450人の就職口が創出された。

同様に、タシケント州の建設が未完成の建築コンビナート売買契約に従って、投資家である商社 OSBORN TRADING LIMITED（英国）は設備の納品および組立のための資金という形で1142万1000ユーロの範囲内で投資義務を期間内に完遂した。有限責任会社の形態で外国企業 OSBORN TEXTILE が設立され、そこに426人の就職口が創出された。建物も再建築され、製糸、染料、製布生産用の技術的設備も納入された。

⁴⁰ 情報局 Trend Capital http://www.trial-pack.ru/business_events/2411

⁴¹ <http://www.gki.uz/content/view/7284/3/lang,en/>

国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** の経営代表者イルホン・ハイダロフ氏は、中央アジア国際展覧会「繊維設備と技術 2009」と「繊維とモード **TEXTILE EXPO UZBEKISTAN-2009**」のオープニングで、ウズベキスタンは今後 2 年のうちに繊維部門に総額 2 億ドル以上投資を呼び込む計画であると発表した。

現在、ウズベキスタン国内では先進的な繊維製品製造国であるドイツ、韓国、スイス、トルコ、米国、シンガポール、インド⁴²といった国々とパートナーシップを築き、110 社以上の合弁企業を設立している。ポーランドとシンガポールとはパートナーシップに関する交渉も行われている。

中国系商社 **NANYANG RED COTTON ANGEL TEXTILE CO. LTD** はアンディジャン州イズバスカン地方チュアマ村にある公開型株式会社 **CHUAMA** の資本を獲得し、それを基礎にして綿繊維加工の外国企業を設立している⁴³。この商社は総額 20 億 9700 万スム (140 万ドル) で公開型株式会社の全資産を、10 年の分割払いで買い取る予定である。その場合、中国系商社は 2009-2011 年の間に直接投資を 1800 万ドル以上しなければならない。その内訳は、第一段階 (2010 年 6 月 1 日まで) に自前の資金で 1100 万ドル、第二段階 (2011 年 1 月 1 日まで) に信用貸付により 700 万ドルである。新しい企業は最新の技術設備を備え、生産力は綿糸年 1 万トンである。さらに 300 人の就職口を保障する。製造される製品の 80%以上が輸出される予定である。

2008 年、ウズベキスタンが入手した外国投資は約 16 億 6000 万ドル、これは前年より 29%高い。2009 年の間はウズベキスタンでは 18 億 6400 万ドルの外国投資を入手する計画である。上記の総額のうち、政府の保証付きの外国の信用貸付により 47 件のプロジェクトに 4 億 8175 万ドル (26%)、外国の直接投資により 39 件のプロジェクトに 13 億 8200 万ドル導入される計画が立てられた。

2010 年は外国商社がウズベキスタンの繊維、通信、輸送、化学、建設といった部門に 7 億 500 万の投資が行われることになっている。大統領決議で承認された 2010 年の投資計画でこのことが述べられている。2010 年の計画に従い、ウズベキスタンの繊維産業は 12 のプロジェクトに 1 億 480 万ドルの外国の直接投資を入手する計画でいる⁴⁴。

3.3 ウズベキスタン繊維企業の製造工程

周知のように、繊維製品の製造工程は主に次のような段階から成り立っている。

- 綿繊維の紡績および糸の生産
- 糸の染色
- 布およびメリヤスの織編
- 布地、メリヤス布の染色 (模様付けも含む)
- 製品の縫製

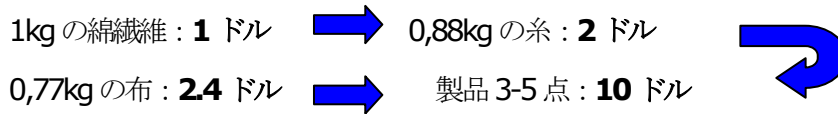
当然、上に挙げたそれぞれの段階に付加価値がついてくる。

⁴² http://www.investuzbekistan.uz/rus/eksport_uzbekistana/eksportnaya_produkiya/tekstil/

⁴³ IA REGNUM, http://www.isewing.ru/node/34/who_voted

⁴⁴ IA REGNUM <http://www.centrasia.ru/newsA.php?st=1259013360>

付加価値はおおよそ次のようなサイクルに付与される。



このように、生産サイクルを進めていくと、何倍かに大きくなった利益が得られる。

付加価値を得ようとする努力は生産に関わる専門家たちすべてが認識し、理解を示している。ウズベキスタンでは国家レベルで推奨されているだけでなく、然るべき決定も行われている。前にも述べたウズベキスタン繊維産業の近代化計画（2009年8月20日付閣僚会議決定 P236 号の「2009-2011年にかけて将来の繊維産業企業の発展および近代化と国内の非食料商品の製造拡大についての措置」）は将来の綿繊維の販売を徐々に制限するだけでなく、より深く綿製品の加工が行われるよう刺激を与えることを目的としている。決議内にある近代化のパラメータは投資家と最新の技術設備に刺激を与えるよう要請されている。

現在稼働している企業で、生産用の自由な土地あるいは補足的な土地をもっている人の中には、最終製品加工までの生産サイクルを補うために最新の技術設備に投資する計画を立てている企業もある。したがって、ウズベキスタンでは最も完全な生産サイクルを建設するという明らかな傾向をもった一貫性のある政策が採られている。

以前は、それまでに形成されてきた状況、いわゆる「社会的労働分配」という状況のために、ウズベキスタンの企業の大部分がそれぞれ独自の専門をもっていた。そのような状態は現在でも続いている。ある企業が製糸・製布業を専門としているとすると、メリヤス製造を専門にしている企業もある。縫製企業は原則としてメリヤス製造業の上に設立されるが、まったく個別に設立されることもある。

製糸・製布企業：この業種の特徴のためにこれらの企業は大規模で、これを設立するにはかなりの融資と重要な組織的対策等が必要である。この種の企業を設立することができるのは大規模な企業体のみである。したがって、その大部分は国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** に含まれており、製糸・製布は原則として染色も行われる。

メリヤス企業：比較的高価ではない。メリヤス企業の大部分は個人企業家が設立している。糸は主に地元市場で製造者から国内通貨スズムで入手される。カラー糸は、輸入の方が質がよいため外国、特にトルコから輸入される。染料設備をもつ企業もあり、自社製のメリヤスを染色することもできる。しかし、環境基準が高いヨーロッパやその他の国々に輸出される布を製造するためには、高価な染料が必要となる。

この調査を行う過程で、ウズベキスタンには糸から完成した縫製製品までを製造する完全生産サイクルをもつ企業が数社しかないことが明らかになった。このような企業には **KALORAMA TEX** と **MURUVAT TEKS** がある。

縫製企業：繊維部門のこのセグメントはかなり大きい。国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** のデータによると、縫製企業のおよそ 3000 社が 250 品目の製品を製造している⁴⁵。縫製企業の中には、大企業（何百人もの労働者がいる）も小企業（10人以下の労働者が働く）もある。

このタイプはウズベキスタンではかなり広く展開されており、長い伝統がある。国の市場にはそのためのすべての条件がそろっている。つまり、原料（布、装飾品）と設備の種類が豊富で手に入りやすく、常に需要があり、販売インフラもある（卸売、小売のバザールや商店）。さらに労働者の質もよい。

⁴⁵http://www.investuzbekistan.uz/docs/eng_final_sjsozbekeyengilsanoat.ppt

3.4 商社とディーラーの種類、その役割

ウズベキスタンの繊維産業で行われる原料、製品の生産段階とその過程を見てみる。

第一段階では綿花、より正確には原綿と関係がある。残念ながら、この原料に関する多くの工程は国内ではしばしば公開されていない。おそらく、綿花は戦略的原料で、国家予算と外貨準備を埋め合わせる重要な品目であるためかもしれない。それにも関わらず、綿花の製造者から消費者までの全連鎖はかなり明確に追跡調査することができ、この連鎖は以下のような形をしている。

- **綿花栽培**：農業生産者が綿花を栽培している。彼らは政府に **50%以上の原綿を納める義務**がある。政府は定められた価格でそれを購入する。綿花生産を支援する目的で、政府は農家に肥料、綿花栽培に必要な資材や資源を優遇した条件で提供する。
- **綿花加工**：国営株式会社 **UZPAKHTASANOAT** が綿花の加工と、輸出手続きを行う。資金は直接 **UZPAKHTASANOAT** の地方支部に渡され、支部は農民に納入された綿花の支払いを行う。
- **綿の販売**：これは国営株式会社外国貿易機構 **UZINTERIMPEKS**、**UZMARKAZIMPEKST**、**UZPROMMASHIMPEKS**が行う。この3つの国家貿易機構はそれぞれ閣僚会議から圧縮梱包された綿花の割当を受取り、それに応じて輸出でも国内市場でも、国際決済通貨でのみ販売することができる。2007年11月21日付大統領決定PP-733号によると⁴⁶、2008年1月1日から綿繊維を加工しているすべての企業は対外経済関係省の外国商社（**UZINTERIMPEKS**、**UZMARKAZIMPEKST**、**UZPROMMASHIMPEKS**）を通して、国際決済通貨で綿繊維の買付を行う唯一の手段が定められた。

このように、上記の内容をまとめると、綿花栽培と販売の工程は次のようになる。綿花製造者が **UZPAKHTASANOAT** に提供し、そこで納品された原綿の品質をチェックし、価格を決定する。この価格で支払が行われる。**UZPAKHTASANOAT** は自社工場で綿花を加工し、圧縮梱包した形で **UZINTERIMPEKS**、**UZMARKAZIMPEKST**、**UZPROMMASHIMPEKS** に販売する。これらの3機関は閣僚会議から割当てられた範囲内で、国際決済通貨でのみ国際商社および国内消費者に販売される。

この連鎖の中で鍵となる相場師は、**UZPAKHTASANOAT**、**UZINTERIMPEKS**、**UZMARKAZIMPEKST** および **UZPROMMASHIMPEKS** であると思われる。

国内市場で原綿をリバプール綿花取引所の価格よりも **15%低い**価格で販売する場合は、**UZINTERIMPEKS**、**UZMARKAZIMPEKST** および **UZPROMMASHIMPEKS** は原綿をまず輸出のために積極的に販売する。そして、重要なことだが、良い品質のものを輸出用に販売する。おそらく、これは国家予算の外貨を増やす観点から正当化できるであろう。しかし、国の産業製品の質を上げることにはつながらない。

繊維製品展開の次の段階は、糸の生産と販売である。この段階は工程は幾分単純である。製糸企業はスムで国内市場の製造会社に販売することもできるし、国際決済通貨あるいはいわゆる「合法スム」で輸出することもできる⁴⁷。ここで大きな役割を果たしているのは、メリヤスと織物を製造している企業自身である。これらの企業は直接製造者から糸を入手する。さらにこの連鎖の中に糸をまず輸出用に転売する商社

⁴⁶ 「国内綿繊維需要への販売工場および繊維産業発展対策」

⁴⁷ 輸入商品販売の結果得られる資産

も参加している。これらの商社は同時に糸、つまりカラー糸と良質の糸の輸入も行う。国民は糸をバザールでも専門商店でも購入できる。糸の販売に関する権利や、売買自体には何の制限もない。

メリヤスと布の販売段階。メリヤス繊維と布、染色していないもの、染色しているもの、模様つきのものは国内市場でメリヤス製品製造者にスムで販売されるか、国際決済通貨で輸出される。

ウズベキスタンでメリヤス繊維とメリヤス布を販売する市場はかなり大きく、様々である。半製品と完成品の分配および然るべき輸送という点においては、各企業はそれぞれ独自の販路を使用している。繊維資材を製造しているトルコ系企業、特にウズベキスタンで成功を収めている **BURSEL** あるいは **DEMIR** グループは、この状況十分に理解しており、伝統的な市場を守るために自社の販路のみを使用している。ウズベキスタンでは販売のほとんどがバザールと専門商店で行われる。

同時に、ウズベキスタンでの合弁企業の設立には政府の管理があるという状況も考慮に入れなければ成らない。合弁企業を設立するために肯定的な決定をもらうには、設立者が自社製品の **70%**以上を輸出する義務を負わなければならない。したがって、先に述べた通り、合弁企業の製品の **70%**以上は輸出に回される。そして原則として独自の販路を用いなければならない。これも当該地域で繊維製品を促進するに際し、ある種のニュアンスである。

メリヤス繊維とメリヤス布を製造の連鎖の中で見ると、ウズベキスタンの商品原料取引所もその連鎖に参加している。

上記の内容をまとめると、次のような結論が得られる。繊維製品を原綿生産から完成品までの製造体系はここ数年であまり大きな変化は見られない。変わったのは相場とトレンドである。しかし、体系全体としては以前のままである。

3.5 近年の繊維製品の展開方法の変化

- 原綿の輸出が削減され、そのためにその販売量も減っている。
- 原綿買付制度の自由化が、製造者の刺激向上のためにある程度進められている。
- 繊維製造の近代化は製品製造の拡大とその品質の改良を引き起こしている。そして、その結果、以下のことが発生している。
 - 繊維製品の市場規模の拡大。
 - 輸入代替
- 最大限に生産サイクルを有する企業の設立が促され、そのために商品項目に変更が生じている。すなわち、商品項目の中から、まず半製品が抜け落ちている。
- 合弁企業および外国企業を創設することで、繊維製品をウズベキスタン国外へ出す新しい販路を使用することができる。

4、繊維機械の製造傾向および過去5年間の繊維機械輸出入の傾向

最近までウズベキスタンでは繊維用機械や部品を製造する企業が数社稼働していた。アンディジャン機械工場、マルギラン機械工場、タシケント繊維機械工場その他である。しかし現在では、さまざまな理由（技術設備の老朽化、古くなった型、熟練した専門工の喪失、市場競争力のない製品など）により、稼働を続けているのはマルギラン機械工場だけである。そこでは紡織繊維とシルクのための機械や機械部品があまり大量ではない形で製造されている。内訳は以下のとおりである。

- ・ 自動織機 TM-61、TMP、TMG、AT-jyo120
- ・ カード機 BEFAMA
- ・ 無籽織機 STB
- ・ 自動緯糸 UA-300
- ・ 糊付け機械 ShB
- ・ スカッチャー T-16、MTM
- ・ 梳毛機 CHMM、CHMD
- ・ ベルト機械 L-2-50、L-19、L-23
- ・ 粗紡機 R-192、BD
- ・ 紡績機 P-66、PPM、PK100
- ・ TRUCHLER 社製紡績準備機 Blendamat
- ・ TRUCHLER 社製梳毛機 DK-903
- ・ 豊田自動織機社製 粗紡機 SL-16
- ・ 豊田自動織機社製 紡績機 RX-240
- ・ 村田機械社製ワインダー V-7Machkoner
- ・ 豊田自動織機社製 織機
- ・ HANGZHOUTEXTILE 社製糸巻き機 5X-2000
- ・ HANGZHOUTEXTILE 社製スチーム加工用装置 ZD-120

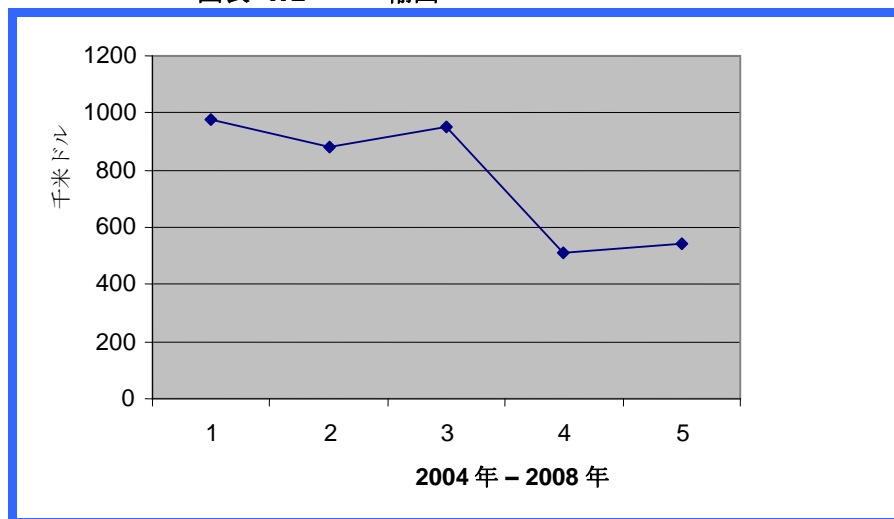
ウズベキスタン共和国国家統計委員会による 2004 年から 2008 年における繊維機械の輸出入関連資料を下に掲げる。

2004年－2008年の繊維機械輸出入額の推移（1,000米ドル）

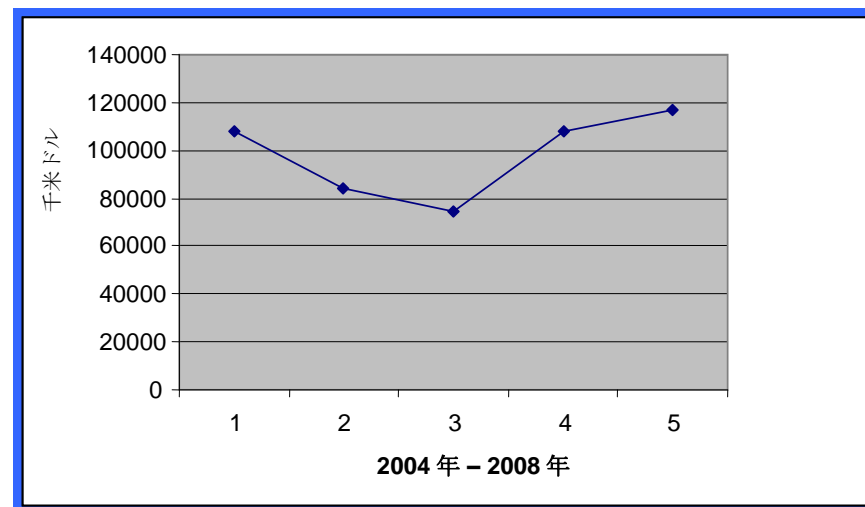
TNVED コード	品目	2004		2005		2006		2007		2008	
		輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
HS8445-12、HS8445-13、 HS8445-20、HS8445-11、 HS8445-19、HS8445-90、 HS8445-30、HS8445-40	精紡機・梳毛機・準備機	720,1	58628,4	260,8	42382,3	214,8	33110,6	100,0	60167,6	39,1	73672,8
HS8446-10、HS8446-21、 HS8446-29、HS8446-30	織機	40,2	6483,3	0,5	2809,7	0	7425,7	0	14069,2	26,9	7602,1
HS8447-11、HS8447-12、 HS8447-20、HS8447-30	編み機	0	19541,3	0	11207,2	40,2	13909,4	50,0	7339,8	13,6	8411,0
HS8444-00	押し出し、延伸加工、テ クスチャード加工、合織 切断機	0	924,3	0	221,6	0	992,8	0	648,6	0	2854,5
HS8451-29、HS8451-40、 HS8451-29、HS8451-51、 HS8451-80	布および布製品の乾燥、 洗浄、漂白、染色、加工等 用機械設備（洗濯機・クリ ーニング機以外）	19,1	16080,5	25,3	21604,4	114,8	15075,1	48,1	14758,7	52,2	14273,6
HS8448-11、HS8448-19、 HS8449-00、HS8448-20、 HS8448-31、HS8448-32、 HS8448-33、HS8448-39、 HS8448-41、HS8448-42、 HS8448-49、HS8448-51、 HS8448-59、HS8451-90、 HS3923-40、HS4822-10	繊維機械と共に使われる 補助的設備・部品および 付属品	194,3	6572,7	594,3	6131,7	584,0	4301,1	413,3	10742,0	409,3	9925,7
合計:		973,7	108230,5	880,9	84356,9	953,8	74814,7	511,4	107725,9	541,1	116739,7

2004年－2008年の繊維機械輸出入額の変化（1,000米ドル）

図表 4.1 輸出



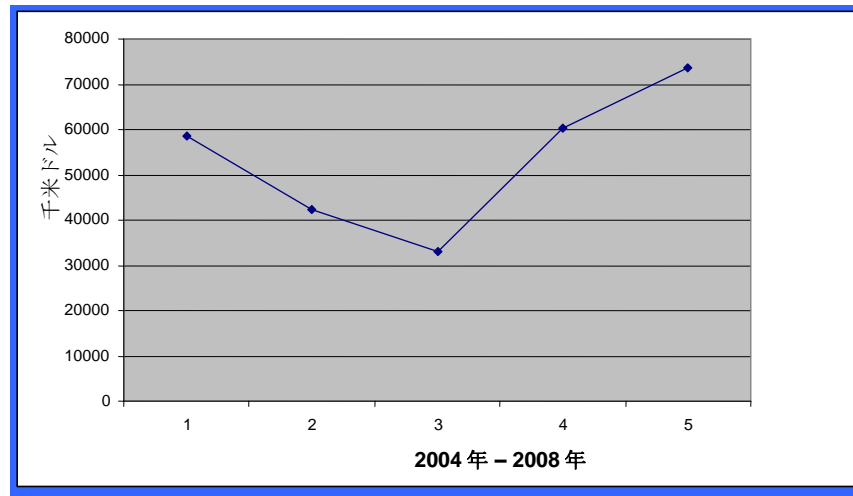
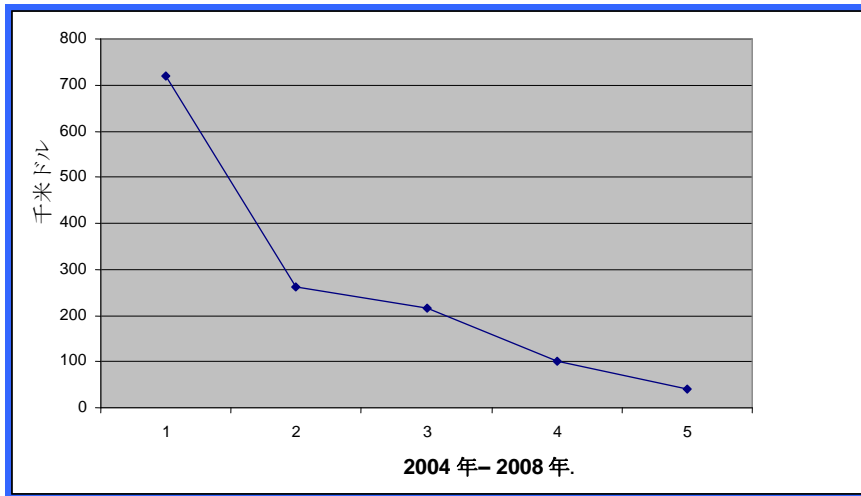
図表 4.2 輸入



2004年－2008年の繊維機械輸出入額の変化（1,000米ドル） **(HS コード: HS8445-12、HS8445-13、HS8445-20、HS8445-11、HS8445-19、HS8445-90、HS8445-30、HS8445-40) 3**

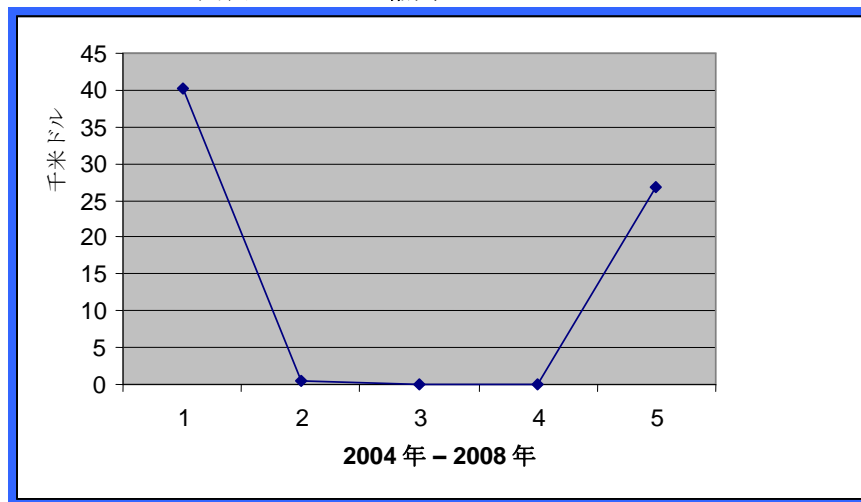
図表 4.3 輸出

図表 4.4 輸入

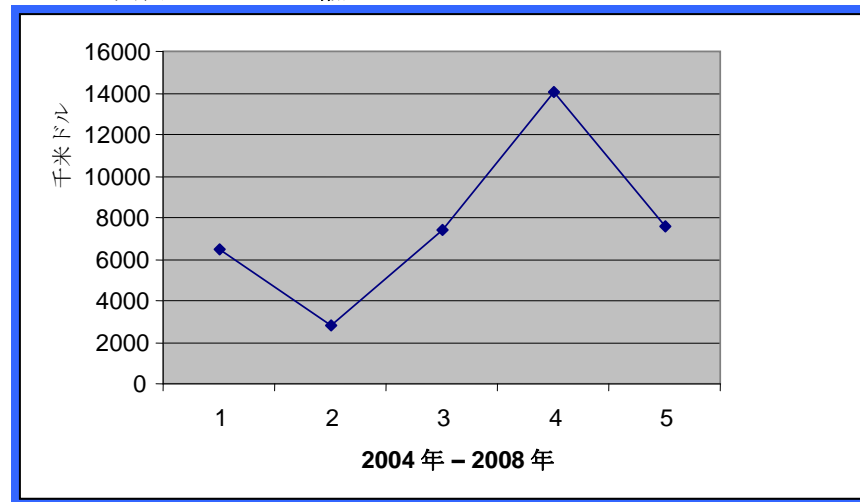


2004年－2008年の織機輸出入額の変化（1,000米ドル）（HSコード：HS8446-10、HS8446-21、HS8446-29、HS8446-30）

図表 4.5 輸出

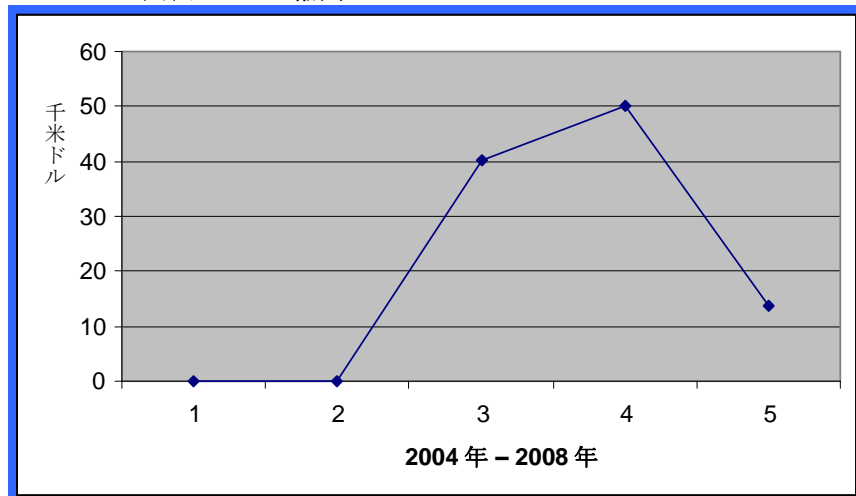


図表 4.6 輸入

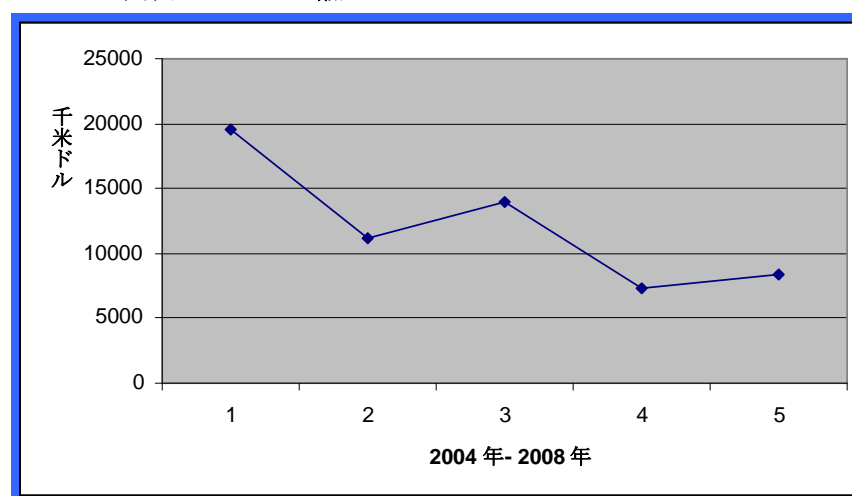


2004年—2008年の編み機輸出入額の変化（1,000米ドル）（HSコード：HS8447-11、HS8447-12、HS8447-20、HS8447-30）

図表 4.7 輸出



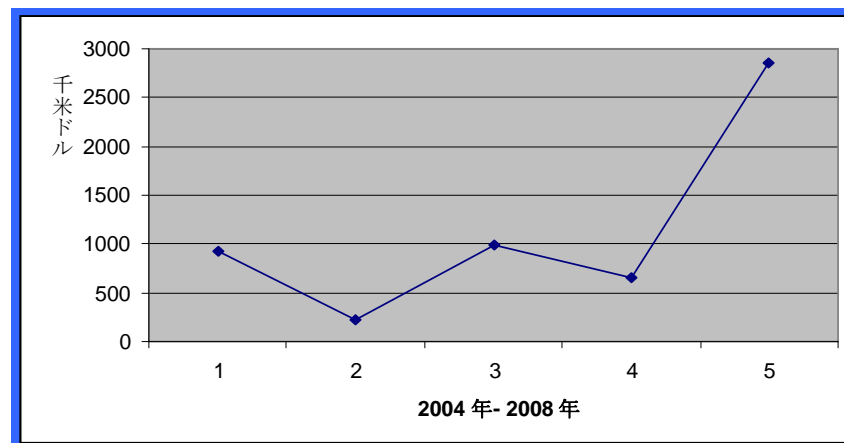
図表 4.8 輸入



2004年—2008年の押し出し、延伸加工、テクスチャード加工および合繊切断機の輸出入額の変化（1,000米ドル）（HSコード：HS8444-00）

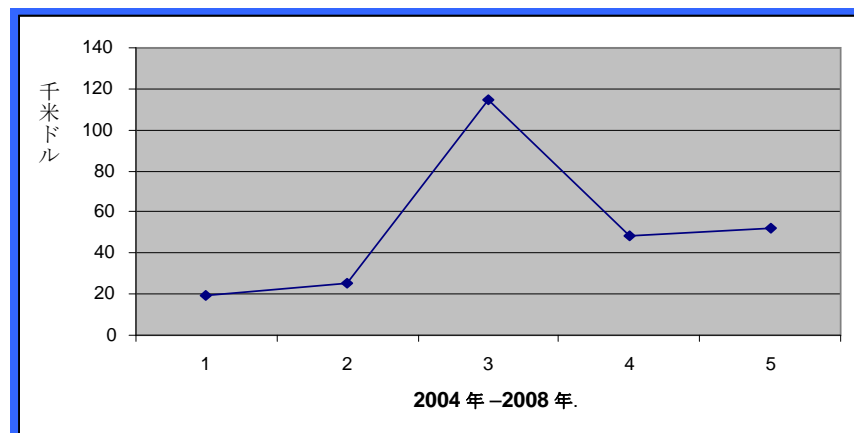
輸出 (データ無し)

図表 4.9 輸入

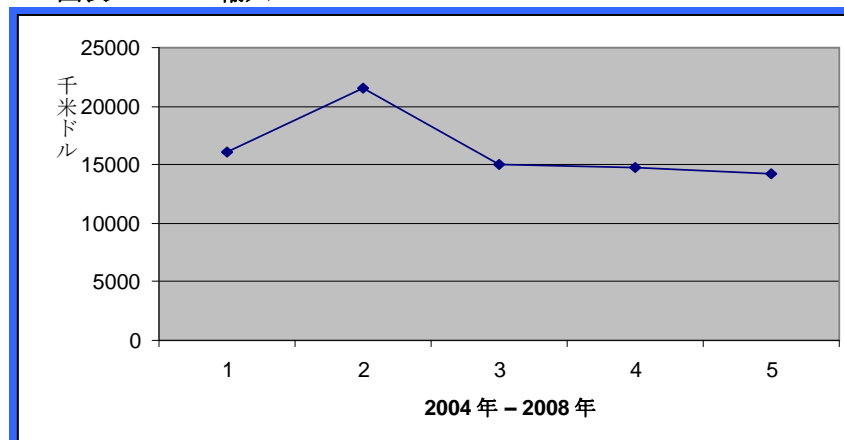


2004年－2008年の布および布製品の乾燥、洗浄、漂白、染色、加工用機械（洗濯機・クリーニング機を除く）の輸出入額の変化（1,000米ドル）（HSコード: HS8451-29、HS8451-40、HS8451-29、HS8451-51、HS8451-80）

図表 4.10 輸出

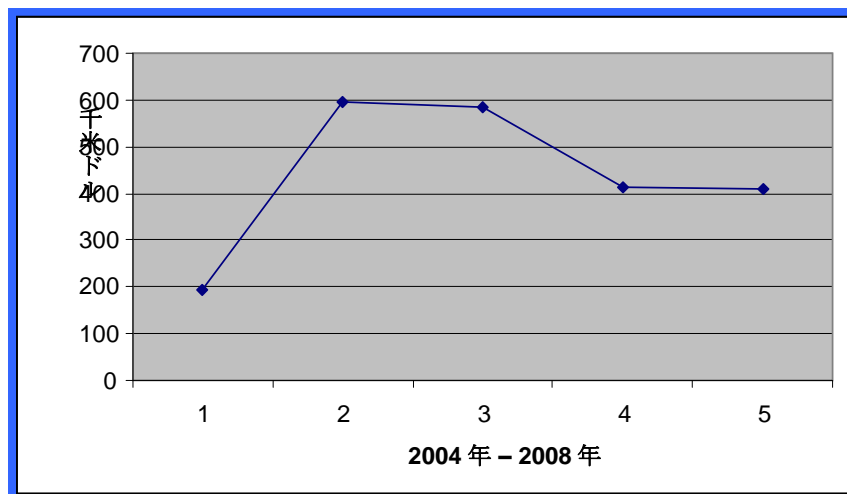


図表 4.11 輸入

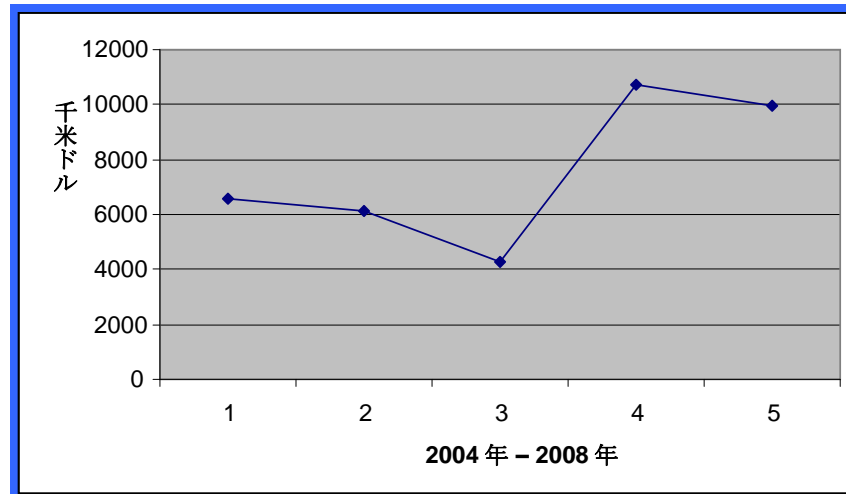


2004年—2008年の繊維機械と共に使われる補助的設備及び付属品の輸出入額の変化（1,000 千米ドル）（HSコード：HS8448-11、HS8448-19、HS8449-00、HS8448-20、HS8448-31、HS8448-32、HS8448-33、HS8448-39、HS8448-41、HS8448-42、HS8448-49、HS8448-51、HS8448-59、HS8451-90、HS3923-40、HS4822-10）

図表 4.12 輸出



図表 4.13 輸入



2004 - 2008 年の繊維機械輸出入の統計記録 (国家統計委員会)

2004 年資料

コード	種類	原産国・地域	単位	輸出		輸入	
				数量	1,000 米ドル	数量	1,000 米ドル
HS8445-12	精紡機 梳毛機 準備機	アルメニア	台			2	0,2
HS8445-13		ベルギー	台			1	10,5
HS8445-20		中国	台	12	12,3	139	4121,7
HS8445-11		台湾	台			1	12,5
HS8445-19		チェコ	台			10	2704
HS8445-90		ドイツ	台			139	32564
HS8445-30		ハンガリー	台			3	50
HS8445-40		インド	台			7	230
		イラン	台			4	256
		イタリア	台			24	1909
		カザフスタン	台	7	2,4	37	15,4
		キルギス	台	46	58,2	135	171,1
		ポーランド	台			2	12,3
		ポルトガル	台	104	38,9		
	ロシア	台	2	18,8	807	2071,1	
	スイス	台			7	1155,3	
	タジキスタン	台	133	589,5	24	241,9	
	トルコ	台			144	12968,3	
	ウクライナ	台			47	56,7	
	英国	台			7	40,4	
	米国	台			1	29	
HS8446-10 HS8446-21 HS8446-29 HS8446-30	織機	アルメニア	台			7	8,4
		ベルギー	台			1	633,3
		中国	台			54	396,2
		ドイツ	台			35	1640,5
		イラン	台	2	40,2	2	11

		イタリア	台			6	171,5
		カザフスタン	台			98	11,5
		韓国	台			26	101,7
		キルギス	台			6	7,1
		マレーシア	台			1	0,3
		ロシア	台			327	187,9
		トルコ	台			100	3275,5
		ウクライナ	台			16	38,4
HS8447-11 HS8447-12 HS8447-20 HS8447-30	編み機	ブルガリア	台			1	1
		中国	台			294	1479,7
		台湾	台			4	255,6
		チェコ	台			6	3,8
		エストニア	台			1	7
		ドイツ	台			52	4743,4
		イタリア	台			27	1747,4
		日本	台			24	782,5
		韓国	台			12	57
		キルギス	台			3	0,2
		ロシア	台			39	129,2
		アラブ首長国連邦	台			24	51,3
		トルコ	台			380	10277,7
		英国	台			4	5,2
HS8444-00	押し出し加工、延伸加工、テクスチャード加工、合織切断機	中国	台			1	147,9
		台湾	台			1	80,5
		イラン	台			1	531,9
		韓国	台			5	164

HS8451-29 HS8451-40 HS8451-29 HS8451-51 HS8451-80	布および布製品の乾燥、洗浄、漂白、染色、仕上げ用機械（洗濯機・クリーニング機以外）	チェコ	トン				0, 2
		ドイツ	トン			0, 7	118, 6
		イラン	トン			0, 7	1, 8
		イタリア	トン				0, 4
		カザフスタン	トン				0, 4
		韓国	トン			0, 4	0, 3
		トルコ	トン			5, 5	76
		ブルガリア	台			4	11, 1
		ベラルーシ	台			2	5, 1
		中国	台			235	218, 4
		台湾	台			1	2, 3
		フランス	台			1	2, 3
		ドイツ	台			82	5903, 8
		イラン	台			6	515, 2
		イタリア	台			68	214, 8
		日本	台			4	25, 3
		カザフスタン	台			2	0, 7
		韓国	台			39	91, 4
		キルギス	台			4	5, 8
		リトアニア	台			2	51, 7
ロシア	台	35	19, 1	34	174, 1		
スイス	台			7	1083, 6		
トルコ	台			672	7199, 8		
英国	台			2	12, 3		
米国	台			4	365, 1		
HS8448-11 HS8448-19 HS8449-00 HS8448-20 HS8448-31 HS8448-32 HS8448-33 HS8448-39 HS8448-41 HS8448-42	繊維機械と共に使われる補助的設備、部品および付属品	オーストリア	トン			0, 2	12, 6
		アルメニア	トン			5, 9	3
		ベルギー	トン			6, 7	30
		中国	トン			62, 3	194, 5
		台湾	トン			0, 2	1, 3
		チェコ	トン			2, 1	174, 4
		エストニア	トン			12, 7	3, 4

HS8448-49	フィンランド	トン			0,5	1,3
HS8448-51	フランス	トン			0,7	25,9
HS8448-59	ドイツ	トン			70,9	1726
HS8451-90	ギリシャ	トン			0,2	8,4
HS3923-40	ハンガリー	トン			2,5	3
HS4822-10	インド	トン				0,1
	イラン	トン			13,3	0,5
	イタリア	トン			28,3	748
	日本	トン			9,2	177,3
	カザフスタン	トン	18,8	22,2	1,4	0,8
	韓国	トン			16,1	986,1
	キルギス	トン	13	12,3	33,6	4
	マレーシア	トン			0,1	
	ロシア	トン			255	384,9
	スイス	トン			5,8	305,5
	タジキスタン	トン	68	114,6		
	アラブ首長国連邦	トン				2,7
	トルコ	トン			109,1	2066,8
	トルクメニスタン	トン	33	42,4		
	ウクライナ	トン	1,4	2,8	10,8	3,3
	英国	トン			6,5	82,6
	米国	トン			0,7	26,5

2005 年資料

コード	品目	原産国・地域	単位	輸出		輸入	
				数量	1,000 米ドル	数量	1,000 米ドル
HS8445-12	精紡機 梳毛機 準備機	アゼルバイジャン	台	2	3,3		
HS8445-13		中国	台			370	4810,4
HS8445-20		台湾	台			1	32,5
HS8445-11		チェコ	台			4	1085
HS8445-19		グルジア	台			2	2,7
HS8445-90		ドイツ	台			121	22219,3
HS8445-30		インド	台			12	57,9
HS8445-40		イラン	台			1	4,8
		イタリア	台			41	4682
		日本	台			1	30
		カザフスタン	台	1	7	5	4,7
		キルギス	台	1	0,4	22	110,9
		ラトビア	台			49	3456,7
		ポーランド	台			2	4,4
		ロシア	台	4	8,9	304	993,1
		ベトナム	台			4	233,5
		スペイン	台			2	65
	スイス	台			3	293,3	
	タジキスタン	台	75	241,2			
	アラブ首長国連邦	台			13	718,5	
	トルコ	台			96	3241,5	
	ウクライナ	台			59	307,1	
	米国	台			1	29	
HS8446-10	織機	アルメニア	台			7	3,9
HS8446-21		ベルギー	台			1	603,1
HS8446-29		ベラルーシ	台			32	19,2
HS8446-30		中国	台			38	324,7
		フランス	台			2	82,8
		グルジア	台			30	5,4

		イタリア	台			5	246, 8
		カザフスタン	台			77	7, 8
		ロシア	台	1	0, 5	739	490, 7
		トルコ	台			76	1000, 4
		ウクライナ	台			32	24, 9
HS8447-11 HS8447-12 HS8447-20 HS8447-30	編み機	中国	台			87	680, 3
		台湾	台			27	930
		ドイツ	台			8	371, 1
		ハンガリー	台			8	2, 3
		インド	台			5	13, 2
		日本	台			18	1034, 5
		韓国	台			32	809, 7
		キルギス	台			7	398, 5
		リトアニア	台			8	13, 1
		ロシア	台			42	30, 6
		トルコ	台			170	6773, 5
		ウクライナ	台			11	12, 6
		英国	台			2	116, 1
		米国	台			2	1, 7
HS8444-00	押し出し、延伸加工、テクスチャー ド加工、合繊切断機	中国	台			2	123, 8
		韓国	台			2	97
		トルコ	台			1	0, 8
HS8451-29 HS8451-40 HS8451-29 HS8451-51 HS8451-80	布および布製品の乾燥、洗浄、漂 白、染色、仕上げ用機械（洗濯 機・クリーニング機を除く）	ベルギー	トン				
		中国	トン			0, 9	0, 1
		デンマーク	トン				
		ドイツ	トン				0, 9
		イラン	トン			0, 5	0, 1
		イタリア	トン			0, 9	91, 5
		ロシア	トン			0, 6	62, 7
		トルコ	トン			42, 1	446, 8
		英国	トン				0, 6

		オーストリア	台			2	157, 6
		中国	台			24	63, 5
		台湾	台			5	750, 6
		デンマーク	台			3	13, 5
		フランス	台			1	22, 1
		グルジア	台			2	2, 7
		ドイツ	台			2	20, 7
		ハンガリー	台			1	0, 3
		イラン	台			1	8, 9
		アイルランド	台			2	4, 3
		イタリア	台			80	1270, 1
		韓国	台			2	8, 8
		リトアニア	台			2	15, 4
		ポーランド	台			5	63, 6
		ロシア	台	3	12, 9	15	76, 3
		スロベニア	台			8	0, 8
		アラブ首長国連邦	台			1	0, 1
		トルコ	台			809	18511, 9
		ウクライナ	台	1	12, 4	3	8, 5
		英国	台			3	2
HS8448-11	繊維機械と共に使われる補助的設備、部品および付属品	アフガニスタン	トン	2, 1	9, 4		
HS8448-19		アゼルバイジャン	トン	61	122, 5		
HS8449-00		オーストリア	トン			0, 1	3, 9
HS8448-20		アルメニア	トン			0, 2	2, 4
HS8448-31		ベルギー	トン			0, 1	3, 8
HS8448-32		ベラルーシ	トン			4, 4	5, 4
HS8448-33		中国	トン			48, 1	122
HS8448-39		台湾	トン			0, 8	4, 5
HS8448-41		チェコ	トン			2, 7	132, 2
HS8448-42		デンマーク	トン				6, 4
HS8448-49		フランス	トン			60, 1	1049, 1
HS8448-51		グルジア	トン			0, 1	1, 2
HS8448-59							
HS8451-90							
HS3923-40							
HS4822-10							

	ドイツ	トン			70,6	1457,3
	ギリシャ	トン				0,7
	インド	トン				0,5
	イタリア	トン			2,1	122,1
	日本	トン			8,5	190,2
	カザフスタン	トン	21,3	51,1		
	韓国	トン			19,8	771,5
	キルギス	トン	1,5	3,5		
	ラトビア	トン	2,1	68,5		
	パキスタン	トン			0,2	2,1
	ロシア	トン			124,2	250,3
	スペイン	トン			0,1	5
	スイス	トン			197	131,4
	タジキスタン	トン	18,4	37,8	2,5	1,7
	アラブ首長国連邦	トン			0,2	0,5
	トルコ	トン	1,9	252,9	44,4	1773,1
	トルクメニスタン	トン	19,9	48,6		
	ウクライナ	トン			11,8	3,9
	英国	トン			1,5	89,4
	米国	トン				1,1

2006 年資料

コード	品目	原産国・地域	単位	輸出		輸入	
				数量	1,000 米ドル	数量	1,000 米ドル
HS8445-12	精紡機 梳毛機 準備機	中国	台			401	5124
HS8445-13		台湾	台			4	48
HS8445-20		フランス	台			25	577, 3
HS8445-11		ドイツ	台			105	13341, 7
HS8445-19		ギリシャ	台			18	869
HS8445-90		インド	台			1	246
HS8445-30		イラン	台			7	111, 8
HS8445-40		イタリア	台			114	1534, 2
		日本	台			2	1000
		カザフスタン	台	28	173, 8	4	23, 5
		韓国	台			5	97, 1
		キルギス	台			4	4, 1
		ラトビア	台			24	540
		リトアニア	台			6	288
		ロシア	台			105	714, 5
		ベトナム	台			5	378, 2
	スペイン	台			5	77, 6	
	タジキスタン	台	4	13, 4			
	アラブ首長国連邦	台			7	321, 8	
	トルコ	台	2	22, 5	126	8689, 3	
	トルクメニスタン	台	10	5			
	ウクライナ	台			10	24, 5	
HS8446-10	織機	ベルギー	台			4	2421, 1
HS8446-21		中国	台			40	303, 3
HS8446-29		フランス	台			1	38, 5
HS8446-30		ドイツ	台			10	2639, 8
		イタリア	台			56	411, 3
		キルギス	台			1	1, 5

		ロシア	台			507	265, 3
		トルコ	台			109	1345, 1
HS8447-11	編み機	アルメニア	台			121	11, 9
HS8447-12		中国	台			394	1740, 8
HS8447-20		台湾	台			93	4113, 5
HS8447-30		グルジア	台			49	5, 1
		ドイツ	台			40	1161, 9
		イラン	台			18	774
		イタリア	台			5	60, 9
		日本	台			6	357, 6
		韓国	台			106	1085, 7
		キルギス	台			5	2, 7
		マレーシア	台			2	1, 5
		ロシア	台			34	526, 9
		トルコ	台	1	40, 2	245	3844, 6
		ウクライナ	台			10	8, 7
	英国	台			5	213, 8	
HS8444-00	押し出し加工、延伸加工、テクスチャード加工、合織切断機	中国	台			153	179, 9
		韓国	台			1	0, 5
		トルコ	台			5	812, 4
HS8451-29	布および布製品の 乾燥、洗浄、漂白、染色、仕上げ用 機械（洗濯機・クリーニング機を除く）	中国	トン			0, 3	1, 8
HS8451-40		ドイツ	トン			0, 1	15, 9
HS8451-29		イラン	トン			2, 5	1
HS8451-51		韓国	トン			22, 2	61, 6
HS8451-80		スイス	トン				8, 2
		トルコ	トン			13, 4	194, 1
		米国	トン	0, 2	1, 6		
		中国	台			182, 9	219
		台湾	台			2	84, 5
		フランス	台			1	1, 4
		ドイツ	台			9	2120, 7

		ギリシャ	台			1	1, 1	
		イラン	台			1	25	
		イタリア	台			15	335, 4	
		日本	台			16	21, 3	
		韓国	台			386	1692, 9	
		キルギス	台			1	0, 2	
		マレーシア	台			2	45, 8	
		オランダ	台			1	3, 3	
		パキスタン	台			2	0, 1	
		ポーランド	台			34	98, 8	
		ロシア	台	1		21	80, 7	
		サウジアラビア	台			1	1, 6	
		ベトナム	台			1	1, 8	
		スイス	台			1	98, 5	
		アラブ首長国連邦	台			5	9, 6	
		トルコ	台	7	93	1298	9860, 9	
		英国	台			1	86, 4	
		米国	台	23	20, 2	2	3, 5	
HS8448-11	繊維機械と共に使われる補助的設備、部品および付属品	アフガニスタン	トン	7, 4	43, 9			
HS8448-19		アゼルバイジャン	トン	15, 9	19			
HS8449-00		オーストリア	トン			0, 1	10, 9	
HS8448-20		アルメニア	トン			14, 8	4	
HS8448-31		ベルギー	トン			0, 1	1, 3	
HS8448-32		中国	トン			35, 6	194, 1	
HS8448-33		台湾	トン			0, 7	19, 8	
HS8448-39		チェコ	トン			3, 5	230	
HS8448-41		フランス	トン			0, 3	141, 9	
HS8448-42		グルジア	トン			1	1, 1	
HS8448-49		ドイツ	トン			41, 3	659, 4	
HS8448-51		インド	トン			3, 9	81, 4	
HS8448-59		イタリア	トン			0, 1	52, 9	
HS8451-90		日本	トン			1	98, 9	
HS3923-40								
HS4822-10								

	カザフスタン	トン	0,1	0,6		
	韓国	トン			14,1	576,2
	キルギス	トン	11,9	12		
	ルーマニア	トン				
	ロシア	トン	3	0,2	85,7	294,9
	ベトナム	トン				0,3
	スウェーデン	トン				0,2
	スイス	トン			12,1	268,1
	タジキスタン	トン	116,9	248,1		
	アラブ首長国連邦	トン			1,2	2,6
	トルコ	トン	1,7	247,7	147,5	1497,5
	トルクメニスタン	トン	22	12,5		
	ウクライナ	トン			33,9	12,8
	英国	トン			4,6	152,8
	米国	トン			0,1	0,9

2007年資料

コード	製品	原産国・地域	単位	輸出		輸入	
				数量	千1,000米ドル	数量	1,000米ドル
HS8445-12	精紡機 梳毛機 準備機	アゼルバイジャン	台			2	2
HS8445-13		アルメニア	台			1	0,8
HS8445-20		中国	台			1890	19720,3
HS8445-11		クロアチア	台			687	510
HS8445-19		チェコ	台			2	267,2
HS8445-90		フランス	台			2	22,2
HS8445-30		ドイツ	台			2284	19162
HS8445-40		インドネシア	台			4	303
		イラン	台			1	4,8
		イタリア	台			47	2234,3
		日本	台			7	412,4
		カザフスタン	台	12	100	7	7
		韓国	台			135	5284,1
		ラトビア	台			28	1815,2
		リトアニア	台			9	253
		マレーシア	台			3	53,7
	ロシア	台			42	145,6	
	スイス	台			7	721,8	
	タジキスタン	台			4	22,7	
	アラブ首長国連邦	台			34	1322,5	
	トルコ	台			20737	7368,7	
	ウクライナ	台			12	1,7	
	米国	台			4	532	
HS8446-10	織機	アゼルバイジャン	台			32	6
HS8446-21		オーストリア	台			16	498,5
HS8446-29		ベルギー	台			10	6423
HS8446-30		中国	台			28	226,7
		台湾	台			14	520,4
		ドイツ	台			16	4090,4

		イタリア	台			32	319,9
		キルギス	台			1	1,5
		パキスタン	台			20	90
		ロシア	台			64	52,3
		タジキスタン	台			2	37
		トルコ	台			140	1803,5
HS8447-11 HS8447-12 HS8447-20 HS8447-30	編み機	中国	台			275	1295,4
		台湾	台			25	908,7
		フランス	台			89	861
		ドイツ	台			31	2029
		イラン	台			1	0,6
		日本	台			11	468
		韓国	台			24	318,8
		リトアニア	台			3	4,5
		マレーシア	台			2	7,6
		スイス	台			6	3,4
		トルコ	台	1	50	132	1442,8
HS8444-00	エクストロード（押し出し成形）加工、ドラフト、テクスチャード加工、化学繊維裁断機	オーストリア	台			2	304
		中国	台			1	25
		トルコ	台			4	319,6
HS8451-29 HS8451-40 HS8451-29 HS8451-51 HS8451-80	布および布製品の乾燥、洗浄、漂白、染色、仕上げ用機械（洗濯機・クリーニング機を除く）	中国	トン				0,3
		台湾	トン			0,1	2,2
		チェコ	トン				1,3
		ドイツ	トン			0,4	1,9
		イタリア	トン			0,1	0,6
		韓国	トン			0,6	5,0
		ポーランド	トン			70,0	8,0
		スイス	トン				0,1
		トルコ	トン			24,2	155,4
		米国	トン			0,2	1,6
		アルメニア	台			6	6,0
		カナダ	台			2	732,1

		中国	台			326	493,7
		台湾	台			4	18,0
		デンマーク	台			2	61,3
		フランス	台			5	3,7
		ドイツ	台			18	1797,1
		イラン	台	1	48,1	4,1	2,6
		イタリア	台			56	672,7
		カザフスタン	台			3	42,5
		韓国	台			26	445,5
		キルギス	台			3	18,0
		マレーシア	台			1	9,0
		パキスタン	台			2	52,0
		ポーランド	台			20	2,5
		ロシア	台			52	208,0
		スロベニア	台			3	0,7
		スペイン	台			4	24,5
		スウェーデン	台			2	10,4
		スイス	台			4	2634,0
		アラブ首長国連邦	台			43	4,6
		トルコ	台			702	7062,6
		ウクライナ	台			3	26,3
		米国	台			36	254,4
HS8448-11 HS8448-19 HS8449-00 HS8448-20 HS8448-31 HS8448-32 HS8448-33 HS8448-39 HS8448-41 HS8448-42 HS8448-49 HS8448-51 HS8448-59 HS8451-90	繊維機械と共に使われる補助的設備. 部品および付属品	アゼルバイジャン オーストリア アルメニア ベルギー 中国 台湾 チェコ フランス ギリシャ ドイツ インド イラン イタリア	トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン トン	3,2	16,7	0,1 18,4 0,5 20,3 0,6 5,2 0,2 1,1 60,7 28,5 0,1 4,9	6,9 13,5 38,3 808,0 3,5 395,4 30,8 2 1391,9 1084,8 0,1 241,6

HS3923-40 HS4822-10	日本	トン			7, 5	477, 2
	韓国	トン			80, 2	2002, 9
	ラトビア	トン			2, 1	1, 5
	リトアニア	トン			3, 2	4, 7
	カタール	トン			0, 2	0, 1
	ロシア	トン			167, 8	164, 9
	シンガポール	トン				0, 4
	スペイン	トン			18, 1	440, 0
	スウェーデン	トン				
	スイス	トン			7, 2	588, 0
	タジキスタン	トン	19, 9	91, 9		
	トルコ	トン	0, 2	11, 3	152, 3	2249, 5
	トルクメニスタン	トン	108, 9	288, 4		
	ウクライナ	トン			48, 4	17, 7
	英国	トン			31, 9	692, 3
米国	トン			1, 3	86, 1	

2008年資料

コード	製品	原産国・地域	単位	輸出		輸入	
				数量	1,000米ドル	数量	1,000米ドル
HS8445-12	精紡機 梳毛機 準備機	アフガニスタン	台	6	34,7		
HS8445-13		アゼルバイジャン	台	2	4,1		
HS8445-20		中国	台			877	18233,8
HS8445-11		台湾	台			6	287
HS8445-19		チェコ	台			1	199,4
HS8445-90		フランス	台			5	20
HS8445-30		ドイツ	台			497	13197,7
HS8445-40		ハンガリー	台			73	1091,2
		インド	台			200	7,2
		インドネシア	台			1	75,9
		イラン	台			11	504,6
		イタリア	台			80	1690,9
		日本	台			2	341,7
		カザフスタン	台			17	411,9
		韓国	台	2	0,3	60	976,5
		パキスタン	台			9	550,4
	ロシア	台			35	101,6	
	スウェーデン	台			1	100	
	スイス	台			10408	10739,8	
	タジキスタン	台			3	20	
	トルコ	台			20296	25108,5	
	ウクライナ	台			3	14,9	
HS8446-10	織機	アゼルバイジャン	台			10	5
HS8446-21		ベルギー	台			101	1916,3
HS8446-29		中国	台			70	592
HS8446-30		台湾	台			16	272
		ドイツ	台			5	3068,8
		インド	台			1	26,7
		イラン	台			5	70

		カザフスタン	台			137	80, 1
		パキスタン	台			16	80
		ロシア	台			52	170, 9
		トルコ	台			43	1320, 3
		トルクメニスタン	台	15	26, 9		
HS8447-11 HS8447-12 HS8447-20 HS8447-30	編み機	中国	台			549	2006, 9
		台湾	台			17	664, 1
		チェコ	台			5	3, 6
		ドイツ	台			40	4616, 4
		イラン	台			2	1
		イタリア	台			2	125, 8
		日本	台			1	5
		カザフスタン	台			1	1, 8
		韓国	台	3	13, 6	37	233, 5
		ロシア	台			139	23, 7
		スイス	台			4	2, 2
		トルコ	台			98	724, 3
		ウクライナ	台			1	2, 7
HS8444-00	押し出し加工、延伸加工、テクスチャード加工、合繊切断機	中国	台			1	14, 2
		ドイツ	台			4	1603, 6
		韓国	台			3	627, 5
		トルコ	台			3	609, 1
HS8451-29 HS8451-40 HS8451-29 HS8451-51 HS8451-80	布および布製品の乾燥、洗浄、漂白、染色、仕上げ用機械（洗濯機・クリーニング機を除く）	中国	トン			1, 1	10
		ドイツ	トン				0, 7
		ハンガリー	トン			9, 6	32, 2
		イタリア	トン			2, 1	41, 2
		韓国	トン			0, 4	2, 5
		リトアニア	トン			0, 4	2, 4
		ロシア	トン			0, 1	0, 4
		トルコ	トン		0, 5	36, 2	326, 6
		ウクライナ	トン			0, 3	1

		米国	トン				0,3
		オーストリア	台			6	234,6
		中国	台			392	455
		台湾	台			6	1,8
		フランス	台			2	0,7
		ドイツ	台			5	469,7
		香港	台			6	1589
		ハンガリー	台			2	883,9
		イタリア	台			131	303,5
		カザフスタン	台			10	231,8
		韓国	台			193	577,2
		ラトビア	台			6	3136,5
		リトアニア	台			7	61,6
		ポーランド	台			9	1,3
		ロシア	台			25	222,9
		スロベニア	台			8	2,9
		シリア	台			3	0,1
		トルコ	台	12	51,7	1028	5337,6
		ウクライナ	台			4	327,8
		英国	台			35	3,4
		米国	台			8	15,8
HS8448-11	繊維機械と共に使われる補助的設備, 部品および付属品	アフガニスタン	トン	16,5	17,3		
HS8448-19		アゼルバイジャン	トン	28,3	143,4		
HS8449-00		オーストリア	トン			0,4	38,2
HS8448-20		ベルギー	トン			1,3	29,3
HS8448-31		ベラルーシ	トン			3,6	6,6
HS8448-32		中国	トン			311,7	2923,5
HS8448-33		台湾	トン			0,4	12,6
HS8448-39		チェコ	トン			1,2	115,5
HS8448-41		フランス	トン			0,1	32,3
HS8448-42		ドイツ	トン			36,9	994,2
HS8448-49		インド	トン			16,8	426,8
HS8448-51							
HS8448-59							
HS8451-90							
HS3923-40							

HS4822-10	インドネシア	トン			0,7	2,5
	イラン	トン			0,5	8
	イタリア	トン			11,9	315,3
	日本	トン			1,3	373,5
	カザフスタン	トン	27,2	93,6		
	韓国	トン			177,4	2086,7
	オランダ	トン			2	46
	パキスタン	トン			10,2	28,8
	ロシア	トン			121,7	143,2
	スペイン	トン			0,2	6,5
	スイス	トン			8,3	481,9
	シリア	トン			66,1	230,3
	タイ	トン				47,3
	トルコ	トン	0,2	0,8	110,2	1370,4
	トルクメニスタン	トン	53,1	154,2		
	ウクライナ	トン			41,1	93,7
英国	トン			0,6	112,7	

上位 5 カ国別に見る 2004 年－2008 年の繊維機械輸入額の推移

ウズベキスタンの繊維機械市場では過去 5 年間で数多くのさまざまな国の取引があった。最も活動的だったのはトルコ、中国、ドイツ、イタリア、ロシアである。ロシアは数字としては最上位ではないが、ソ連時代から常に存在していた。下に掲げるのは上記 5 カ国別の、2004 年から 2008 年におけるウズベキスタン市場への繊維機械納入額のデータを米ドルで示したものである。

ウズベキスタンへの繊維機械納入データ

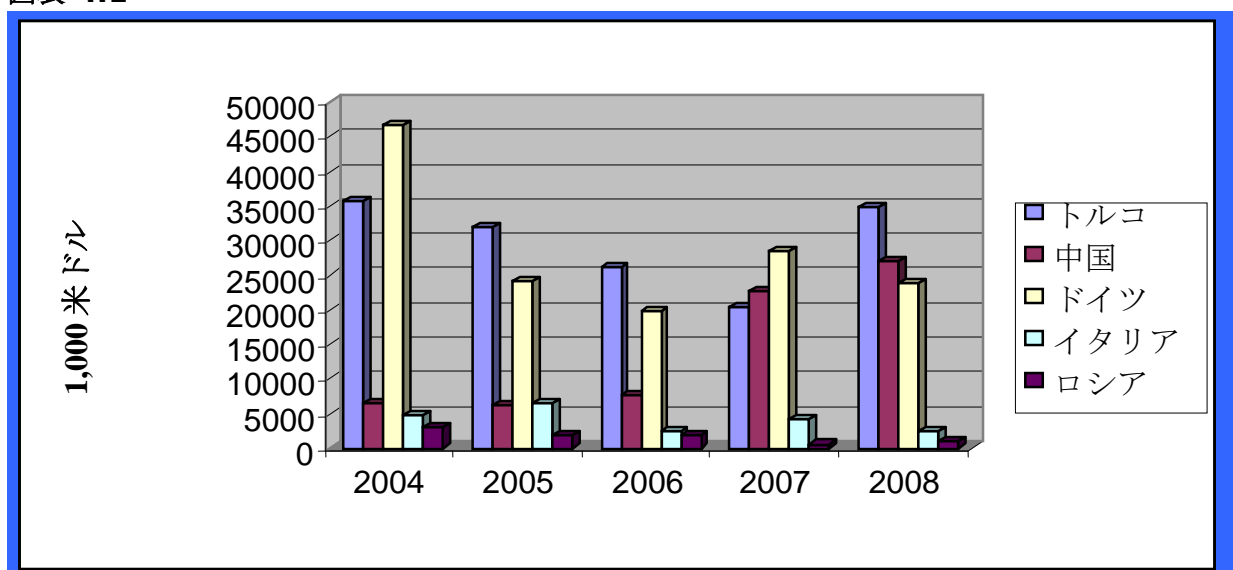
表 4.1

(単位：千ドル)

	2004	2005	2006	2007	2008	合計
トルコ	35788,1	32014,4	26243,9	20246,7	34796,8	149089,9
ドイツ	46696,3	24069,3	19924,5	28472,3	23951,1	143113,5
中国	6558,4	6124,8	7762,9	22569,4	27158,9	70174,4
イタリア	4791,1	6412,5	2394,7	4141,8	2351,9	20092
ロシア	2947,5	1923,7	1881,4	570,8	957,6	8281

繊維機械輸入額の推移

図表 4.1



上位 3 カ国別に見る 2004 年－2008 年における繊維機械輸出額の推移

輸出額は輸入額ほど多くない。近年は減少傾向にある。主要な輸出先はタジキスタン、トルクメニスタン、カザフスタンである。下表は買い付け額を各国別に米ドルで示したものである。

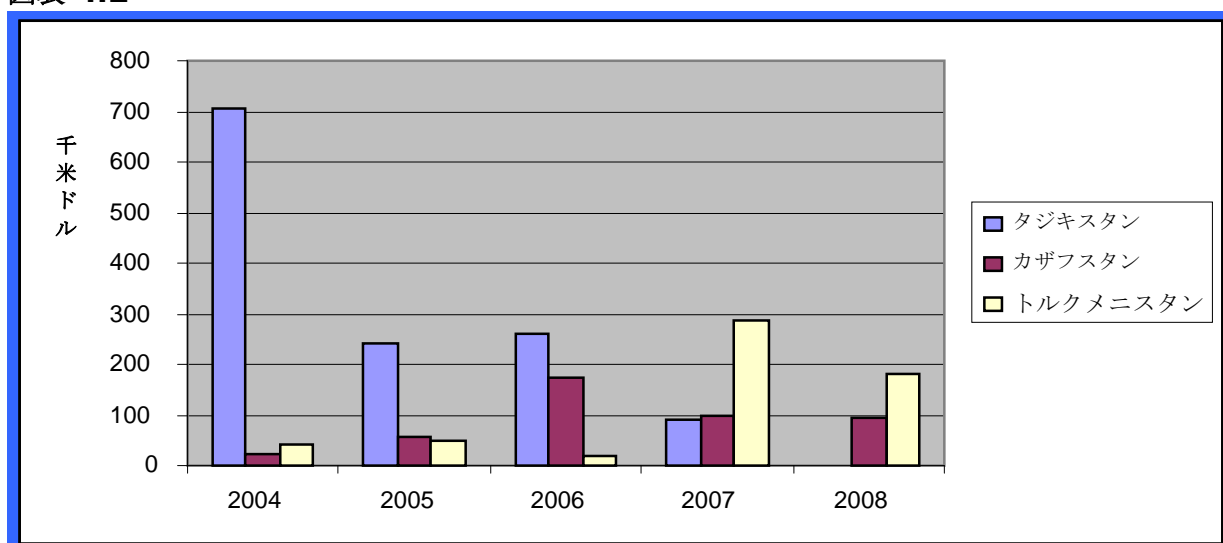
表 4.2

(単位：千ドル)

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	合計
タジキスタン	704,1	241,2	261,5	91,9	0	1298,7
トルクメニスタン	42,4	48,6	17,5	288,4	181,1	578
カザフスタン	22,2	58,1	173,8	100	93,6	447,7

繊維機械輸出額の推移

図表 4.2



国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** における輸入機械の設置状況⁴⁸

表 4.3

No	製造業社	生産国	額 (100万円米ドル)
1	RIETER	スイス	64,4
2	SAVIO ORIZIO	イタリア	41,95
3	CROSS ROLL	英国	3,2
4	HERGERT	ドイツ	1,32
5	BERGBAU	ドイツ	1,85
6	TRUCHLER	ドイツ	51,93
7	CSM	ドイツ	68,57
8	SCHLAFHORST	ドイツ	21,81
9	ELITEKS	チェコ	12,2
10	村田機械	日本	52,31
11	豊田自動織機	日本	115,22
12	豊和	日本	33,49
13	VANGUARD	米国	6,55

⁴⁸ 資料提供・国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT**

5. 外国貿易における国際決済の方法と外国からの融資

外国貿易はどの国にとっても経済的に重要な意味を持つ。ウズベキスタンでは対外取引の発展と世界経済への統合は、多くの企業が外国貿易に参画できるようになっただけでなく、企業の事業発展に不可欠な要因と手段になっている。

通常、外国貿易の契約を結ぶ際には、輸出者、輸入者、銀行の三者の参加がある。大抵の場合、輸出者である外国企業は自らの取引条件を押し付けようとし、そしてその条件をウズベキスタンの企業は受け入れざるを得ない。そのため、ウズベキスタンの企業はリスクを最小限にとどめるために、自国の法律及び国際法に照らし合わせ、最も有利な取引条件と外国の取引先との決済方法を予めよく考え、導き出しておく必要がある。所有権移行の手続きに関する契約条件や、搬送にかかる費用、保険、通関費用の配分などについても、**INCOTERMS** の国際的な取り決めに従って慎重に対応する必要がある。

対外取引の当事者間決済には、前金、インカッソ方式あるいは手形の引き受け、L/C の利用等、さまざまな方法がある。決済方法はお互いの利益とリスクだけで決まるのではなく、取引自体の複雑さにも関わりがある。たとえば、取引対象が、長期に製造される設備の場合、あるいは配送・据付までに複数の工程があって、セッティングやスタッフ教育をとともう場合などである。一般的な決済方法は銀行送金だが、そこに複数の決済が組み合わされることもある。したがってウズベキスタンでは決済の方式を選択する際、以下の事柄が念頭に置かれる。

ウズベキスタンの法令、および国際銀行規定と慣習に則っていること。

国際銀行統一業務の対象になっていること。

原則的に、金融・商業書類として正式な文書を有していること。

各種外貨での決済の際、通貨売買のオペレーションと密接に結びついていること。

国際契約とは、書類の作成・送付・処理や支払いに関して当事者（輸入者、輸出者、銀行）が特別な関係になるということにしたがって成立するものである。

ウズベキスタンの企業家は、こうした取引におけるお金の流通を最大限に安全なものとするためにさまざまな方策をとっている。つまり外国貿易での契約に関わるいろいろな決済形態や方法をいろいろ組み合わせている。

当事者間取引において銀行送金がもっとも利用されているが、その際、決済の他の形態（インカッソ）や保証と組み合わせられることがある。ウズベキスタンでは、一部あるいは全額の前払い方法は広く用いられており、とりわけ高額な設備を輸入する場合に適用されている。前払いあるいは納品後の支払いをめぐる場合は、各自のリスクを最小限にとどめるという点だけではなく、それぞれの経済的合理性や利益に鑑みて交渉が行われる。前払いは輸出者にとってもっとも有利であり、実質的にこの形は輸入者による輸出者への貸付である。

この章では対外取引における国際決済の方法とリスク軽減の方法の一般的な特徴を紹介している。この決済方法は、ウズベキスタン国内に持ち込まれる全ての商品と生産技術設備に適用されている（ウズベキスタンの法令による輸入禁制品は除く）。たとえば、**TEXTIMA EXPORT IMPORT GMBH 社**、**ASTAS JUKI 社**、**FEIYUE YAMATA 社**、**BENTEKS 社**といった企業の現地事務所は主として**100%**前払いを条件としており、これは信用状決済または銀行送金による決済になるが、銀行送金は外国の銀行に資金がある場合にのみ有効である。輸入契約に基づいた**100%**送金はウズベキスタンの国内法上適用することができない。そのためまず、前払い金の支払いをおこない、さらに残金については、商品到着の税関証書を添えた商品輸入カードを輸入者である企業が銀行に提示したときに支払われる（**1996年3月13日**付閣僚会議決定**95号**）。全額前払いは、輸入企業のギャランティーレターがあれば可能で、レターにはウズベキスタン国内へ設備を持ち込む義務が明記されていなければならない。設備は、在庫がない場

合、60日から90日までの銀行営業日内に納品される。EBRD、ABR(第7章参照)などからの融資によってウズベキスタンの大規模な繊維生産関連のプロジェクトはいくつか実現した。この場合においては、技術設備の購入に際して、国の保証のもとに融資が行われた。国家保証人になりうるのはウズベキスタン財務省と、国から全権委任された銀行だけである。(1998年2月18日付け大統領令UP-1930号)。そのため企業は、たとえばBURSEL TASHKENT TEXTILE JV(1300万ドル)やBAYTEKS(700万ドル)といった国の投資プランに参画する必要がある。

外貨コントロールと利益の本国還流(リパトリエーション)

外貨コントロールと利益の本国還流(リパトリエーション)に関して、外国の投資家に対してはある一定の制限がある。外国投資保護法⁴⁹では配当金やその他、外国への投資の見返りを含む、合法的に得た純利の本国還流の可能性を制限を設けることなく保証している。

2003年ウズベキスタンはIMF8条を批准し、自国通貨と外貨との交換制を達成した。さらに2003年、国会は新しい法律「外貨規正について」を採択した。これによりウズベキスタンの外貨コントロールは外貨法規と銀行法規によって複雑化した。ウズベキスタンの銀行は、マネーロンダリングのプロセスを阻止するために、外貨の絡む取引を管理し、国の税務機関に報告しなければならない。投資家は、ウズベキスタンの銀行の守秘義務のスタンダードが、先進諸国のスタンダードに一致しているとは限らない点に留意しなければならない。

外国投資を受けた企業は、外貨口座と自国通貨口座を開く権利を持つ。ウズベキスタンの外貨規制は、居住者か非居住者かによって変動する。居住者(外国投資を受けた企業含め、ウズベキスタンで所定の手続きによって登記した企業)に対しては、外貨の国外送金規制(5000ドル未満)や、輸出取引で国際決済通貨の50%を必ずスムに換えなければいけないなどといった一連の規制がある。

外国取引先と契約に係る金額を清算したい法人には独自のルールがある。銀行の顧客が納入業者と輸入契約書を交わす。次に、独立系コンサルティング会社の専門的な判断が提示される。さらにライセンスのある法律家に契約書の真正さを証明してもらう。その後、銀行の顧客は「輸入取引証明書(パスポート)」を三部作成し、輸入契約承認願いを記入して、それを銀行の外為課の専門家に見てもらおう。銀行側に疑念が生じなければ、契約代金は信用状の条件で納入業者の口座に送金される(この場合、契約代金を納入業者が受け取ることが出来るのは、ウズベキスタンの買付人の倉庫に商品が搬入された後である)。しかし、銀行職員が私的な会話の中で話したところによれば、政府はオフショア・ゾーンでの契約代金支払い禁止を公には解除したものの、各銀行の外為課は、こうした取引を見逃さないよう口頭で言い渡されているという。一般消費財の商品についても外貨両替は一時停止となっており、一部の優遇された企業にだけ認められている。技術設備購入の目的で外貨両替するためには、輸入企業が銀行の外貨両替をとり扱う部署に申請書を提出しなければならない。この図式での外貨両替には数か月から一年かかる。

⁴⁹ ウズベキスタン共和国 外国投資法および 外国投資家の権利保護の保証とその措置に関する法 1998年

6. ウズベキスタンにおける輸入関税および物品税

税金や関税の優遇制度は、繊維分野での産業政策を実現する上で基本的な仕組みとなっている。これら特恵の多くは広範囲な企業を想定しており、消費財を扱うすべての製造業者が利用できるようになっている。輸入関税率は、本章の少し後に掲載した。

すべての規約は、優遇適用によって得られた資金は、企業によって、消費財の生産量の拡大やアイテム数の増加、市場競争力の強化といった目的にのみ利用されなければならないと定めている。こうした資金は、目的通りに使われなかった場合には、この全額に現行法の定める罰金を加算して、国庫に納入される。これは実質上の投資の奨励になっている。しかし2003年6月20日に、特恵が適用されて得られた資金を労働者への奨励金に使うこともできるという政令が出された。このことにより、労働と資本のどちらの生産要素に力を入れるのかを企業が独自に決められるようになった。

ウズベキスタンでは、消費財の国内製造を奨励するために、輸入品との競合からウズベキスタン企業を守る措置がいろいろとられている。何よりも税金と関税による輸入業者への圧力がある。

関税とは別に消費財の輸入規制も行われている。その一つとして、2002年8月20日付閣僚会議決定「ライセンス制度廃止および、ウズベキスタン共和国市場における消費財の輸入と販売向上の手段について」により、2002年10月1日から、法人または個人が商業ベースでウズベキスタン国内の課税圏に持ち込むすべての消費財には、適合証明書の提出が義務付けられるようになった。もう一つの規制は2002年11月26日付け閣僚会議決定407号によって定められている。それによると、物資市場における輸入消費財の小売は、小売業の認証を持ち、また、貨物税関申告書と適合証明書、関税およびその他の支払い証明書を有した、輸出入業務の認証を持つ、個人事業主として登録をした個人にのみ許されている。その際、外国消費財の輸入と通関手続きは個人事業主が自ら行わなければならない。

一連の規制は卸売業に対しても及んだ。ウズベキスタンの卸売業はこれまでも見たようにライセンスビジネスであり、多くの法規定があり、営業を許されているのは、最低賃金の3500倍以上の大きな資本を持ち、そのうち最低賃金の1200倍以上を資金に持つ大企業のみとなっている。つまり卸売業には1億スム以上の資金が必要だということになる。これは国内市場規制のもう一つの手段であり、質のよくない製品が市場に出回ることを制限し、国内製造業者を保護する手段でもある。

上述したような、消費財の輸入を秩序立てる措置が講じられる前は、CHELNOKI⁵⁰と呼ばれる優遇された地位にある人々が、市場競争に汚い手を使った。これらの人々の商品が安かった理由は二つで、法で定められた税金は一切支払わなかったこと、そして二束三文で手に入れた、つまり内職で作ったような粗悪品を国内に持ち込んだことである。ブランド品や高級品といった輸入品であれば、国内製造業者は、それなりの品質を提案して、価格競争することが十分可能である。しかし安価な輸入品ではそうはいかない。

近年にとられた措置は、内需拡大のために国内消費者市場の「大掃除」を直接的にも間接的にも推進した。しかしこの空いた場所を埋めるには需要に応じた製品の増産をしていく必要がある。

2009年8月5日付けウズベキスタン共和国大統領決定PP-1169号により、2009年9月1日から日本製品も含む、繊維製品および繊維機械の輸入に対し下記の関税率が定められている。

⁵⁰ 売買目的で商品を持ち込む個人

輸入関税率 (2009年9月1日より)52

2009年8月5日付けウズベキスタン共和国大統領決定 PP-1169 号付属資料 № 1

分類	HS_コード	品目	関税率 (物品の税関値の% または単位あたりの米ドル)
52		"綿"	
	5201 00-5203 00 000 0	カード及びコームのいずれもしていない実綿、綿くず	10
	5204	綿縫糸 小売用に定量包装してあるもの、していないもの	30
	5205-5206	綿紡糸(縫糸を除く)、綿の重量が全重量の 85%以上で小売用でないもの	10
	5207-5212	綿紡糸小売用、綿布など、以下を除く:	30
	5209 49 000 0	その他の織布	10
	5211 49 100 0	ジャガード織布	10
60	6001-6006	"メリヤス編物またはクロセ編物 " 以下品門を除く	30
	6001 10 000 0	ロングパイル編み物	30、しかし1ドル以上/kg
	6001 21 000 0	ループドパイル編み物 (綿製のもの) メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る	30、しかし1ドル以上/kg
	6001 29 000 0	ループドパイル編み物 (その他の紡織用繊維製のもの)	30、しかし1ドル以上/kg
	6001 91 000 0	その他のパイル編み物 (綿製のもの) メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る	30、しかし1ドル以上/kg
	6001 92 000 0	その他のパイル編み物 (人造繊維製のもの) メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る	30、しかし1ドル以上/kg
	6001 99 000 0	その他のパイル編み物 (その他の紡織用繊維製のもの) メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る	30、しかし1ドル以上/kg
	6006 34 900 0	その他なせんしたもの (合成繊維糸製のもの)	30、しかし0,2ドル以上/kg
61		"衣類および衣類付属品 (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) "	
	6101-6110、 6112-6117	オーバーコート、半コート、カーコート、ケープ、クローク、アノラック (スキージャケット含む)、ウインドチーター、ウインドジャケット、その他これらに類する製品 (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) スーツ、アンサンブル、シャツ、ブラウス; ズボン下、スリッパ、T シャツ、セーター、トラックスーツ ...、以下を除く:	30
	6101 90	男子用のオーバーコート、カーコート、ケープ、クローク、アノラック (スキージャケット含む)、ウインドチーター、ウインドジャケット、その他これらに類する製品 (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) その他の紡織用繊維製のもの)	30、しかし5ドル以上/1点.
	6102	女子用のオーバーコート、カーコート、ケープ、クローク、アノラック (スキージャケット含む)、ウインドチーター、ウインドジャケット、その他これらに類する製品 (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) 第 61.04 項の物品を除く。	30、しかし5ドル以上/1点
	6103 10 000 0	男子用のスーツ、アンサンブル	30、しかし3,75ドル以上/1点
	6103 49 000 0	男子用のその他のズボン、胸あてズボン、半ズボン及びショーツ (その他の紡織用繊維製のもの)	30、しかし1ドル以上/1点
	6104 19 000 0	女子用のスーツ (その他の紡織用繊維製のもの)	30、しかし3ドル以上/1点
	6104 29 000 0	女子用のアンサンブル (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) (その他の紡織用繊維製のもの)	30、しかし2ドル以上/1点
	6104 33 000 0	女子用のジャケット・ブレザー (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る) (合成繊維製のもの)	30、しかし1,5ドル以上/1点
	6104 41 000 0	女子用のドレス 羊毛製または織獣毛製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る)	30、しかし2,5ドル以上/1点
	6104 42 000 0	女子用のドレス 綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る)	30、しかし1ドル以上/1点
	6104 49 000 0	女子用のドレス、その他の紡織用繊維製のもの、(メリヤス	30、しかし1,5ドル以上/1点

		編みまたはクロセ編みのものに限る)	
6104 61 000 0	その他の女子用胸当て付きズボン、半ズボン及びショーツ、羊毛製または織獣毛製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る)	30、しかし 0,75 ドル以上/1点	
6104 62 000 0	その他の女子用胸当て付きズボン、半ズボン及びショーツ、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,5 ドル以上/1点	
6105 20 100 0	男子用シャツ、合成繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1,2 ドル以上/1点	
6105 90 100 0	男子用シャツ、羊毛製または織獣毛製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 2,5 ドル以上/1点	
6106 10 000 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1 ドル以上/1点.	
6106 90 300 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、絹製または絹くず製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1 ドル以上/1点.	
6107 11 000 0	男子用パンツおよびズボン下、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,2 ドル以上/1点.	
6107 21 000 0	男子用ナイトシャツおよびパジャマ、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,3 ドル以上/1点.	
6107 22 000 0	男子用ナイトシャツおよびパジャマ、人造繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,3 ドル以上/1点.	
6107 91 000 0	その他の男子用バスローブ、ドレッシングガウン、およびこれに類する綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 2 ドル以上/1点.	
6107 99 000 0	その他の男子用バスローブ、ドレッシングガウン、およびこれに類するその他の紡織用繊維製のもの、(メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 3 ドル以上/1点.	
6108 31 000 0	女子用ナイトドレスおよびパジャマ、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 2 ドル以上/1点.	
6108 32 000 0	女子用ナイトドレスおよびパジャマ、人造繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,7 ドル以上/1点.	
6108 91 000 0	その他の女子用部屋着、バスローブ、ドレッシングガウン その他これに類する製品、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1,5 ドル以上/1点.	
6108 99 000 0	その他の女子用部屋着、バスローブ、ドレッシングガウン、その他これに類する製品、その他の紡織用繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 2 ドル以上/1点.	
6109 10 000 0	T シャツ、シングレット、その他これに類する肌着、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,75 ドル以上/1点.	
6109 90 300 0	T シャツ、シングレット、その他これに類する肌着、人造繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,2 米ドル以上/1点.	
6110 11 300 0	その他の男子用カーディガン、ベスト、その他これらに類する製品、羊毛製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 2 米ドル以上/1点.	
6110 20 100 0	ジャージ、ブルオーバー、"ポロ"襟付き、またはシングルかダブルのハイカラー付き、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1,5 ドル以上/1点.	
6110 20 910 0	男子用ジャージ、ブルオーバー、カーディガン、ベスト、その他これらに類する製品。綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1 ドル以上/1点.	
6111	乳幼児の衣類及び衣類付属品 (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	10	
6112 11 000 0	トラックスーツ、綿製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 1,5 ドル以上/1点.	
6112 39 900 0	その他男子用スキースーツ、および水着、その他の紡織用繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,3 ドル以上/1点.	
6112 41 900 0	その他の女子用水着、合成繊維製のもの (メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。)	30、しかし 0,3 ドル以上/1点.	

	6112 49 900 0	その他の女子用水着、その他の繊維用繊維製のもの（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,4 ドル以上/1点。
	6114 20 000 0	その他の衣類、綿製のもの（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 2,5 ドル以上/kg
	6114 30 000 0	その他の衣類、人造繊維製のもの（メリヤス編みかクロセ編みのものに限る）	30、しかし 4,35 ドル以上 / kg
	6115 10 900 9、 6115 22 000 0	その他のストッキング・タイツ・ソックス・靴下製品（段階的圧縮靴下(静脈瘤症用のストッキング)は除く)、合成繊維製の構成する単糸が 67 デシテックス以上のものに限る（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る）。	30、しかし 0,2 ドル以上/1点。
	6115 30 190 0	その他の女子用パンティストッキング、合成繊維製の構成する単糸が 67 デシテックス未満のものに限る（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,25 ドル以上/一足
	6115 94 000 0	その他のパンティ靴下類製品、羊毛製または織獣毛製のもの（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,2 ドル以上/一足
	6116 92 000 0	その他の女子用手袋、ミトン、ミット 綿製のもの（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,3 ドル以上/一揃
	6116 99 000 0	その他の女子用手袋、ミトン、ミット、その他の繊維用繊維製のもの（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,3 ドル以上/一揃
	6117 10 000 0	ショール、スカーフ、マフラー、マンティエーラ、ベール、その他これらに類する製品（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る。）	30、しかし 0,4 ドル以上/1点。
	6117 80 800 0	その他の衣類付属品、（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る）。弾力性のあるものやゴム引きは除く	30、しかし 0,3 ドル以上/kg
	6117 90 000 0	衣類または衣類付属品の部分品、（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る）。	30、しかし 0,25 ドル以上/kg
62		"衣類および衣類付属品（メリヤス編みまたはクロセ編みのものを除く）"	
	6201-6208、 6210-6217	オーバーコート、カーコート、マント、クローク、アノラック（スキージャケット含む）、ウインドチーター、ウインドジャケット、その他これらに類する製品、男子用または女子用のスーツ、アンサンブル、シャツ、ブラウス、ズボン下、スリッパ、T シャツ、ガウン、トラックスーツ、衣類、タイツ、手袋および付属品、スカーフ、以下のものを除く：	30
	6201 12 100 0	男子用オーバーコート、カーコート、マント、クローク、その他これらに類する製品、第 62.03 項の物品を除く、綿製で、一製品につき 1 kg 以下の重量もの。	30、しかし 3,5 ドル以上/1点。
	6201 19 000 0	男子用オーバーコート、カーコート、マント、クローク、その他これらに類する製品、第 62.03 項の物品を除く、その他の繊維用繊維製のもの。	30、しかし 4,5 ドル以上/1点。
	6201 92 000 0	その他の男子用ジャンパー（スキージャケット含む）、ウインドチーター、ウインドジャケット、綿製のもので、第 62.03 項の物品を除く。	30、しかし 3,5 ドル以上/1点。
	6202 92 000 0	その他の女子用ジャンパー(スキージャケット含む)、ウインドチーター、ウインドジャケット、第 62.04 項の物品を除く、綿製のもの。	30、しかし 3,5 ドル以上/1点。
	6202 99 000 0	その他の女子用ジャンパー(スキージャケット含む)、ウインドチーター、ウインドジャケット、第 62.04 項の物品を除く、その他の繊維用繊維製のもの。	30、しかし 3,5 ドル以上/1点。
	6203 29 110 0	男子用スーツ、アンサンブル、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの。	30、しかし 30 米ドル以上/1点。
	6203 29 800 0	男子用スーツ、アンサンブル、その他の繊維用繊維製のもの。	30、しかし 1 ドル以上/1点。
	6203 32 100 0	男子用ジャケット・ブレザー、作業服その他これに類する保護用衣類 綿製のもの。	30、しかし 3,5 ドル以上/1点。
	6203 39 110 0	男子用ジャケット・ブレザー、作業服その他これに類する保護用衣類 合成繊維製のもの。	30、しかし 2,5 ドル以上/1点。
	6203 39 190 0	その他の男子用ジャケット・ブレザー、合成繊維製のもの。	30、しかし 1,5 米ドル以上/1点。
	6203 39 900 0	その他の男子用ジャケット・ブレザー、その他の繊維用繊維	30、3,5 ドル以上/1点。

		製のもの。	
6203 41 900 0	男子用半ズボン及びショーツ、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし2ドル以上/1点。	
6203 42 510 0	男子用胸当てズボン、作業服その他これに類する保護用衣類、綿製のもの	30、しかし3,5ドル以上/1点。	
6203 42 590 0	その他の男子用胸当てズボン、綿製のもの。	30、しかし2ドル以上/1点。	
6203 43 190 0	その他の男子用ズボンおよび乗馬ズボン、合成繊維製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6203 43 310 0	男子用胸当てズボン、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの	30、しかし0,5ドル以上/1点。	
6203 43 900 0	男子用半ズボン、合成繊維製のもの	30、しかし0,8ドル以上/1点。	
6203 49 110 0	男子用ズボンおよび乗馬ズボン、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製	30、しかし1ドル以上/1点。	
6203 49 190 0	その他の男子用ズボン、乗馬ズボン、合成繊維製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6203 49 310 0	男子用胸当てズボン、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6203 49 500 0	男子用の半ズボン、合成繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	
6203 49 900 0	その他の男子用ズボン、胸当てズボン、乗馬ズボン、半ズボン、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6204 19 100 0	女子用スーツ、合成繊維製のもの	30、しかし2ドル以上/1点。	
6204 19 900 0	その他女子用スーツ、その他の紡織用繊維製	30、しかし2ドル以上/1点。	
6204 23 100 0	女子用アンサンブル、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	
6204 31 000 0	女子用ジャケット・ブレザー、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし3,5ドル以上/1点。	
6204 32 100 0	女子用ジャケット・ブレザー、作業服その他これに類する保護用衣類、綿製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6204 32 900 0	その他の女子用ジャケット・ブレザー 綿製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6204 33 100 0	女子用ジャケット・ブレザー、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの	30、しかし1,2ドル以上/1点。	
6204 39 900 0	その他の女子用ジャケット・ブレザー、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし2ドル以上/1点。	
6204 42 000 0	女子用ドレス、綿製	30、しかし2,5ドル以上/1点。	
6204 49 000 0	女子用ドレス、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし2,5ドル以上/1点。	
6204 51 000 0	女子用スカートおよびキュロットスカート、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし2ドル以上/1点。	
6204 53 000 0	女子用スカートおよびキュロットスカート、合成繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	
6204 59 100 0	女子用スカートおよびキュロットスカート、その他の紡織用繊維製	30、しかし1,5ドル以上/1点。	
6204 61 100 0	女子用ズボンおよび乗馬ズボン、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし3ドル以上/1点。	
6204 62 330 0	その他の女子用ズボンおよび乗馬ズボン、カットパイルのベルベット-コール天製のもの	30、しかし2ドル以上/1点。	
6204 62 390 0	その他の女子用ズボン、乗馬ズボン、綿製のもの	30、しかし1,2ドル以上/1点。	
6204 62 900 0	半ズボン、女子用、木綿糸製	30、しかし1,2ドル以上/1点。	
6204 63 310 0	女子用胸当てズボン、作業服その他これに類する保護用衣類、合成繊維製のもの	30、しかし0,5ドル以上/1点。	
6204 63 900 0	女子用半ズボン、合成繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	
6204 69 500 0	女子用半ズボン、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	
6205 90 100 0	シャツ、男子用、麻繊維製のもの...	30、しかし2ドル以上/1点。	
6206 10 000 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、絹製または絹くず製のもの	30、しかし1ドル以上/1点。	

	6206 20 000 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし2ドル以上/1点.
	6206 30 000 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、綿製のもの	30、しかし1ドル以上/1点.
	6206 40 000 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、人造繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点.
	6206 90 100 0	女子用ブラウス、シャツ、シャツブラウス、麻繊維製のもの ...	30、しかし1,5ドル以上/1点.
	6207 22 000 0	男子用ナイトシャツおよびパジャマ、人造繊維製のもの	30、しかし0,75ドル以上/1点.
	6207 99 000 0	その他の男子用 T シャツ、シングレットその他のこれに類する肌着、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし1,35ドル以上/1点.
	6208 11 000 0	女子用スリッパ、ベチコート、人造繊維製のもの	30、しかし0,75ドル以上/1点.
	6208 19 000 0	女子用スリッパ、ベチコート、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし1ドル以上/1点.
	6208 22 000 0	女子用ネグリジェ、パジャマ、人造繊維製のもの	30、しかし0,5ドル以上/1点.
	6208 92 000 0	女子用 T シャツ、シングレット、パンツ、ズボース、ナイトドレス、バスローブ、ドレッシングガウン、その他これに類する製品、人造繊維製のもの	30、しかし0,75ドル以上/1点.
	6209	乳幼児の衣類及び衣類付属品	10
	6210 20 000 0	その他の衣類、第 62.0111 号—第 62.0119 号の物品のようなもの	30、しかし1,35ドル以上/1点.
	6211 32 100 0	男子用作業服その他これに類する保護用衣類、綿製のもの	30、しかし3ドル以上/1点.
	6211 32 410 0	男子用トラックスーツの上、裏地付き、綿製のもの	30、しかし1,2ドル以上/1点.
	6211 32 900 0	その他の男子用衣類、綿製のもの	30、しかし3ドル以上/1点.
	6211 33 100 0	男子用作業着その他これに類した保護用衣類、人造繊維製のもの	30、しかし3ドル以上/1点.
	6211 33 410 0	男子用トラックスーツの上、裏地付き、人造繊維製のもの	30、しかし2ドル以上/1点.
	6211 42 100 0	女子用前掛、胸当てズボン、作業服およびそれに類する保護用衣類(家庭用として使用できるものも出来ないものも)、綿製のもの	30、しかし1,8ドル以上/1点.
	6211 42 310 0	女子用トラックスーツ、表側に同じ生地で裏地を張ったもの、綿製のもの	30、しかし3,5ドル以上/1点.
	6211 42 420 0	女子用トラックスーツの下、裏地付き、綿製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点.
	6211 42 900 0	その他の女子用衣類、綿製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点.
	6211 43 900 0	その他の女子用衣類、人造繊維製のもの	30、しかし1,5ドル以上/1点.
	6211 49 000 0、 6212 30 000 0	その他の女子用衣類、その他の紡織用繊維製のもの	30、しかし2ドル以上/1点.
	6213 20 000 0	ハンカチ、綿製のもの	30、しかし0,2ドル以上/1点.
	6214 10 000 0	ショール、スカーフ、マフラー、マンディラ、ヴェール、その他のこれらに類する製品、絹製または絹くず製のもの	30、しかし2ドル以上/1点.
	6214 20 000 0	ショール、スカーフ、マフラー、マンディラ、ヴェール、その他のこれらに類する製品、羊毛製または織獣毛製のもの	30、しかし1ドル以上/1点.
	6214 40 000 0	ショール、スカーフ、マフラー、マンディラ、ヴェール、その他のこれらに類する製品、人造繊維製のもの	30、しかし0,35ドル以上/1点.
	6215 10 000 0	ネクタイ、蝶ネクタイ、スカーフ、絹製または絹くず製	30、しかし0,6ドル以上/1点.
	6216 00 000 0	手袋、ミトン、ミット	30、しかし3ドル以上/kg
84		"設備および機械装置。その部品"	
	8444 00*	化繊押し出し機、延伸加工機、テクスチャード加工機または化学繊維切断機	10
	8445*	紡績準備機械	10
	8446*	織機	10

8447*	編み機、モール糸、チュール、レース、刺繍布、組み紐、または網の製造機械、タフティング用機械	10
8449 00 000 0*	フェルトまたは上質フェルトまたは不織布（成形したものを含む）製造用、または仕上げ用の機械、帽子の製造用の型	10
8450	家庭用または業務用洗濯機（脱水機兼用のものを含む）、下記のもの以外：	30
8450 11 110 0	1 回の洗濯容量が乾いた繊維製品の重量で 10 kg以下のものに限る。全自動で前面開閉タイプ	30、しかし 30 ドル以上/1 点.
8450 12 000 0	1 回の洗濯容量が乾いた繊維製品の重量で 10 kg以下のものに限る。遠心式脱水機を自蔵するものに限る。	30、しかし 30 ドル以上/1 点.
8451* (8451 90 000 0 を除く)	洗浄用、清浄用、絞り用、乾燥用、アイロンがけ用、プレス用、漂白用、染色用、仕上げ用、染み込ませ用、塗布用の機械（第 84.50 項の機械を除く）	10

*) 関税率 0 が適用される。

2003 年 12 月 25 日付け閣僚会議決定 567 号により、法人および個人は、ウズベキスタン国内市場での販売を目的として輸入した商品に対し 20%の付加価値税を支払う。

ウズベキスタンに輸入される製品にかかる付加価値税算出のベースは税関法に準じて定められる税関値である。商品輸入にかかる課税額には関税と物品税（物品税対象となる場合）が含まれる。物品税課税対象となる輸入品の物品税率は、この決定の付属資料 10-2 に規定されている。そのうち繊維製品に関わるものを下に掲げる。

ウズベキスタン共和国に持ち込まれる物品税課税対象品の物品税率（2009年9月1日）⁵¹

2009年8月5日付けウズベキスタン共和国大統領決定 PP-1169号への付属資料№2

2009年9月30日付けウズベキスタン共和国大統領決定 PP-1198号により改定

分類	HSコード	品目	物品税率（物品税関値の%または米ドル/量単位）
50	5007	絹および絹くず織物	20
51	5109	羊毛製又は織獣毛製の糸（小売用にしたものに限る。）	10
52	5201 00-5206	綿および綿くず織物、綿糸およびコットンヤーン	10
	5207	綿糸（小売用にしたものに限る）	30
	5208	綿織布、綿の重量が全重量の85%以上で、表面密度が 200 g/m ² を超えないもの。	10
	5209-5212	綿織物	30
56	5601-5609 00 000 0	綿、フェルト、ウオッディング、および不織布；特殊糸ならびに細ひも、ひも、綱およびケーブルならびにこれらの製品	20
58	5801-5811 00 000 0	特殊織物；タフテッド織物類；レース；つづれ織物；トリミングおよび刺繍布	20
60	6001-6006	メリヤス編みもの、またはクロセ編みもの	20
61	6101 - 6109、6112 - 6117 (кроме 6117 80 100 1)	衣類および衣類付属品（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る）	30
	6110	ジャージー、プルオーバー、カーディガン、ベスト、その他のこれらに類する製品（メリヤス編みまたはクロセ編みのものに限る）	10
	6117 80 100 1	上肢静脈不全リンパ浮腫患者向けスリーブプロテクター	10
62	6201 - 6208、6210 - 6211、6213 - 6217	衣類および衣類付属品（メリヤス編みまたはクロス編みものを除く）	50
	6212	ブラジャー、ガードル、コルセット、サスペンダー、ガーター、その他これらに類する製品およびこれらの部分品（メリヤス編みであるか又はクロス編みであるかを問わない）	30

また2009年8月20日付けウズベキスタン共和国閣僚会議決定236号「2009-2011年期繊維産業の今後の発展と近代化、および食品以外の国産消費財の生産拡大に関する措置」により、食品以外の消費財の製造に特化した企業が、国内では製造されていない周辺機器や原材料を輸入する場合、関税がかからなくなった（通関手続きにかかる料金は別途）。

⁵¹ http://fmc.uz/legisl.php?id2=excise_2009

一覧*

国内では製造されず、2009年1月28日付けウズベキスタン共和国大統領決定PP-1050号「食品以外の消費財の国内生産を増進するための追加政策について」によって関税支払いの免除が適用される（通関にかかる費用は別途）食品以外の消費財を扱う専門の製造業者によって輸入される製品および原材料の一覧。

N	品名	HSコード
既製品製造用の綿織物、絹織物および混紡織物		
1.	ゴム糸及びゴムひも（紡織用繊維で被覆したものに限る。）並びに紡織用繊維の糸及び第54.04項又は第54.05項のストリップその他これに類する物品（ゴム又はプラスチックを染み込ませ、塗布し又は被覆したものに限る。）	5604 10 000 0 5604 90 000 0
2.	再生繊維又は半合成繊維の紡績糸（縫糸及び小売用にしたものを除く。）	5510 11 000 0
3.	合成繊維の紡績糸（縫糸及び小売用にしたものを除く。）	5509 21 000 0
4.	合成繊維の短繊維（カード、コムその他の紡績準備の処理をしたものに限る。）	5506100000、 5506300000、 5506901000、 5506909000
5.	ビスコースレーヨンの短繊維	5504 10 000 0
6.	ポリエステル短繊維	5503 20 000 0
7.	ビスコースレーヨンの糸	5403 41 000 0
8.	合成繊維の長繊維の糸（67デシテックス未満の単繊維のものを含むものとし、縫糸及び小売用にしたものを除く。）	5402200000 - 5402699000
9.	綿糸（綿の重量が全重量の85%以上のものに限るものとし、縫糸及び小売用にしたものを除く。）	5205 33 000 0
10.	天然の重合体（たとえば、アルギン酸）及び変性させた天然の重合体（たとえば、硬化たんぱく質及び天然ゴムの化学的誘導体）（一次製品に限るものとし、他の項に該当するものを除く。）	3913100000、 3913900000
11.	シリコン（一次製品に限る。）	3910 00 000 9
12.	アクリル重合体（一次製品に限る。）	3906100000 - 3906909000
13.	酢酸ビニルその他のビニルエステルの重合体及びその他のビニル重合体（一次製品に限る。）	3905120000 - 3905999090
14.	アンチノック剤、酸化防止剤、ガム化防止剤、粘度指数向上剤、腐食防止剤その他の調製添加剤	3811119000、 3811190000
15.	石油又は歴青油を含有する添加剤	3811210000、 3811290000、 3811900000
16.	仕上剤、促染剤、媒染剤その他の物品及び調製品（繊維工業、製紙工業、皮革工業その他これらに類する工業において使用する種類のものに限るものとし、他の項に該当するものを除く。）	3809 91 000 0
17.	酵素及び他の項に該当しない調製した酵	3507 90 900 0
18.	調製接着剤その他の調製接着剤（他の項に該当するものを除く。）及び膠着剤又は接着剤としての使用に適する物品（膠着剤又は接着剤として小売用にしたもので正味重量が1キログラム以下のものに限る。）	350 699 000 0
19.	有機合成着色料（化学的に単一であるかないかを問わない。）、有機合成着色料をもととしたもの及び蛍光増白剤又はルミノホアとして使用する種類の合成した有機物（化学的に単一であるかないかを問わない。）	3204200000 - 3204900000
20.	有機合成着色料及びこの類の注3の調製品で有機合成着色料をもととしたもの	3204120000 - 3204190000
21.	紡織用繊維、革、毛皮その他の材料の処理用の調製品	3403110000 - 3403991000
22.	有機界面活性剤（石鹼を除く。）並びに調製界面活性剤、調製洗剤、補助的調製洗剤及び清浄用調製品（石鹼を含有するかしないかを問わないものとし、第34.01項のものを除く。）	3402111000 - 3402909000
23.	不飽和環式モノカルボン酸及び環式モノカルボン酸並びにこれらの酸無水物、酸ハロゲン化物、酸過酸化物及び過酸並びにこれらのハロゲン化誘導体、スルホン化誘導体、ニトロ化誘導体及びニトロソ化誘導体（アクリル酸メチルEcotex 250）	2916 12 900 0
24.	過酸化水素（尿素により固化してあるかないかを問わない。）	2847 00 000 0

25.	水酸化ナトリウム（苛性ソーダ）固体のもの 完成縫製品、帽子、靴下類の生産に必要なもの	2815 11 000 0
26.	スライドファスナー及びその部分品	9607110000 - 9607209000
27.	ボタン、プレスファスナー、スナップファスナー及びプレススタッド並びにこれらの部分品（ボタンモールドを含む。）並びにボタンのブランク	9606100000、 9606210000、 9606220000、 9606290000
28.	タイヤコードファブリック（ナイロンその他のポリアミド、ポリエステル又はビスコースレーヨンの強力糸のものに限る。）	5902109000、 5902209000
29.	縫糸（人造繊維の長繊維のものに限るものとし、小売用にしたものではないかを問わない。）	5401101200 - 5401101800、 5401201000
30.	繊維用繊維の織物類（プラスチックを染み込ませ、塗布し、被覆し又は積層したのものに限るものとし、第59.02項のものを除く。）	5903909100 - 5903909900
31.	繊維用繊維の織物類（ポリ（塩化ビニル）を染み込ませ、塗布し、被覆し又は積層したのものに限るものとし、第59.02項のものを除く。）	5903101000、 5903109009
32.	書籍装丁用その他これに類する用途に供する種類の繊維用繊維の織物類でガム又はでん粉質の物質を塗布したもの、トレーシングクロス、画用カンバス及びハットファンデーション用バックラムその他これに類する硬化繊維用繊維の織物類	5901 90 000 0
33.	不織布	5603 12 100 0
34.	合成繊維の短繊維の織物（混用繊維の全部又は大部分が羊毛又は織獣毛のもの）	5515221100 - 5515998000
35.	合成繊維の短繊維の織物（合成繊維の短繊維の重量が全重量の85%未満のものうち、混用繊維の全部又は大部分が綿のもので、重量が1平方メートルにつき170グラムを超えるものに限る。）	5514 11 000 0
36.	合成繊維の短繊維の織物（合成繊維の短繊維の重量が全重量の85%未満のものうち、混用繊維の全部又は大部分が綿のもので、重量が1平方メートルにつき170グラム以下のものに限る。）	5513 11 200 0
37.	再生繊維又は半合成繊維の長繊維の糸の織物（第54.05項の材料の織物を含む。）	5408231000 - 5408240000
38.	合成繊維の長繊維の糸の織物（第54.04項の材料の織物を含む。）（アラミド繊維）	5407 10 001 0
39.	梳毛織物（羊毛製又は織獣毛製のものに限る。）	5112110000 - 5112909900
40.	紡毛織物（羊毛製又は織獣毛製のものに限る。）	5111191000、 5111199000、 5111301000
41.	綿製の縫糸（小売用にしたものではないかを問わない。）	5204 11 000 0
42.	綿織物（綿の重量が全重量の85%未満のもので、混用繊維の全部又は大部分が人造繊維のものうち、重量が1平方メートルにつき200グラムを超えるものに限る。）	5211 42 000 0
43.	綿織物（綿の重量が全重量の85%以上で、重量が1平方メートルにつき200グラムを超えるものに限る。）	5209 42 000 0
44.	織獣毛及び粗獣毛（カードし又はコムしたものを除く。）（アルパカ）	5102 19 300 0
45.	絹織物	5007 20
46.	シリコンベルト	3920 99 900 0

注 一覧には、消費者市場の状況変化に伴って品目が追加されたり、また地域別販売プランに沿って品目が削除されたりすることがある。

ウズベキスタンの全ての種類の商品（労役、サービス）に対する輸出関税は廃止されている。外貨で支払いを受ける商品（労役、サービス）輸出には、旧ソ連諸国への納入を含め、付加価値税がかからない。その上、外貨取引される輸出向け商品の納入には物品税の支払いも免除されている。

2005年11月1日よりウズベキスタンでは新しい関税率が適用されている。2005年9月19日付けウズベキスタン共和国大統領決定 PP-183号で制定されたものである。新しい関税率は、従来の、2004年1月7日付け閣僚会議決定4号⁵²。によって承認された輸入関税率をもとにしている。

⁵² <http://www.mfer.uz/hs.htm>

品目グループ別の「類」や統計番号別の小分類の関税率の水準算出の基本にあるのは、いわゆるエスカレーターの原則であり、商品の付加価値が大きいほど、関税率も高くなる。

商品の税関値を故意に低く申告させないために、国庫が税関の支払い金で満たされるように、この決定では混合税率が適用されるコードを広げている。

従来の関税率によれば、混合税率は 227 の品目に規定されていた（アルコール飲料、ソフトドリンク、タバコ製品および陸上交通手段）。新しい関税率ではその規定がさらに既製品としての消費財にもおよび、433 の品目にまで広がり、その現行関税率の従価税率には手を加えなかった。

平均税率は 14,84% である。

その国の貿易体制の開放性を評価するために IMF が設ける、平均税率水準による関税率制度の分類に従うならば、ウズベキスタンの関税率制度は比較的開放的な部類に入ることになる（算術的平均関税率 10-15%）。

新たに承認された輸入関税率は、最恵国待遇を付与して通商経済協力協定を結んだ国が原産国となる製品に対して適用されている。最恵国待遇で通商経済協力協定を結んだ国家の一覧表は 1998 年 4 月 8 日 426 号付けで法務省に登録されている。

現在ウズベキスタンは貿易における最恵国待遇を世界 42 カ国に供与している。

こうした協定を調印していない国を原産とする商品に対しては輸入関税率が 2 倍になる。

ウズベキスタン共和国内へ法人が商品を輸入する際には、輸入関税に加え、物品税（税率は 2005 年 9 月 19 日付け大統領決議 PP-183 号輸出入業務を秩序立てる追加措置についてによる）と 20% の付加価値税が納められる。

個人の場合は、2002 年 9 月 27 日付けウズベキスタン共和国閣僚会議決定 335 号に従い、外国貿易活動商品番号(TN VED コード)や原産国に関係なく、全商品カテゴリーで輸入免税の適用はなく、商品の税関値から以下のような統一関税を支払う。

- 食料品（小麦粉を除く）-40%
- 食料品以外の商品-70%
- 小麦粉の輸入（2005 年 9 月 19 日付け大統領決定 PP-183 号）-26%

関税の支払いに一連の優遇措置がとられていることによって輸入関税がかからない場合がある。

- 商品が、自由貿易政策の対象となる国が原産国であり、輸出国である場合（2004 年の総括では、ウズベキスタンとの自由貿易政策がとられている CIS 諸国からの輸入は、総輸入額の 38.6% となった）。
- 商品が、ウズベキスタン政府の名によりあるいは政府保証のもとに締結された政府間協定や融資協定によって納入される場合。
- 政府保証のもとに外国が融資する投資プロジェクトで使われる商品。
- 外国投資家が持ち込む、自らの生産活動に必要な財産。
- 外国から投資を受けている企業の資本金への投資。
- 機械技術設備。
- データ送受信網構築設備、コンピューター、その周辺機器一式、ソフト。
- 小規模ビジネスの企業設備。

- 木材。
- 国内で製造されない材料や部品で、2004年1月14日付け共和国閣僚会議決定18号に沿う地方物産プログラムの枠内で実施されるプロジェクトに参加する企業が、地域物産のために使用するもの。

その他、多くの商品の輸入に際し付加価値税が課せられない。輸入時に付加価値税の対象にならない商品は以下の通りである。

- 以下の目的で輸入される技術機械設備。
 - 投資プログラムに組み込まれた優先設備の装填。
 - 政府保証の下に外国融資を受けている投資プロジェクトの実施。
 - 一般消費財製造に特化した企業の再建あるいは改築。
 - 外国投資を受けている企業の資本金増資のために外国投資家が持ち込むもの。
- ウズベキスタン共和国が締結した協定によって国際的組織あるいは外国政府系組織が提供する借款や賞金を利用して、ウズベキスタン非居住者を含む法人が輸入する設備や材料(労務とサービス)。
- データ送受信網構築設備、コンピューター、その周辺機器一式、ソフト。
- 医薬品および医療用品。

外国貿易と租税

ウズベキスタンの課税制度は2つのシステムー簡易課税システム(統一納付税)と総合課税システムから成っている。統一税を納付するのは零細企業や小規模企業、商社、飲食店、個人営業の公証人および法人がその営業活動の枠内で宝くじや競馬賭博などのリスクに基づく娯楽を運営している場合。零細企業と小規模企業は、どちらの課税システムにするか自ら選択することができる。その他の企業は総合課税システムとなる。また、どちらの課税システムの場合でも別途支払う税金もある。下にウズベキスタンの租税制度について図表を掲げる。

図表 № 6.1

ウズベキスタン共和国の税制		
統一納付税	総合課税システム	どちらのシステムでも払われる税金
	所得税(収益税)	物品税
	生産品の付加価値税	地下資源利用税
	水資源利用税	統一公共料金
	資産税	非居住者の所得税(源泉徴収)
	土地税	配当所得税
	公共インフラ整備開発税	輸入品付加価値税
	学校教育予算枠外基金控除	共和国道路基金積み立て
年金基金積み立て		

また、輸出入業務取り扱い許可証があり、輸入オペレーション登録カードを持っていれば、法人格ではない個人事業主も輸出入業務を執り行うことが出来る。こうした事業者は、10.5×法定最低賃金+一回分の法定最低賃金を毎月の所得税として年金基金へ納める(法定最

低賃金 37680⁵³ スム x11,5=433320 スム)。法人格を取得していない個人事業主とは、大抵が地元の市場(CHILONZOR BUYUM BOZORI、KARBON BOZOR など)に販売拠点を構えている人たちのことである。個人事業主が商品を輸入する際、対外経済関係投資貿易省および税関委員会に登録が必要で、どちらの機関でも手続きは二営業日を要する。税関委員会への輸入品の登録には外貨持ち出し申告書または銀行が発行する外国取引先への送金確認書が要る。後者の場合には、ウズベキスタンから出国したことを証明する書類、たとえば航空券などが必要である。

個人事業主には、輸入商品の決済に特別な手続きが設けてある。個人事業主の取引銀行は、個人事業主の要請に応じて、規定の手続きを経て現金を（スムで）支給する。個人事業主は以下のようなことができる。

- ・ 商業銀行の両替部において外貨を得る。
- ・ 税関法に基づいて外貨を持ち出す。
- ・ 外国取引先と輸入商品代金を現金で決済する。⁵⁴

外国貿易を営むのが法人であった場合、次のような図式となる。

1. 輸入業者が外国取引先と契約を結ぶ。
2. 銀行と税関機関に輸入契約書の登録を申請、いずれにおいても 2 日以内に登録完了。
3. 外国取引先の口座に送金（2 日以内）。
4. 外国取引先が商品を発送。
5. 商品がウズベキスタンの税関倉庫に到着し、レジーム 70 に移行（一時保管）。
6. 商品が各種証明を要するものであれば、証明書の受け取り⁵⁵。（参照、付属資料 № 6.1 証明書を必要とする品目一覧）。
7. 税関申告官の助けを得て税関申告書が記入されると、商品の通関が行われ、そして商品はレジーム 70 からレジーム 40 へ移行する（自由な流通への開放 - 輸入）。
8. 所得税支払いと商品販売。

たとえば 1 枚 20 ドルのシャツ(外国貿易活動商品番号 TNVED コード 6101-10)を 100 枚、合計金額にして 2000 ドルで持ち込むとする。通関を切る時に 0.2%の通関手数料、30%の関税、30%の物品税、20%の付加価値税がかかる。2000 ドル x 1509 スム(為替の公定レート) = 3018000 スム。3018000 x 0.2% + 3018000 x 30% + 3018000 x 30%。6036 + 905400 + 905400 = 181683。、付加価値税を算出するには、この数字に 20%積算する。1816836 スム x 20% = 363367 スム。1816836 + 363367 = 2180203 スム。私達のシャツの元値はウズベキスタンの市場で 2000 ドル + 2180203 スム、つまり 4000000 スム (ドルの市場レートで 2000 スム) + 2180203 スム = 6180203 スム。シャツ一枚の元値は 61802 スム、ドルにして 30.9 ドルとなる。この金額 61802 スムに事業者のマージンを 30%枠内で加えると、販売価格は 80343 スム(40.2 ドル)となる。もしその企業が卸売業なら、商品販売後、卸売業向け統一税 5%を運転資金から支払い、もし法人格を

⁵³ 2009 年 7 月 8 日付大統領令 №-UP4119

⁵⁴ 第 V 章 商業活動目的で商品を輸入する個人事業主が法人格を取得せず国へ登録し、台帳に登録し、輸入業務登録カードを発行してもらう手続きに関する条例 (2004 年 9 月 2 日付ウズベキスタン共和国閣僚会議決定 413 号への付属資料 No.1.

⁵⁵ 製品とサービスの証明書に関する法、1993年12月28日付 №1006-XII

持たない個人事業主で、輸出入業務を執り行う権利があるなら、法定最低賃金の 11.5% にあたる 433320 スムをカレンダーの毎営業月ごとに支払うことになる。

外国貿易

ウズベキスタンの税関法では、商品や交通手段が税関国境を越えるときには、次のような基本的な税関支払いが発生する。

- 関税。
- 付加価値税。
- 物品税。

関税の支払いには幾つかのバリエーションがある。

- ウズベキスタンが自由貿易特区設定協定を結んでいる相手国を原産国とする商品で、その国の居住者が輸出するものに対しては関税は適用されない。
- ウズベキスタンが通商経済協力協定を結んでいて、最恵国待遇を供与している相手国からの商品 に対しては 関税は適用される。
- その他の国を原産国とする商品、または原産国が明確にされていない商品 に対しては 関税は適用され、税率は 2 倍になる。

輸入関税率は、2005 年 9 月 19 日付け閣僚会議決定 PP- 183 号の付属資料№ 1 に準じて規定されている。2007 年 9 月 1 日時点の輸入関税率の平均は 15.3%である。

表 6.2

自由貿易特区設定に関する協定の参加国であり、自由貿易協定に署名した国一覧。

アゼルバイジャン共和国	モルドバ共和国
ベラルーシ共和国	トルクメニスタン共和国
グルジア共和国	タジキスタン共和国
カザフスタン共和国	ロシア連邦
キルギス共和国	ウクライナ

二重課税⁵⁶の防止

二重課税防止に関する条約が取り上げているのは、法人所得税（収益税）、個人所得税、資産税である。二重課税防止条約が結ばれた 45 カ国リストには日本も含まれている⁵⁷。

対外経済関係の実務では、課税に関する重要な係争問題がしばしば持ち上がる。一国の税法が、国際オペレーションに関する問題に答えを出すことが出来ないこともある。所得（利益）の記帳によって起こる所得税（利益税）の二重課税は、比較対照しうる税を異なった二つの国で同じ一人の納税者から同じ課税根拠で徴収することから起こる。

世界の経験上、国際法が一国の法に対して優位性を持つのは周知の通りである。この点ではウズベキスタンも例外ではない。税法第 2 条では、ウズベキスタンが署名した国際条約で

⁵⁶ www.norma.uz

⁵⁷ ソビエト政府と日本政府間の所得税の二重課税防止条約、東京、1986年1月18日

ウズベキスタンの税法とは異なる規定が定められている場合、国際条約の規定が適用されると規定している。ウズベキスタンの企業がとりわけ以下を行う二つの場合には、この原則を考慮する必要がある。

- 二重課税防止条約の関係にある相手国の外国法人に収益を支払うとき。
- 企業自体が二重課税防止条約の関係にある相手国の領土内にあるところから収益を得るとき。

二重課税防止条約の締結の際には、各国が（ウズベキスタンも含む）みずからの利益で動いている。しかし、問題に対する共通の考え方が幾つかあり、それに基づいて経済協力開発機構は、1963年、税制協定の最初の雛形を作成しているため、諸外国と租税協定を結ぶ多くの場合にウズベキスタンはそれを利用している。

実務において国際二重課税防止条約の立場を用いる際には、以下の主要三原則に従うべきである。

- それぞれの協定は、その協定が適用される税の種類について具体的に明らかにしている。
- それぞれの協定では、所得（収益）の種類ごとに課税の手順を具体的に明らかにしている。
- ウズベキスタンでは、税の実務において国際協定原則を取り入れるメカニズムが存在する。

国家間協定が包括する租税

この問題を検討するに当たり忘れてはならないのは、現行の全ての協定は、**収益と資本**にかかる税だけを包括しているということである。つまり、**総収益**または**資本総額**に課せられる税金やその一部に課税される税金で、動産や不動産の割譲による収益に対する課税や、会社から支払われる給与総額あるいは賞与に対する課税、また資本の増加で得られる収益に対する課税も含まれる。その際、どの政治機関(国、国の政治行政部門あるいは地方機関)がこれらの税金を徴収するかは重要ではない。源泉徴収なのか追加税の後納かといった税の徴収方法もまた重要ではない。このように、ウズベキスタンの現行税法に考え合わせると、協定が包括しているのは、**法人所得(収益)税**、**個人所得税**と**資産税**である。間接税に関して協定は言及していない。

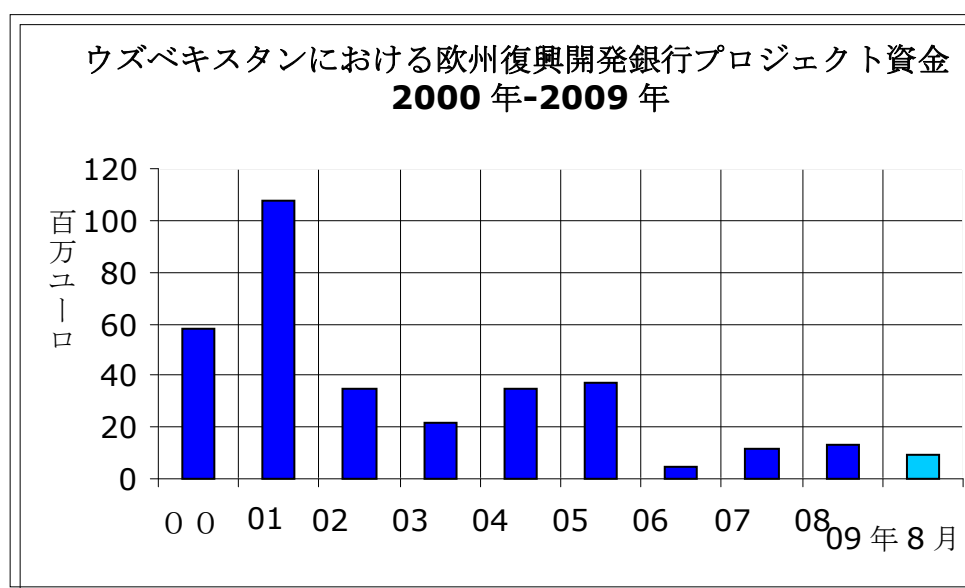
7. 外国融資獲得状況

ウズベキスタン共和国の融資活動を取り仕切る主な規範的法令は：2000年5月26日付ウズベキスタン共和国法77-11号 対外経済活動関連法、対外借款関連法、予算システム関連法、そして2003年11月28日付け閣僚会議決定534号による「外国融資誘致におけるウズベキスタン共和国の保証供与手続きについて」である。

欧州復興開発銀行（**EBRD**）は、**1993年11月23日**、ウズベキスタンで最初のプロジェクトを稼働させた。（6000万ドルの中小企業支援のための最初の融資）。1997年には株式会社UZNEFTEPERERABOTKAは、FNPZ石油精製工場再建のため、欧州復興開発銀行と日本輸出入銀行と1億8000万ドルの借款協定に署名した。資金は、石油製品中の硫黄含有量を削減する設備の購入と取り付けに当てられた。銀行と借主間の協定（借款協定）および保証を基に、銀行は借主である国営企業「タシケント国際空港」に3年間の元本返済猶予つきで4800万ドルの借款を15年間の予定で供与した。借款は2001年3月20日から2012年9月20日までの間、半年毎に200万ドルずつ返済される。

下記の図表7.1に、2000年から2009年の欧州復興開発銀行のウズベキスタンでのプロジェクト金額を見ることが出来る：

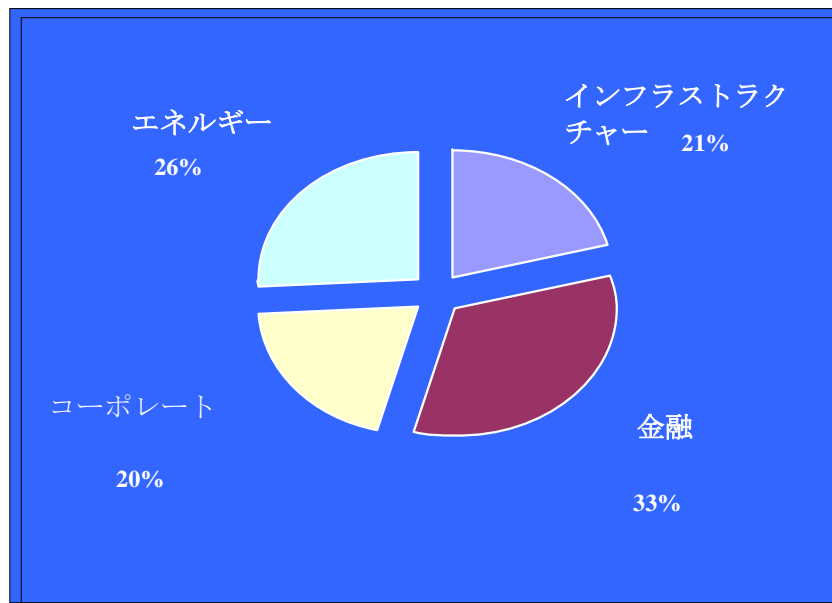
図表 7.1



- プロジェクト数 - 51
- プロジェクト総額 - 12億9040万ユーロ
- 民間セクターの割合 - 58%

ウズベキスタンで現在実行中の欧州復興開発銀行によるプロジェクトの分野

図 7.2



インフラストラクチャー: 公共事業・環境保全

金融: 銀行業・株式ファンド・商業ファイナンス・ノンバンク・ファイナンス制度・零細企業および小企業

コーポレート: 農業・製造業・資産・観光・通信

エネルギー: 天然資源・動力およびエネルギー

1995 年に [アジア開発銀行\(ADB\)](#) に加盟国入りした時点からウズベキスタンは 12 億 3000 万ドルの借款と、3710 万ドルの技術供与を受けている。ウズベキスタンはアジア開発銀行の加盟国・地域中、株主リストの 15 番目で、巨額債務者の中で 13 番目である。

活動全体の評価は、その作用と結果と実現化の面で満足すべきものである。2002 年から完済金と契約金額の釣り合いは向上の一途をたどっている。2007 年では、貸与の契約金額は 5874 万ドルで、この年の完済額は 4897 万ドルだった。アジア開発銀行の借款の約 23.6% は初等教育用の教科書作成プロジェクトとして教育に使われたが、このプロジェクトの枠内で民間団体が教科書作りに参加し、教科書貸出しによって貧困家庭の生徒にも教科書がより手に入りやすくなるようになった。ウズベキスタンは、総合的初等教育の 1000 年開発計画 2015 の目標をすでに達成している。

農業への投資はソ連時代からの灌漑システムの崩壊と農地の荒廃を押し留めるのに役立っており、アジア開発銀行は、市場に目を向け、生産者のやる気の高揚と、貧困層の七割以上が居住している農村地域の収入と雇用水準の向上を目指した農業改革を支援している。

交通の分野では二つの鉄道プロジェクトがあり、地方の枢要交通路線の線路 660km が改善された。7000 万ドル規模の二つ目のプロジェクトは、2006 年 12 月に完了した。このプロジェクトの枠内で、サマルカンドーブハラーホジャダヴレト間の 341 km の鉄道と、ジザク・サマルカンド間の一部の路線が復興された。プロジェクトには最新の路盤敷設と設備の技術メンテナンスが含まれており、光ファイバー通信システムと経理の電算化システムが納入され、設置された。さらにプロジェクトには人材の育成も含まれていた。

ウズベキスタン: 2008年12月31日時点でのアジア開発銀行借款総額⁵⁸

表 7.1

分野	借款 (数量)	金額 (米ドル)	%
農業・天然資源	8	345.40	28.06
教育	8	290.50	23.60
エネルギー	1	70.00	5.69
金融	1	20.00	1.62
医療・食品・社会福祉	1	40.00	3.25
産業・貿易	1	50.00	4.06
法制・経済政策・国政	1	20.70	1.68
運輸・通信	4	265.30	21.55
水道・衛生・ごみ処理	4	129.00	10.48
合計:	29	1,230.90	100.00

*数字の誤差は端数切捨てによる。

国営ウズベキスタン共和国対外経済活動銀行 (NBU VED RUz)はウズベキスタンの主要銀行の一つである。1993年から2005年の間に、ウズベキスタン国営銀行(NBU)は外国融資計画の一環として、179の大規模投資プロジェクトへ総額51億ドル(相当)を融資した。プロジェクト数での上位五位は、農業複合施設、交通インフラ、サービス・観光、繊維産業、通信インフラ・電子産業である。国営融資銀行から拠出された融資額の六割以上はこれらの分野に投入された。それ以外の分野では、燃料エネルギー複合施設、鉄鋼、採鉱、化学産業、有機肥料製造、製紙、印刷、食品産業、そして機械製造施設を扱う企業が融資を受けた。

ウズベキスタン国営銀行(NBU)は、イスラム開発銀行との提携の枠内で、個人ビジネスと小規模ビジネスを発展させる対策のため1500万ドル規模の融資をイスラム開発銀行から受けた。この融資の大きな特徴は、小規模企業への融資にリースという仕組みを適用したことである。

2005年はマレーシア輸出入銀行と2000万ドルの融資枠契約に調印し、中国銀行と総額1億元の政府間補助金および貸付の取り扱いで銀行間協定を結び、韓国輸出入銀行とは総額1000万ドルの商業融資策への貸付供与、またインド輸出入銀行とは1000万ドル規模の輸出への融資に署名した。

2005年10月3日ウズベキスタン国営銀行(NBU)とマレーシア輸出入銀行は、マレーシアからウズベキスタンへの物品およびサービス向けの資金提供を対象とした2000万ドルの借款供与協定に調印した。この借款協定の条件によると、最低融資額は10万ドルで、期間は7年、猶予期間2年である。

2006年6月13日、ウズベキスタン国営銀行(NBU)と中国開発銀行は、小規模ビジネスと個人事業のプロジェクトへの資金提供のために2000万ドルの借款供与協定に調印した。この融資協定の条件では、最低融資額は10万ドルである。個々のプロジェクトへの融資額は輸入契約代金の85%以内でなければならない。融資期間は9年で、2年の猶予期間が含まれる。

⁵⁸ www.adb.org/Documents/reports/annual_report/2008/

中国政府はウズベキスタンに約 8000 万ドルを、非課税・無利子の融資や、社会保障、公共事業、農業機械製造や灌漑、化学分野におけるプロジェクト実現のための無償援助という形で供与した。

銀行の重要な営業活動の一つに、外国からの投融資の誘致、またその取り扱いにおいて国の代理店としての機能を果たすということが挙げられる。ウズベキスタン国内へ食料品や医療必需品の安定した納入を確保するために、ウズベキスタン国営銀行 (NBU) は、スイス銀行 (UBS) やクレディ・スイスなどの銀行の融資を誘致し、EU の作成した融資ラインを取り扱っている。融資にかかるすべての義務は政府の名において銀行が期限内に履行する。

ウズベキスタン国営銀行 (NBU) は 2007 年、シンガポールの 華僑銀行 (OCBC) から貿易事業へ 5000 万ドルの融資を取り付けたとウズベキスタンの銀行で報告された。ウズベキスタン銀行にはウズベキスタン政府の保証無しで 2 年間の融資が提供され、利率は優遇されているがその率は明らかにされていない。

外国融資を誘致するにあたって大きな意味を持つのが、輸出入保険代理店との関係の発展である。これら代理店が融資額をカバーするから、ウズベキスタンの輸入事業者は最新のテクノロジーと財源へのアクセスを手に入れるのだ。過去には、ウズベキスタンへの輸出保険は ERG (スイス)、ECDG (英国)、HERMES (ドイツ)、SACE (イタリア)、COFACE (フランス)、輸出入銀行 (米国、日本、トルコ) のような国の保険代理人によってかけられてきた。

ウズベキスタン 財務省 の資料によると、現時点で総額 190 億ドル⁵⁹以上、80 を超えるプロジェクトの具体的財源が明らかになっており、外国パートナーと投融資の合意に達している。

2009 年 3 月 12 日付け大統領決定によって承認された「2009 から 2014 年における、設備と生産技術の更新と近代化に関する最重要プロジェクト実現対策プランについて」の枠内で、総額 414 億ドル、400 件を越す投資計画の実現のため国際金融機関や相互パートナー、外国のリーディング・カンパニーからの総額 220 億ドルを超える投融資の誘致が見込まれている。

これらのパートナーの中で重要な位置を占めているのが アジア開発銀行 (ADB)、[世界銀行 \(WB\)](#)、[イスラム開発銀行 \(IDB\)](#) のような国際金融機関である。たとえば、これまでウズベキスタンに対し平均して一年に一件の借款を供与してきた世界銀行は、2009 年だけで灌漑・治水および公共インフラの近代化のため、総額 1 億 4800 万ドルを超える 3 つの長期優遇融資を供与した。

ウズベキスタン幹線道路プロジェクトの一段階実現のために 2008 年に供与した 7500 万ドルに加えて、アジア開発銀行の執行理事会は今年 9 月、ADB の融資総額 3 億ドルのウズベキスタン地方公共インフラ近代化ビッグ・プログラムを承認した。それに加えて ADB は、ブハラ―ヌクス間の国道の区間で総延長 220 キロを超える 3 区間で、4 車線のセメントコンクリートで覆われた自動車道路建設のために、5 億ドル規模の新たな借款の準備にとりかかった。

ウズベキスタンの発展におけるウズベキスタンのパートナーたちは、この国での大規模インフラ・プロジェクトへのみずからの融資の可能性を拡大させる目的で、お互いの協力関係を活発化している。アジア開発銀行、世界銀行、そして[国際協力機構 \(JICA\)](#) は現在、Talimardzhan 火力発電所で、変電所と高電圧線を含む二つの蒸気ガス設備建設プロジェクトに共同融資案を検討中である。この共同融資パッケージの規模は 8 億ドルになる見通しである。

⁵⁹ www.regnum.ru/news/1220486.html

イスラム開発銀行とそのパートナーの OPEC 開発基金、クウェイト-アラブ経済発展基金は、総額 9300 万ドルを超える融資を、ジザク州とシルダリア州の灌漑・治水網復興プロジェクト実現のために供与し、それが実現すれば、40 万ヘクタール以上の農地の生産性が一気に上がる。

2003 年 9 月 3 日に、ウズベキスタンはイスラム開発銀行の正式なメンバーとなった。IDB 加入以来、銀行からは総額 1 億 1500 万ドルの融資が供与された。この資金の使い道は、共和国救急医療センターやその地方支部の医療設備購入や、首都の自動車道路改良のためのアスファルトコンクリート製造企業の近代化と設備購入、500kw 送電線の敷設、義務教育機関の設備購入である。

小規模ビジネスの企業への融資のために、ASAKA 銀行、IPOTEKA 銀行および UZBEKENGILSANOAT への 1050 万ドルの拠出が決定した。もう一つのプロジェクトは、いろいろな地方での職業訓練学校の建設と設備購入費にあてる 25 年の優遇借款（1050 万ドル）と関連している。2009 年、電気エネルギー業界では、イスラム開発銀行が 2009 年に 5530 万ドルを投資して参加した、総額 1 億 4670 万ドルの 2 つのプロジェクトを完了させることになっている。その一環として、国営株式会社 UZBEKENERGO は 2009 年末までに 500 kw 高圧送電線のシルダリア火力発電所-変電所 ソグディアナ建設プロジェクトを完成させる。

イスラム開発銀行は、シルダリア州とジザク州⁶⁰の灌漑網と排水システムの復興のために 5265 万ドルのクレジットをウズベキスタんに供与することに賛同した。シルダリア州とジザク州の灌漑網と排水システム復興プロジェクトの総額は 7900 万ドルである。潜在的投資者、融資者としてはイスラム開発銀行のほかにクウェイト-アラブ経済開発基金やオペック基金も挙げられる。プロジェクトの目的は、灌漑農地における生産性向上および農作物の増産である。火力発電所プロジェクトは、クウェイト-アラブ経済開発基金の約 100 万ドルの補助金で立案されたものである。

イスラム開発銀行の組織であるイスラム民間開発公社 (ICD)はウズベキスタンの 3 つの銀行に対して 総額 4200 万ドル⁶¹の融資を開始した。融資協定はタシケントにおいて、イスラム民間開発公社とウズベキスタン国営銀行 (NBU)、国営株式商業銀行 Asaka と UZBEKENGILSANOAT の首脳部代表者の間で署名がかわされた。最初の二行には 1500 万ドルずつが割り当てられ、UZBEKPROMSTROYBANK には 1200 万ドルだが、それらは産業分野での新しい生産設備の購入や、農業の生産性向上、交通や情報テクノロジーといった領域の発展に充てられる。協定の条件では、一つのプロジェクトに対する融資の最大金額は 200 万ドルを超えてはならない。

2006 年ウズベキスタンの ALOKABANK は、株式会社 UZBEKTELEKOM の企業へのリース供与のために中国開発銀行から 1800 万ドル規模の融資を誘致した。

2010 年、ウズベキスタンは燃料エネルギー分野への外国投資の規模を前年比で 2 倍にし、総額 22 億 8000 万ドル⁶²の資金を投入する計画だ。このことは、ウズベキスタン大統領決定で承認された 2010 年の投資プログラムに書かれている。

プログラムによると、2010 年には燃料エネルギー部門で総額 23 億ドル、26 のプロジェクトが実施される。その際、外国企業の直接投資によって総額 20 億 4500 万ドル、22 のプロジェクトが実現される。

⁶⁰ www.regnum.ru/news/1105693.html

⁶¹ www.regnum.ru/news/1174170.html

⁶² www.regnum.ru/news/1228083.html

最も規模の大きい外国投資は中国の中国石油天然気集团公司 **CNPC** で、2010 年に 8 億 8360 万ドルを、総額 29 億 8000 万ドルのトルクメニスタン・ウズベキスタン・カザフスタン・中国のウズベク区間のガスパイプライン建設第二期工事に投資する計画である。

投資規模の第二位は、ロシア企業 LUKOIL で、総額 43 億ドルになる二つの生産分与協定 (PSA) 実現に向けて、来年ウズベキスタンに 4 億 7340 万ドルを投資する計画を立てた。

マレーシアの **Petronas** は 2010 年、石油・天然ガス部門のプロジェクトに 2 億ドルを投資する。ペトロナスはまた、2009 年末までに二つ目の PSA (スルハンダリヤ州の産出地におけるガス採取において) に署名する予定である。このプロジェクトへの 2010 年の投資額は 1 億ドルの水準となることが予測されるが、プロジェクト総額は 6 億 6000 万ドルにのぼる。

ロシアの **Gasprom** は、総額 4 億ドル規模の投資をするウスチユルト地方の地質学調査完了に来年 1 億 2000 万ドルを投入する。

中国 CNODC は総額 2 億 850 万ドルの石油・天然ガスを埋蔵する五ブロックの調査を続ける。すでに予定している工事の遂行のため、来年投資家は 5800 万ドルを投入する予定だ。**Uzbekneftegaz** や LUKOIL OVERSEAS、PETRONAS、韓国の **KNOC** と中国石油天然気集团公司から成る投資家コンソーシアムは、PSA 契約で、アラル海のウズベク領における 4000 万ドルの地質調査を完了する。2010 年にはこの事業に 1700 万ドルが差し向けられる。ウズベキスタンの電気エネルギー部門では 2010 年は総額 5 億 8200 万ドルの 4 つのプロジェクト実現の過程で 2 億 3510 万ドルを使う計画である。また 2010 年には中国輸出入銀行の融資枠内で 1 億 2040 万ドルかけてアンダク炭鉱の近代化に着手する計画である。

スロバキアの SINECTA とカナダの LAVALIN の国際コンソーシアムは日本国際協力銀行 (**JBIC**) の融資を受けて、2 億 2000 万ドルかかるタシケントの火力発電所の近代化を続けている。2010 年このプロジェクトは 1 億 5600 万ドルを投入する。

8. 繊維産業の国際競争力強化手段とその他の優遇措置

ウズベキスタンの繊維部門の市場競争での主たる優位性は、これまでも述べてきたように、原料が地元で調達できること、熟練工の存在、生産インフラが整っていること、国内市場が大きいこと、そして活発な内需、輸出量増大の促進、機械技術設備輸入における税制の優遇である。

個々の企業においてはすでに製品の競争力を高める条件が整っている。まず挙げられるのは、外国からの投資を受けて最近できた合弁企業と外国企業である。それら企業には最新の技術装備があり、よって製品の質が高い。さらに一段と大きな付加価値をつける多段式の生産になっている。西側市場向けを含む輸出において、また商品のプロモーションや新しい顧客の獲得（たとえば展示会への出展を通じて）において一定の経験があり、オリジナル製品開発の心得があり、会社の今後の発展に関してモチベーションと経営管理の柔軟さがある。同じく最も重要な要因になっているのがウズベキスタンの法律であり、それらは繊維分野で合弁企業や外国企業を設立する場合に、最新の設備を持つことと、自社製品の70%以上の輸出を義務付けている。同時に、ウズベキスタンの繊維産業の競争力強化を抑制する客観的要因も存在する。その中でも、収穫の量と質に大きく左右されることと、重要な外国市場から地理的に大変離れていることを挙げるべきだろう。かなりの努力にもかかわらず、未だに最新設備が不足している感があり、よって外国からの投資が必要不可欠である。

繊維産業の重要な問題は国内および国際市場における競争の激しさである。ウズベキスタンは輸入製品に満ちている - 布や衣類、手芸小物の類で、大抵が中国製かトルコ製である。

今のところ、世界市場で衣類の大量生産において南アジアや東南アジア諸国との競争に持ちこたえるのは難しい。しかし、ウズベキスタンの企業には旧ソ連地域での地位保全の可能性があり、さらに新市場開拓の可能性もある。衣類の世界市場は細分化している。皆がジーンズにジャケット、プルオーバーを着ているわけではない。人々には、手ごろな価格のビジネススーツや、誰にでも買えるわけではない晴れの日のための特別美しい装いも必要なのだ。したがってウズベキスタンの縫製企業が主に関心を向けるべきなのは国内市場、そして近隣諸国の市場である。このことはもしかすると、投資導入の図式を変えるかもしれない。国の奨励策や中小企業への大規模投資プロジェクト支援策への方向転換という点から見て、投資導入の図式を変えてしまうかもしれない。

国の経済競争力あるいはその個別分野の競争力評価のもうひとつの規準は、輸出規模とその構造である。ウズベキスタンの繊維分野の輸出のあるべき姿に話が及ぶと、よく知られた事実が引き合いに出されることが多々ある。それは原料の加工度合いが高い程、その原料から作る製品の価格が高くなるというもので、原料の価格に、加工により付加された値が上乗せされるからである。

しかし現実には、我々が描く理想図とは違う。その理由は、これまた肉とソーセージのたとえで説明できる。大部分の人は肉を買うが、それは、その人たちみんなが特定の種類のソーセージを買うということにはならない。なぜならソーセージという製品に対し、各人それぞれ期待するものがより多くあるからである。同じことが紡糸や布と衣類についても言える。紡糸からはいろいろな布が織れるし、それをいろんな風に仕上げたり縫ったりして出来る服の種類やモデルの多さには数限りがない。しかし人が気に入るのはある特定の服だけであり、よってシュミーズより紡糸を売るほうが簡単なのである。紡糸のほうが何十倍も安いのだが。言い換えると、生産者には外国での効果的な販売網の構築や外国消費者の需要をリサーチする努力が求められ、その需要の変化に応じて生産を組み立てなおす柔軟さも必要だ。

ウズベキスタンでは国産繊維製品の競争力を高める手段がいくつか講じられている。外国から積極的に取り入れているのは金融投資だけでなく、生産設備や技術もそうである。外国投資家によって構築された企業の実現化システムは、外国投資家に全額自己資本の外国企業を

立ち上げさせ、また、ここからが最も重要なのだが、みずからの経営とマーケティングにおける経験を持ち込ませ、浸透させ、みずからの持つ製品販路を利用させる。

軽工業への投資活動を奨励するため、ウズベキスタンでは法律で、様々な義務の免除や優遇措置を定めている。ここで注目しなければならないのは、義務の免除が与えられた結果得られた資金は、更なる技術革新と生産の近代化や、新たな完成商品の開発や自己運転資金の拡充、スタッフの労働意欲刺激、などに向けられるということだ。

2009 - 2011 年におけるウズベキスタンの繊維産業近代化プログラム

付属資料 № 8.1. 参照

9. 環境とウズベキスタンの繊維産業発展の見通しの概観

ウズベキスタンの繊維産業の歴史は古くかつ豊かである。シルクロード時代には、アトラスやベカサム、バノラスその他の高価で贅沢な布地がヨーロッパやアジアの多くの国々に運ばれ、よく売られ、人々に愛された。

ウズベキスタンの繊維産業は 30 年代から 40 年代にかけて成立しはじめ、そのころ国内には大規模な繊維工業の工場が作られた。1930 年フェルガナ市の木綿工場が稼働を開始。1936 年にはタシケント繊維コンビナートが操業開始した。引き続きブハラとアンディジャンにも繊維コンビナートが作られた。その結果、すでに 1940 年にはウズベキスタンの繊維企業は 8000 m²の木綿布を生産するまでになり、1940 年から 1960 年にかけては、ウズベキスタンの木綿布生産は 89%の伸び、つまり一人あたり 11.6 m²から 21.9 m²⁶³の伸びを記した。

もしもこのような速度でウズベキスタンの繊維分野の成長がこの先も続いていたのなら、ロシアの繊維生産量を追い抜いて、1980 年までにウズベキスタンはソ連の中で繊維産業の主要国となったであろう。しかし、そうはならなかった。ウズベキスタンを 1960 年から綿生産に専門化させるという考えによって、ウズベキスタンの繊維産業の発展は一旦停止してしまった。繊維コンビナートの新たな建設は中止され、ウズベキスタンの繊維産業において新たにソ連の中心になる可能性は、可能性のままに終わってしまった。

それでもなお、すでに手にしていた生産能力は、ウズベキスタンの独立を果たした後の条件下においても、繊維産業発展のための再スタートの資本としては充分だった。従来の企業は産業インフラにうまく溶け込み、その大事な構成分子となった。

繊維企業の所在地もやはり悪くなかった。企業は人材が十分な場所に拠点を持っていた。インフラの必要要素-電気、水道、下水、自動車道路は整っていた。大規模な繊維企業は、原料の自社調達と既製品発送のための鉄道路線を持っていた。

しかし、ウズベキスタンの企業が加工した綿がほんのわずかの量に過ぎず、主に粗紡糸と織物の生産に集中していた時代は、非常に大きな問題としていわゆる労働の分配制が存在していた。メリヤス製品の生産にはバルト三国が特化しており、ロシアの企業では染色生地やプリント布地の生産と既製品の縫製が行われていた。またこの労働分配制にしたがって付加価値もつけられた。

もちろん、ソ連邦崩壊と共にウズベキスタンの前には、半加工品だけでなく既製品の製造も可能にするために、繊維産業のすべての分野を立ち上げる課題が持ち上がった。ウズベキスタンの繊維分野の発展はこの方向性の上にある。可能性は大きく広がっている。

主な原料である綿は十分な量が栽培されており、その質も申し分ない。しかし、まったく生産されていなかったり、生産されているが不十分な量であったり、必要な品質に達していないような要素がある - 化学繊維、染料その他の化学薬品、手芸小物である。

課題は国内で不足していたり問題のあるものの生産状況を改善することである。

繊維関連企業向けのプラントやその他設備の製造は今も難しい状況にある。以前地元の企業で製造していたものは、質的に現在の要求に答えられなかった。したがって今日では、プラントはそのすべてを、その他周辺設備一式は大部分を輸入に頼っている。次の課題は - **繊維機械や周辺設備一式を製造する国産の生産設備を構築することである。**

半加工品と既製品の分配に関して、我が共和国では卸売りに小売にもシステムが出来ており、機能している。そのシステムには様々な国家機関そして民間組織、企業や証券取引所、商社や個人事業主、外国企業の代表部、ウズベクのディーラーなどが参加している。その他に

⁶³ <http://www.textileinfo.uz/>

も生産者は自社製品の独自のプロモーションチャンネルを使っている。もちろん困難もあり、それは第一に激しい市場競争であり、慣れないマーケティングである。つまり、この方面での課題は激しい市場競争の中での経営をマスターすることと、今よりさらに市場の要求というものを生かすことである。

ウズベキスタンの労働力は、大きな労力を要する分野にしては相対的に安価であるため、その労働力が主原料である綿とともに、ウズベキスタン繊維産業に対して外国からの投資が直接流れ込む本質的な経済要因になっている。また、生産効率に対する要求が一段と高まる今日において、専門知識と熟練工は重要な意味を持っている。その点において、末端の従業員（上層部ではない一般従業員）の職能に関して言えば、ウズベキスタンの様相は悪くない。しかし同時に、多くのウズベキスタン国内の繊維企業は、能力と経験の豊富な経営の人材が大きく不足しているという思いを懐いている。つまり繊維産業は経営管理者とマーケティング専門家を必要としている。

課題は、先進国の経験に学び、経営者、マーケティングリサーチャー、生産技術者等、トップスペシャリストを育成することである。

ウズベキスタンは中央アジアの中央部に位置しており、ウズベキスタンから早く安く到着できるのは遠くの外国市場よりも周辺地域の市場である。世界市場へのアプローチにおいては、海上への出口を持たないウズベキスタンの市場競争力はとても弱い。ここからの課題は、**地域間の協力関係を発展させ、製品の原価を抑え、自らの外国パートナーの販路を活用する。**

現在では、繊維産業はウズベキスタンにとって単に国の経済活動の一部としてだけでなく、多くの労働力を必要とする経済分野として、特別な意味を持ち、そのことは、過剰労働力を持つウズベキスタンにとって社会的な重要性を持っている。企業の近代化や機械革新と技術革新で生産を拡大し、食料品以外の消費財のアイテム数を増やし、その下に雇用問題を解決するという好適な環境を生み出す目的で、2009-2011年度の繊維分野近代化プラン⁶⁴が構想され、承認された。

ウズベキスタンでは繊維産業が発展するのに好条件が重なっている。この国は世界でも有数の綿生産国であり、生産コストは低い。伝統的に繊維産業は投資家にとって魅力のある産業分野である。

2007年から2012年にかけて、綿加工を年間51万トンまでに増やし、新しい機械の割合を加工用設備の全体の80%まで引き上げる課題⁶⁵により6億1500万ドル規模の投資計画が実施されている。

ウズベキスタン繊維業界における発展の主な方向は以下のように定められている。

- 紡績製造 - 次世代設備を基に、ノンファイバー紡績工場の刷新。
- 織物製造- 無結節自動（経糸）巻き取り機の導入、第一世代織機から第二世代無棹織機への買い替え。
- 装飾用・染料製造- 工程の電子制御機能付きの新しい設備の導入。

ウズベキスタンにおける繊維産業概観を終えるにあたり、以下の通りまとめることにする。

- ウズベキスタンは繊維製品の製造では大変長い歴史を持っている。
- ウズベキスタンの繊維産業は30年代から40年代に成立し始めた。

⁶⁴ П2009年8月20日付け閣僚会議決定236号

⁶⁵ <http://www.lpb.ru/print.php?id=4277>

- ウズベキスタンは原綿生産にあたり、原料の自己基盤を十分に持っている。
- ウズベキスタンは繊維分野発展のための人材があり、生産労働者の技能レベルは充分高い。
- 繊維既製品の製造には化学繊維、染料およびその他の化学薬品や、装飾小物が不足している。
- 繊維設備の製造が欠如しており、周辺機械一式の製造もあまり発達していない。
- 原綿の **50%**は国内企業で加工されている。
- 国営株式会社 **UZAKHTASANOAT** は綿農家から原綿を買い上げ、加工している。
- 原綿を売って外貨を得ているのは国営外国貿易株式会社 **UZINTERIMPEX**、**UZMARKAAZIMPEX** および **UZPROMMASHIMPEX** である。
- 紡糸や織物は生産者みずからが、自分の販路を使ったり、商品取引所や商社経由で販売している。
- ウズベキスタンの繊維製品市場では中国製やトルコ製の商品との熾烈な競争が繰り返されている。
- 共和国の軽工業企業のかなりの部分が、国営株式会社 **UZBEKENGILSANOAT** の負担となっている。
- ウズベキスタンでは、個人営業から株式会社まで、あらゆる所有形態の繊維企業を設立することが出来る。
- 外国実業家は、ウズベキスタンで全額自己資本の企業を立ち上げることができる。
- 繊維分野で合弁企業あるいは外国企業を立ち上げるには、いくつかの条件を満たす必要がある - 資本金は **15** 万ドル以上であること、設立基金の中に外国投資家が占める割合が **30%**以上であること、**80%**以上の製品は輸出されなければならないことなど。
- 合弁企業と外国企業には原綿の買い付けと技術設備の輸入に際して優遇措置が与えられる。
- 原綿の加工から繊維製品の既製品までという製造の全工程をこなしているのは国内では数社しかない。
- ウズベキスタンにとって繊維産業は大きな意味を持ち、その発展には特に注目が集まっている。
- **2011** 年までのウズベキスタン繊維産業近代化プランが構想され、承認された。

10 繊維産業関連の政府機関、国営企業および公団、分野別組織（繊維機械製作工業含む）とその連絡先一覧

#	組織名	代表者	役職名	住所	電話/FAX、 E-mail、www
1	対外経済関係投資貿易省 (MVESIT)	GANIEV E.	大臣	Tashkent、 ul. Tarasa Shevchenko 1	Tel.: /998 71/ 138-50-00、 Fax: /998 71/ 138-52-00 www.mfer.uz
2	農業水産省	ESANOV M. T.	農業生産技術問題に関する 第一副大臣	Tashkent、ul. Navoi、4	Tel.: /998 71/ 242-00-42 242-21-30 239-16-12 241-26-92 Fax: /998 71/ 244-21-74
3	GAK UZBEKENGILSANOAT	KHAYDAROV I.	取締役会長	Tashkent、ul. Bobura、46	Tel.: /998 71/ 253-99-37
4	GAK Uzpakhtasanoat	OMONOV F.B.	取締役会長	Tashkent、ul. Shota Rustaveli、8-a	Tel.: /998 71/ 253-99-37
5	GAVK Uzprommashimpex	KHOZHIAKHMEDOV B.M.	取締役会長	Tashkent、ul. Mustakillik、107	Tel.: /998 71/ 238-54-88 234-54-58 www.upm.uz
6	ウズベキスタン共和国国有財産運 営国家委員会 Goskomimushchestvo (GKI)	ABDUKHAKIMOV A. A.	取締役第一副会長	Tashkent、pr. Uzbekistanskiy.、55	Tel.: /998 71/ 239-44-46 239-47-84 259 21 08 259 21 09 www.gki.uz
7	GAVK Uzmarkazimpex	KELDIEROV R.K.	取締役会長	Tashkent、Bujuk Ipak Iuli、75	Tel.: /998 71/ 233-33-00 Fax: /998 71/ 238-53-33 www.uzmarkazimpex.com
8	GAVKUzinterimpex	MUKHITDINOV K.K.	取締役会長	Tashkent、ul. Mustakillik、75	Tel.: /998 71/ 238-53-73 268-04-01 www.uzinterimpex.uz
9	National bank Vneshneekonomicheskoy deyatelnost' 国営対外経済活動銀	RAKHIMOV S.B.	取締役会長	Tashkent、ul. Amira Temura、101	Tel.: /998 71/ 134-41-26 Fax: /998 71/ 133-32-00 www.nbu.com

	行- NBU				
10	Agrobank	BAYMURATOVA A.Z.	取締役会長	Tashkent, ul. Mukimi, dom 43.	Tel.: /998 71/ 120-88-33 Fax: /998 71/ 150-53-95 headoffice@agrobank.uz agrobank@online.ru http://www.agrobank.uz/
11	OAQ Uzbekskaja Tovarno-syrievaja Birja - UzEX 非公開株式会社 ウズベキスタン 商品・原料取引所	TOKHTABAEV T.R.	取締役会長	Tashkent, ul. Babura, 77	Tel.: /998 71/ 113-33-33 113-33-00 www.uzex.com、 www.uzbex.com
12	Respublicanskaja Universal'naja Agropromyshlennaja Birja 共和国総合農業産業取引所	VALITOV T.S.	所長	Tashkent, 100022, ul. Kushbegi, 18	Tel.: /998 71/ 250-52-08 / Fax: /998 71/ 250-1005 info@exchange.uz
13	Association fermerskikh khozyaystv RUz 農場経営者連盟	BOZOROV T.S.	取締役第一副会長	Tashkent Mirzo-Ulugbekskiy raion, ul. Ismoil-Ota, 1 a	Tel.: /998 71/ 267-40-94

以上